

平成27年度

伊勢崎市の教育



伊勢崎市教育委員会

序

教育を取り巻く社会情勢は、情報化、国際化・グローバル化をはじめ、少子高齢化社会へと進展し、雇用形態や価値観の多様化など、大きく変化してきております。こうした社会の変化に対応すべく、「心豊かでたくましい日本人の育成」を目指し60年振りに改正された教育基本法の下、平成20年3月に告示された学習指導要領が平成25年度より全面実施となりました。急激に変化する社会に対応するために必要な「生きる力」の基盤となる「確かな学力」の確立については、基礎的・基本的な知識及び技能の徹底した習得を図ることに加え、これらを活用する思考力・判断力・表現力や主体的に学習に取り組む態度等を相互関連させながら伸ばしていくことが求められております。また「豊かな心」や「健やかな体」の育成にあたっては、基本的な生活習慣や規範意識の確立において、学校・家庭・地域が相互に連携・協力して取り組むことが求められております。

本市においては、これらのことを踏まえ、人権尊重の精神を基本に、家庭・地域社会への所属感を育み、郷土を愛する心と国際協調の精神を養い、自ら学び心豊かでたくましい「生きる力」にあふれ、くらしと文化を創造し享受する自立した人づくりを進めております。

また、市民参加の学習活動が展開できるよう、家庭・地域社会・学校・関係機関との連携をより一層深め、生涯の各時期に対応した学習の機会の確保、教育条件の整備と学習環境づくりを推進し、「伊勢崎は大人と子どもが学ぶ街」の実現に努めているところであります。

こうした理念の具現化に向け、「伊勢崎教育構想2015」を策定し、教育の質を高め、一人ひとりの学びを充実させたり、幼小中連携による一貫教育をより一層推進したりすることにより、子ども一人ひとりの夢や希望の実現に向けた確かな学力、豊かな人間性、健康な体を育みます。昨年度は、田島弥平旧宅が世界文化遺産登録されました。本市では、この田島弥平旧宅をはじめ様々な地域の歴史的資産を活用した街づくりを進めるとともに、地域の歴史や文化などを見つめ、子どもたち自身が気付いたことや考えを表現し深め合う「伊勢崎ふるさと学習」を推進しています。このような学習の中で、文化財の保存にあたってきた人々が思いや願いを伝えることや、地域の方々との交流や体験活動を通して、伊勢崎市民が生涯にわたってふるさと伊勢崎に誇りをもち、伊勢崎から世界に視野を広げることができる主体性のある人材の育成を目指します。先人が残した文化財の保護意識の高揚、健康・安全教育と食育の充実、ボランティアによる奉仕活動の充実等、市民の多様な学習ニーズに応えるための環境整備・充実をより一層推進し、21万市民の多様なライフスタイルに即した教育の振興を図ってまいります。そして、地域をはじめ企業・大学等の知的人材の協力をいただき、学校教育と生涯学習の融合による特色ある教育活動を展開し、新しい教育のあり方を模索・実践します。

結びに、本市教育の歩み及び施策等を記載した本要覧を広く皆様にご活用いただきますとともに、ご指導、ご助言をいただく機会となれば幸いです。

伊勢崎市教育委員会教育長 徳 江 基 行

あ い さ つ



平成26年6月に田島弥平旧宅が、「富岡製糸場と絹産業遺産群」の構成資産として、世界遺産登録となり、多くの方々が本市を訪れるようになりました。

世界遺産登録以来、ご支援いただいております多くの関係者の皆様と市民の皆様に深く感謝いたします。

今日の伊勢崎市が工業都市として発展してきた背景には、このような近代産業の技術継承が大きな原動力になっていたものと確信いたしております。

こうした歴史的な価値を後世に伝えていくために、次世代を担う子どもたちへの教育事業として、今年度「ふるさと文庫」の整備により、子どもたちの夢や希望、心の豊かさが育まれる教育環境の充実を推進しております。

また、子どもたちが安全で快適な環境で学習に取り組めるよう幼稚園、小学校及び中学校の耐震化、トイレの改修工事等を行うとともに、学校給食調理場の改築により、機能的な教育環境の整備を推進してまいります。

さらには、これからの超高齢化社会における地域の生涯学習の活動の必要性を踏まえ、公民館の耐震化とあわせた防災拠点機能への整備を図り、安心して安全に過ごせる環境づくりにも努めております。

子どもから大人までの市民一人ひとりが、郷土に誇りと愛着を持ち、健康でしあわせを感じられる伊勢崎市の実現にむけ『夢ふくらみ 安心して暮らせる 元気都市 いせさき』を念頭に市政運営に取り組んでまいります。

これからも、教育行政に対しまして多くの皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます、ごあいさついたします。

伊勢崎市長 五十嵐清隆

目 次

序

市長あいさつ

市民憲章	1
伊勢崎市の概要 (沿革・市章・市旗・市の木・市の花・都市宣言ほか)	2

I 教育行財政

教育委員会	7
教育のあゆみ	11
平成 27 年度教育行政方針	22
平成 27 年度教育費予算	37
教育費年度別決算額	40

II 教育施設

教育施設一覧	43
平成 26 年度施設建設等主要事業	49
平成 27 年度施設建設等主要事業計画	55

III 学校教育

平成 27 年度学校教育方針	59
伊勢崎教育構想 2 0 1 5	64
平成 27 年度主要事業	66
各種事業	67
各種補助・援助	75
園児・児童生徒数	77
学校体育保健	81
日本スポーツ振興センター	83
四ツ葉学園中等教育学校	84
教育研究所	86

IV 学校給食

学校給食の充実	91
---------	----

V 生涯学習

生涯学習の充実	97
図書館	109

VI 文化振興

文化振興	119
------	-----

VII 文化財保護

文化財の保護と活用	125
-----------	-----

VIII 青少年健全育成

心身ともに健全な青少年の育成の推進	137
青少年非行防止活動の推進	142

IX スポーツ振興

スポーツ振興	147
--------	-----

題 字	伊勢崎市教育委員会教育長 徳 江 基 行
表紙写真	赤堀中学校、境公民館(茶室)、トイレ改修

伊勢崎市民憲章

古くから赤城山のふもとに大きく開けた
伊勢崎の地は、水と緑と陽光の織りなす豊
かな自然に育まれ着実に発展してきました。

わたくしたち伊勢崎市民は、先人が知恵
と勇気とたゆまぬ努力で築いてきた歩みを
一人ひとりが受けつぎ、さらに快適で希望
と活力に満ちた住みよいまちをつくるため、
この憲章を定めます。

- 一 いのちを大切にします
- 一 こころとからだをきたえます
- 一 お互いを尊重します
- 一 ふれあいを広げます
- 一 ふるさとの発展に力を合わせます

市民憲章は、平成18年12月20日に制定されました。

この市民憲章は、市民の共感に基づいた自発的な行動意欲を喚起するとともに相互協力と連携の精神を高揚し、さらに快適で希望に満ちた住みよいまちを築く指針となり、心の支えとなり続ける理念を示すことを目的としています。

伊勢崎市の概要

沿革

伊勢崎市の地勢は比較的平坦であるが、広瀬川を境に右岸は北西から東南へ傾斜する利根川による沖積低地、左岸はほぼ北から南へ傾斜する赤城山南東に発達する大間々を扇頂とする大間々扇状地の扇端部からなる。

左岸は湧水が多く、小河川がつくる浅い開析谷が発達し、権現山遺跡をはじめとする旧石器時代から縄文時代の遺跡が多く見られるが、弥生時代の遺跡の分布は比較的少ない。古墳時代になると湧水や小河川沿いには村落が発達し、県指定重要文化財の長持形石棺をもつ前方後円墳の「お富士山古墳」（市指定史跡）をはじめ、主な河川沿いに多くの古墳群や集落が発達している。古代の遺跡では、佐位郡正倉跡（国指定史跡）で「上野国交替実録帳」に記載された「八面甲倉」の八角形建物が発見された。上植木廃寺跡は佐位郡の寺院と考えられ、佐位郡衙との関連が指摘されている。境地区北で伊勢崎、あずま地区との東西一直線の境界は、宮都から陸奥国へ通じた東山道駅路の痕跡が境界として今日まで残っている。さらに境伊与久の十三宝塚遺跡（国指定史跡）は、『続日本紀』天平 19 年 12 月 14 日条の「百姓に造塔を許す」という勅に比定され、上野国分寺の創建とも関係する寺院跡である。古代末から中世には藤原秀郷流の一族を開発領主とする湊名荘が置かれ、その灌漑用水として赤堀地区からあずま地区に及ぶ女堀（国指定史跡）が状態良く残っている。これに対し、広瀬川右岸は古利根川の変流により左岸にあるような豊富な遺跡を見出すことはできない。

戦国期には藤姓湊名氏の一族赤堀氏、田部井氏、那波郡を本貫地とした那波氏等の在地の武士が台頭するが、戦国大名の勢力のはざまで没落してゆく。那波氏が拠点としていた赤石郷にあった砦は由良氏の手に落ち、由良氏は赤石郷を伊勢皇大神宮に寄進し、これを勧請し砦の中に祀った。以後この砦は「伊勢崎」と呼ばれ、現在までの地名として定着する。

伊勢崎地区及び境地区には、天正 18 年（1580）那波郡に一万石で松平氏が、やや遅れて佐位郡に一万石で稲垣氏が入封、以後両氏の跡に酒井氏が入り、断続を経て天和元年（1681）以降明治 4 年（1871）廃藩置県まで二万石の伊勢崎藩が存続するとともに、赤堀、東地区と同様に、旗本領、幕府領や他藩領が混在した。

伊勢崎町や境町には近世の初頭から六斎市が立ち、物資が集散し、この地域は一つの経済圏を形成した。中期以降は養蚕が盛んになり、繭、糸、地場の織物である太織が取引された。このような経済活動を背景に文化活動が盛んになった。安永期に藩校「学習堂」が設立されると、民間にも郷学設立の動きが起き、享和元年（1801）有志による私塾として始まった境伊与久の五惇堂を初めとして文化期には 8 校の郷学が設立された。創設にかかわったのは儒学を学んだ人たちであった。明治 4 年（1871）廃藩置県前後には、第二次興隆期を迎え、14 校が設立され、伊勢崎藩領内の郷学は合わせて 25 校となった。

安政 6 年（1859）横浜が開港されると、当時の主要な輸出品となった生糸や蚕種を生産していたこの地方は一挙に潤い、島村、長沼村では蚕種業が盛んになり、直接横浜に売り込みに行く人たちも現れた。幕末期には元機屋が現れ、賃機により農家を潤した。明治期に入ると品質維持、改良のため太織会社が設立され、伊勢崎織物業組合へと発展した。組合は技術伝習のため明治 19 年（1886）「染色講習所」を設立、明治 33 年県に移管され、この地域の中等教育の走りとなった。「伊勢崎銘仙」といわれた織物は近代佐波・伊勢崎の基幹産業となったが、生活様式の変化により、今日では機械金属、輸送機器にとって替わられた。

明治 22 年町村制の施行に伴い、市域には伊勢崎町、殖蓮村、茂呂村、三郷村、豊受村、名和村、宮郷村、赤堀村、東村、境町、采女村、剛志村、島村が成立した。昭和 15 年伊勢崎町、殖蓮村、茂呂村が合併して第一次の伊勢崎市が成立、昭和 30 年に伊勢崎市は三郷村、豊受村、名和村、宮郷村を併合、また、境町、采女村、剛志村、島村が合併して第二次境町が成立、昭和 32 年世良田村の一部（境東地区）を合併した。赤堀村は昭和 61 年町村制を施行。平成 17 年 1 月伊勢崎市、赤堀町、東村、境町が合併して第二次の伊勢崎市が成立した。平成 19 年 4 月、特例市となる。

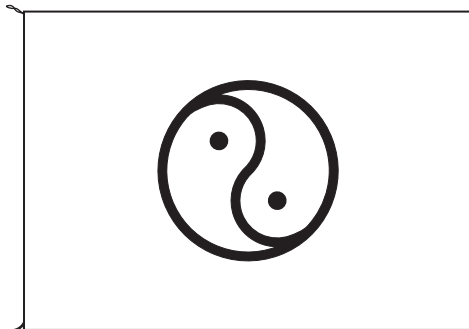
市 章



伊勢崎市の徽章を左図の如く定め諸般に用いるものとする。この地域にゆかりの深いまがたまを用いて、いせさきの「い」の字をデザインしたもので、市民の融和と本市の発展を表しています。

(平成 17 年 2 月 28 日告示)

市 旗



縦の長さは、横の長さの 3 分の 2 とする。

市章の直径は、縦の長さの 5 分の 3 とする。

市章の中心は、旗面の中心とする。

市章上・下のあきは等しくする。

2 個のまがたまの孔の中心を通る直線は、市章の中心を通る水平線より左側仰角 45 度とする。

旗の地色は白色とする。

市章の地色は赤色とし、まがたまは白抜きとする。

市の木

松



【市の木の選定理由】

検討委員会では、市の木は、古くからこの地域に広く自生、あるいは植栽されている樹木が最適であろうという考え方により、アカマツ・クロマツを含む総称としての「マツ」が選定されました。

マツは、現在の市全域に生育しており、庭木や盆栽としても広く愛されてきました。市内には、神社・仏閣、街道筋などに多く見られ、県内有数の名木もあります。また、公園や公共施設などにも数多く植栽されています。(平成 18 年 12 月 20 日告示)

市の花

ツツジ



サルビア



キク



スイセン



【市の花の選定理由】

市の花は、一つに限定せず長い期間にわたり楽しめるよう複数あってもいいのではないかという考え方に基づき検討されました。その上で、旧市町村の花もそれぞれの経過を経て地区の人々に親しまれている状況

も考慮されました。

そのような中、開花時期が注目されました。ツツジは春、サルビアは夏から秋、キクは秋、スイセンは冬から春にかけて咲き、四つの花を合わせれば四季折々に花を楽しむことができます。

そこで、四つの市町村が合併して一つの新しい伊勢崎市を創り上げる象徴として、一年中を花で飾れる「四季の花」という思いを込め、四つの花が選定されました。(平成 18 年 12 月 20 日告示)

都市宣言

●人権尊重都市宣言

平成 18 年 12 月 20 日制定

すべての人々の人権を平等に保障することは、だれもが幸せに暮らせる社会をつくる基礎になります。

わたくしたち伊勢崎市民は、お互いの理解と協力と信頼により、一人ひとりの健康で幸福な生活を送る権利を守り、みんなで明るく住みよいまちを築くため、ここに「人権尊重都市」を宣言します。

●スポーツ都市宣言

平成 18 年 12 月 20 日制定

スポーツに親しみ、スポーツをとおして健康な心と体をつくり、友情とふれあいの輪を広げることは、明るく健全な社会をつくる大きな力になります。

わたくしたち伊勢崎市民は、一人ひとりが生涯を通じて健康で生きがいのある充実した生活を営み、笑顔と活力あふれるまちを築くため、ここに「スポーツ都市」を宣言します。

●安心安全都市宣言

平成 18 年 12 月 20 日制定

安心で安全な暮らしを脅かす災害や交通事故、犯罪などをなくすことは、すべての市民の願いです。

わたくしたち伊勢崎市民は、一人ひとりが自分たちのふるさとは自分たちで守るという共通の考えを持ち、みんなで手を取り合い、快適で心安らかに暮らせるまちを築くため、ここに「安心安全都市」を宣言します。

●核兵器廃絶平和都市宣言

平成 18 年 12 月 20 日制定

平和と安全を脅かす核兵器を地球上からなくすことは、人類共通の願いです。

わたくしたち伊勢崎市民は、平和を愛する世界各国の人々とともに永久の平和が実現することを強く望み、核兵器のない世界を築くため、ここに「核兵器廃絶平和都市」を宣言します。

人口・世帯 (平成 27 年 8 月 1 日現在)

人 口	211,477	人
男	105,949	人
女	105,528	人
世帯数	84,689	世帯

位置・面積

北 緯	36° 18′
東 経	139° 11′
海 抜	58.1 m
面 積	139.44 km ²

I 教育行財政



教育委員会会議の様子

教 育 委 員 会

1 教育委員 (平成 27 年 4 月 1 日現在)



(後列左から) 大矢委員、多部田委員長、徳江教育長
(前列左から) 萩原委員長職務代行者、宮川委員

役 職 名	氏 名	住 所
委 員 長	多部田 敬 三	伊勢崎市三室町
委 員 長 職 務 代 行 者	萩 原 裕 子	伊勢崎市境上武士
委 員	大 矢 光 利	伊勢崎市市場町二丁目
委 員	宮 川 亮 子	伊勢崎市喜多町
教 育 長	徳 江 基 行	伊勢崎市東上之宮町

2 歴代の教育委員

氏 名	就任年月日	退任年月日
上 山 明	平成17年1月1日	平成17年3月23日
上 林 雄	平成17年1月1日	平成17年3月23日
御 任 佳 子	平成17年1月1日	平成19年3月23日
茂 木 初 實	平成17年1月1日	平成17年3月23日
大 塚 富 男	平成17年3月24日	平成18年3月23日
赤 石 勝 彦	平成17年3月24日	平成19年10月31日
須 田 篤 子	平成17年3月24日	平成21年3月23日
大 沢 啓 一	平成18年3月24日	平成22年3月23日
小久保 剛 利	平成19年3月24日	平成23年3月23日
大 山 隆	平成19年12月19日	平成24年3月23日
齋 藤 美智子	平成21年3月24日	平成25年3月23日
茂 木 克	平成22年3月24日	平成26年3月23日
大 山 祐理子	平成23年3月24日	平成27年3月23日
多部田 敬 三	平成24年3月24日	
萩 原 裕 子	平成25年3月24日	
大 矢 光 利	平成26年3月24日	
宮 川 亮 子	平成27年3月24日	

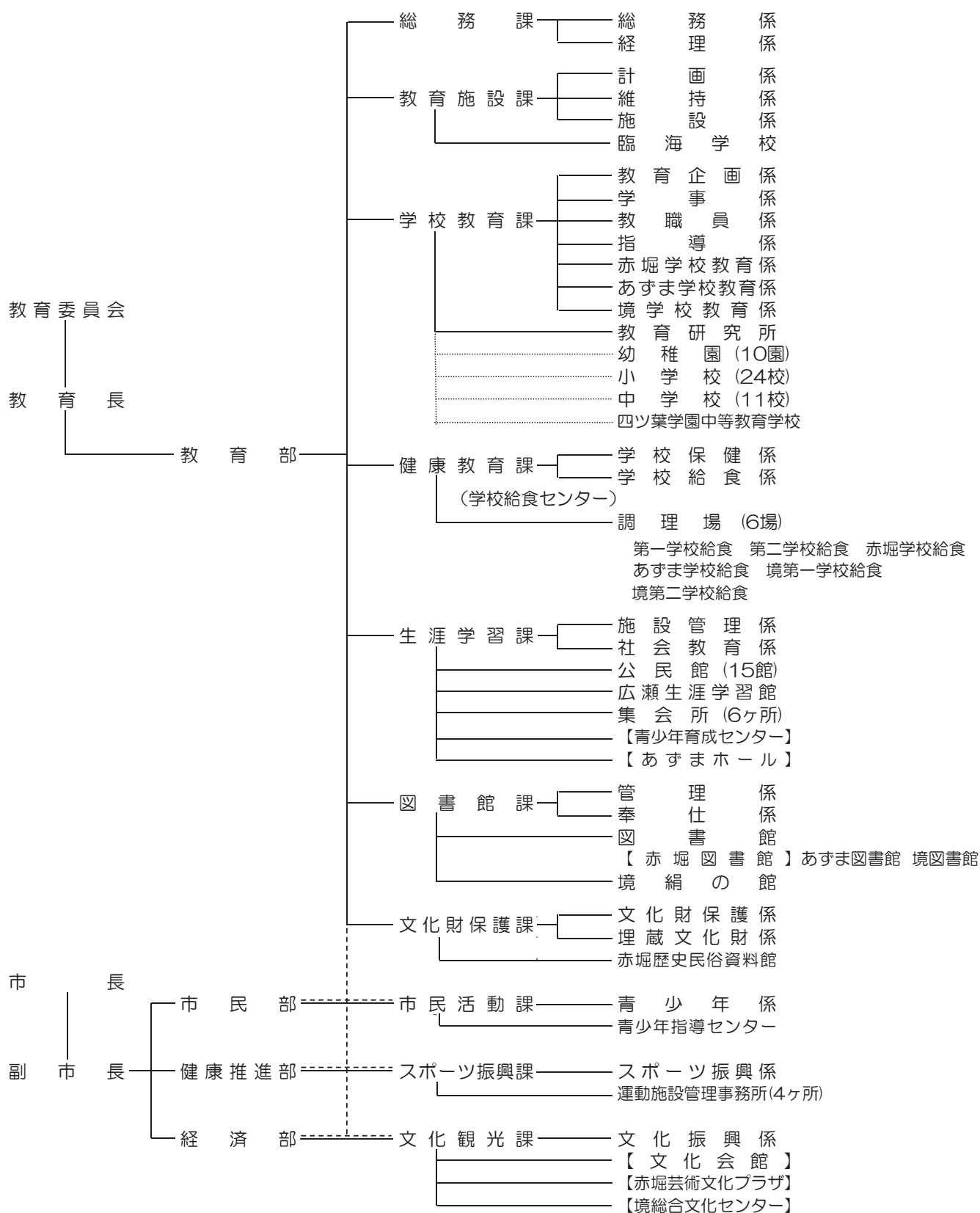
3 歴代の教育長

氏 名	就任年月日	退任年月日
田 島 國 明	平成17年1月1日	平成17年3月23日
山 口 晃	平成17年4月1日	平成25年3月31日
徳 江 基 行	平成25年4月1日	

4 付属機関の委員等

名 称	人 員	構 成
奨 学 生 選 考 委 員 会 委 員	11 人以内	学識経験者、その他教育員会が適当と認めた者
適 正 就 学 指 導 委 員 会 委 員	59 人以内	小中学校長又は小中学校教頭、特別支援学級担当教諭、通級指導教室担当教諭、公立幼稚園長、県立伊勢崎特別支援学校長、県立伊勢崎特別支援学校教諭、専門医師、児童相談所職員、心身障害児（者）担当市職員、公立保育所保育士、保健師、その他教育長が必要と認めた者
学 校 結 核 対 策 委 員 会 委 員	8 人以内	学校医、結核に関し専門知識を有する者、関係行政機関の職員、学校関係者
学 校 給 食 運 営 委 員 会 委 員	15 人以内	教育委員、幼稚園・小学校及び中学校の代表、幼稚園・小学校及び中学校のPTAの代表、伊勢崎保健所長、学校医及び学校薬剤師の代表、学識経験者
生 涯 学 習 推 進 協 議 会 委 員	40 人以内	関係行政職員、学識経験者
社 会 教 育 委 員	20 人以内	学校教育関係者、社会教育関係者、学識経験者
公 民 館 運 営 審 議 会 委 員	30 人以内	学校教育関係者、社会教育関係者、学識経験者
人 権 教 育 推 進 委 員 会 委 員	60 人以内	学校教育関係者、市職員、PTA会長、公共的団体の代表者
集会所運営委員会委員 今井町集会所運営委員会委員 道伝集会所運営委員会委員 宮子町集会所運営委員会委員 柴町集会所運営委員会委員 連取町集会所運営委員会委員 三室町集会所運営委員会委員	各集会所に 20 人以内	各地域から推薦された者
図 書 館 協 議 会 委 員	10 人以内	学校教育関係者、社会教育関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、学識経験者
文 化 財 調 査 委 員	7 人以内	学識経験者
赤堀歴史民俗資料館運営協議会委員	8 人以内	学校教育関係者、社会教育関係者、学識経験者
青 少 年 問 題 協 議 会 委 員	25 人以内	市議会議員、関係行政機関の職員、学識経験者
青少年指導センター運営協議会委員	16 人以内	関係行政機関の代表、青少年保護育成に関係する団体から推薦された者
ス ポ ー ツ 推 進 審 議 会 委 員	15 人以内	スポーツに関する学識経験のある者
ス ポ ー ツ 推 進 委 員	45 人以内	各地区から推薦された者

5 教育委員会機構図



※【 】：指定管理施設

教育のあゆみ

〈学制発布から明治〉

西暦	年代	主 な 事 項
1872	明治 5. 8. 3	学制を制定し学区制を布く 全国を8大学区に分け、1大学区に32中学区、1中学区に210小学区を置く 群馬県は小学校教授細則を告示、下等小学校は6歳から9歳まで4か年8級、上等小学校は10歳から13歳まで4か年8級とする
	8.	群馬県、旧藩校及び郷学、寺子屋等に廃学の指令を出す
1873	6. 6. 9	赤石学校、伊勢崎町本光寺を仮校舎として開校 明治8年2月までに伊勢崎地区17校、赤堀地区2校、あずま地区1校、境地区では10校が開校、この頃に設立された学校の多くは、寺院を仮校舎とするものが多い
1874	7. 1.	島村に新聞を回覧し、新しい知識を得ようとする「新聞夜学会社」が結成される
1875	8. 8. 4	小保方学校分校国定支校、養寿寺に開校
1876	9. 6. 8	田部井学校、西福寺を仮校舎として開校
	6. 9	国定学校独立（明治11年3月19日 校舎竣工）
1877	10. 2.	群馬県令楫取素彦、赤石学校を視察
1878	11. 7. 17	赤堀今井小学校校舎を字南原に竣工
1879	12. 5. 29	小保方学校、字陣屋前に校舎竣工
	6.	播智須学校、八寸村桂林寺を仮校舎として小保方学校から分離独立
	9.	学制を廃止し教育令を制定、小学校教育を義務化する
1880	13. 2.	旧伊勢崎藩藩校教授新井雀里、伊勢崎町に漢学塾「南溟塾」を開く
	12.	教育令を改正
1882	15. 11. 5	伊勢崎町赤石学校校舎竣工
1883	16. 7.	播智須学校校舎を字堤下に竣工
1884	17. 6.	小此木村の天田弁蔵、漢学塾「愛性義塾」を開く
	11.	国定学校、田部井学校に併合される
1885	18.	田部井小学校、字東宿に新校舎竣工
	3.	小学校の統廃合が行われ郡名と学区番号を冠した校名となる
	8.	佐位那波教育会設立
	8.	石川泰三が伊勢崎町に洋学塾「回天義塾」を設立
1886	19.	伊勢崎織物業組合が「染色講習所」を設立
	19. 3.	帝国大学令
	4. 10	小学校令・中学校令・師範学校令を公布 小学校を尋常・高等に分ける 尋常科4年の義務制 尋常小学校は、伊勢崎地区7校、赤堀地区2校、あずま地区2校、境地区7校 高等小学校は伊勢崎町に設置され、7月15日 佐位那波郡高等小学校と称する
	19. 8.	木島村の小暮卓利、普通学科の「三余義塾」を設立
1887	20.	佐位那波郡高等小学校分教場が国定村、剛志村、玉村町に設置される
	1.	島村の田島善平宅に「基督教美以教会」講義所が設けられる
1888	21. 1.	平塚青年会発足 翌年には境町青年進成会、島村青年会が発足
	5.	郡長より小学校生徒服をなるべく洋服あるいは筒袖に改正するように内諭あり
1889	22. 4.	名和青年会統合なる
	4. 1	町村制施行 伊勢崎町、殖蓮村、茂呂村、三郷村、宮郷村、名和村、豊受村、赤堀村、東村、

		境町、采女村、島村、剛志村が成立 この年、各村村内小学校を統合して村名を冠した尋常小学校とする
1890	23. 5. 12	伊勢崎尋常小学校に予修科付設（幼稚園のはじまり）
		赤堀村、今井、西久保両校を統合して赤堀尋常小学校と改称する
1891	24. 9. 1	佐位那波郡高等小学校を廃止し、伊勢崎町外5か村立伊勢崎組合高等小学校（殖蓮村、茂呂村、三郷村、宮郷村、名和村、10月3日 開校式）を伊勢崎町に、毛陽1町4か村組合高等小学校（境町、豊受村、剛志村、采女村、島村）を剛志村に、赤堀村、東村2か村組合立静修高等小学校を東村に設置する
1892	25. 4.	赤堀村、東村組合立静修高等小学校校舎が国定に新築される
1893	26. 4.	赤堀今井、西久保両尋常小学校独立
1896	29. 1. 8	伊勢崎盛年会設立
	4.	赤堀村西久保校を赤央尋常小学校と改称する（9月新築）
	4. 1	佐位・那波両郡が合併して佐波郡と改称する
1897	30. 11.	三郷尋常小学校校舎竣工
1900	33. 3.	組合立伊勢崎染色学校が県に移管
1901	34. 3.	毛陽5か町村組合高等小学校を解散し、各町村尋常小学校に高等科を併せ、尋常高等小学校と改称する
	11. 15	伊勢崎町に佐波学術研究会発足（明治35年 佐波学館と改称、昭和7年閉館）
1902	35. 3. 31	伊勢崎町外5か村組合高等小学校を解散し、伊勢崎町は修養年限4年の高等小学校を設置する 各村は尋常小学校に高等科を併設し、尋常高等小学校と改称する 東村、赤堀村の学校組合も解散し、静修高等小学校が東高等小学校となり、赤堀村は赤堀尋常小学校敷地に高等小学校を建設
1903	36. 4. 10	伊勢崎高等小学校に女子補習科を設置する
1905	38. 1. 14	茂呂村青年夜学会開設
	38. 2.	県立伊勢崎染色学校が桐生織物学校に統合される
	3. 31	県立伊勢崎染色学校廃校
	4.	名和尋常小学校、尺取虫、螟虫の駆除を始める
1906	39. 4. 1	殖蓮実業補習学校設立 以後各地区に補習学校が開設される
	4. 15	伊勢崎町、伊勢崎女子実業補習学校を設置する
	5. 31	名和尋常小学校、10日間の農繁休暇を始める
	6. 1	境町女子実業補習学校開校（後の境高等学校）
1907	40. 3.	小学校令改正、義務教育年限を延長して小学校6年制とし、高等科を2年に改め、明治41年度から実施
	4. 1	伊勢崎尋常小学校と伊勢崎高等小学校を合併して、伊勢崎尋常高等小学校とし男子を収容し、女子を収容する伊勢崎女子尋常高等小学校を設置する
	11. 28	佐波教育会伊勢崎部会創設
1908	41. 3.	県、土地の事情により農繁休暇を認める 赤堀村3小学校を統合し赤堀尋常高等小学校と改称する 平塚村に私立「東寧実業補習学校」設立
1909	42.	小保方尋常小学校を東高等小学校に併置
1910	43.	小保方校、田部井校をそれぞれ南分教場、北分教場として東尋常高等小学校が発足
	1.	茂呂村青年会創設、以後大正にかけて各町村に創られる
	4. 1	伊勢崎町に県立工業学校開校 この頃から遠足、修学旅行が定例化する
1911	44. 1. 10	三郷村青年夜学会発足
1912	45. 4.	伊勢崎町学齢児童保護会設立

〈大正から教育委員会発足まで〉

西暦	年代	主 な 事 項
1913	大正 2.	赤堀村赤央校廃校となる
1914	3. 4. 1	伊勢崎町、男女別学の尋常高等小学校を合併して伊勢崎尋常高等小学校と改称する
1915	4. 4. 1	伊勢崎町立実科高等女学校を伊勢崎尋常高等小学校に併設する（大正12年4月1日伊勢崎高等女学校と改称、同13年4月 県に移管、6月 伊勢崎町宗高に新校舎落成）
	11.	赤堀女子実業補習学校を赤堀尋常小学校に併設 同5年男子部が加わり、赤堀実業補習学校と改称
1916	5. 8.	宮郷村に処女会（女子青年団）が創設される 以後大正期に各町村に創られる
1917	6. 4. 13	伊勢崎町立商工補習学校開校
1919	8. 4.	町立商業学校に改組（大正12年 県に移管）
1920	9. 4. 26	佐波郡立農学校開校（大正12年 県に移管、佐波農業学校と改称）
1921	10. 4. 11	伊勢崎図書館認可される
1923	12. 8. 1	伊勢崎教育会、学齢児童保護会、小学校の虚弱児童を対象に伊勢崎公園（華蔵寺公園）に林間学校を開設（21日間）
1925	14.	中島徳蔵が東洋大学学長となる
1926	15. 6. 27	伊勢崎尋常高等小学校第1号校舎焼失
	10. 1	伊勢崎町幼児保育所を開設する（昭和2年 伊勢崎第二幼稚園と改称、同9年 廃止）
1927	昭和 2. 4. 1	伊勢崎第一幼稚園設置（小学校付属幼稚園独立）
1930	5. 4. 1	伊勢崎町、茂呂村に伊勢崎南尋常高等小学校を開校
1931	6. 5. 30	伊勢崎競技場完成
1934	9.	赤堀村、今井分教場廃止
	11.	境町立境尋常高等小学校プール竣工
1935	10.	東村、南分教場を廃止
1937	12. 4.	三郷尋常高等小学校、二宮金次郎銅像の除幕を行う
	5. 3	伊勢崎市日吉町に伊勢崎幼稚園開園（方面事業助成会経営）
1938	13. 7. 23	伊勢崎水泳場竣工（板垣精平寄付）
1939	14.	青年学校義務制となる
1940	15. 9. 30	伊勢崎市制施行（第1次）
1941	16.	赤堀村北分教場を廃止
	4. 1	国民学校発足（昭和16年3月1日 国民学校令公布）
	4. 17	私立夜間中学校開校（教場図書館、校主板垣精平）
	10. 21	境町立境尋常高等小学校学校給食を始める（月額1円）
1942	17. 9. 1	伊勢崎市北青年学校を北国民学校に付設する
1943	18. 3. 31	伊勢崎市北国民学校に高等科を設置
	8.	青年学校通年昼間制となる
	11. 1	伊勢崎市八坂町に南幼稚園開園（方面事業助成会経営）
1944	19. 4. 1	私立夜間中学校を伊勢崎市に移管、市立伊勢崎中学校と改称
1945	20. 8. 15	北国民学校、宮郷国民学校、伊勢崎高等女学校、伊勢崎図書館空襲により焼失する
1947	22. 1.	伊勢崎市学校給食開始
	4. 1	小学校6年、中学校3年の9年制義務教育となる

	4. 29	新制中学校始業式 小学校等の教室で授業を始める 昭和23年から同25年にかけて新校舎が相次いで竣工する
1949	24.	5月名和村、6月豊受村、12月東村、学校給食開始
1950	25.	6月宮郷村学校給食開始 境島村教会、めぐみ保育園を開設
	9.	赤堀村、学校給食を開始

〈教育委員会発足から〉

西暦	年代	主 な 事 項
1952	昭和27. 10. 5	市町村の教育委員選挙が行われた
	11. 1	市町村に教育委員会が発足
1954	29. 4. 1	伊勢崎市立女子高等学校が開校（4月19日 伊勢崎市立北小学校において授業開始、6月 栄町の佐波福祉事務所跡へ移転）
	11. 18	殖蓮中学校第2校舎焼失
	11. 22	茂呂幼稚園園舎新築工事完成
1955	30. 1. 10	佐波郡三郷村と合併
	3	名和村、豊受村、宮郷村を合併
	3. 15	宮郷公民館開館
	3. 19	名和公民館開館
	3. 22	豊受公民館開館
	4. 1	三郷幼稚園開園（三郷小学校校舎使用）
	4. 8	市教育研究所発足
	12. 17	殖蓮中学校校舎復旧新築工事完成
1956	31. 1. 10	三郷公民館開館
	4. 1	宮郷幼稚園開園
	10. 1	新教育委員会法全面実施に伴い、各市町村に任命制教育委員5人就任
1957	32. 4. 1	殖蓮公民館及び茂呂公民館開館
1958	33. 2. 27	伊勢崎市立女子高等学校円型校舎が昭和町に完成
	3. 31	宮郷幼稚園園舎新築工事完成
	4. 1	本県最初の知的障害児のための養護学校（名称は伊勢崎市立伊勢崎中学校）設立（現第一幼稚園位置）
	8. 5	境町立東小学校開校
1960	35. 4. 11	伊勢崎市立北小学校校舎火災
1961	36. 3. 3	伊勢崎市立北小学校復旧校舎新築工事完成
1962	37. 3. 15	茂呂公民館新築工事完成
	4. 1	東村立東小学校に特殊学級設置
1963	38. 3. 2	殖蓮公民館落成式
	4. 15	東村公民館竣工（移転）
	8. 1	境町立図書館開館
	10.	東村民プール完成（昭和39年6月13日 共用開始）
1964	39. 4. 1	境町立境中・島中を統合して、新しく境町立南中学校設置 境町立采女中を北中、境町立剛志中を西中に校名変更 東村立東中学校に特殊学級設置
1965	40. 4. 1	伊勢崎南・茂呂中学校を統合して、新しく伊勢崎市立南中学校を設置
	7. 7	伊勢崎市教育経営研究会発足

1966	41. 3. 19	伊勢崎市宮野球場建設工事完成（3月23日 こけらおとしに巨人－大洋戦開催）
	8. 25	境町立南中学校校舎完成
	9. 25	台風26号襲来、殖蓮小学校講堂倒壊
1967	42. 3. 18	境町東公民館完成
	4. 1	統合伊勢崎市立南中学校を伊勢崎市立第一中学校と改称し、伊勢崎市立名和・豊受両中学校を統合して伊勢崎市立第二中学校とする
	5. 22	伊勢崎市立殖蓮小学校体育館復旧新築工事完成
	5. 31	伊勢崎市立第一中学校校舎新築工事完成
1968	43. 2. 1	養護学校を旧茂呂中学校跡へ移転
	4. 27	伊勢崎市営陸上競技場完成
	11. 11	青少年補導センター開所式（市福祉事務所に設置）
1969	44. 1. 23	三郷公民館新築工事完成
	3. 31	伊勢崎市立第一幼稚園園舎新築工事完成
	4. 1	東村立あずま幼稚園開園（東小学校校舎一部使用）
	8. 10	伊勢崎市立第二中学校新築工事完成
	9. 1	名和小学校が旧名和中学校校舎へ移転
	10. 12	第1回市民総合体育大会を開催（以後毎年10月10日に開催）
1970	45. 2. 15	三郷幼稚園園舎新築工事完成
	4. 1	境町立島小学校分校が境町立境小学校分校となり4年生以上は境小学校に通学
	4. 24	境町中央公民館完成
	6. 20	伊勢崎市立北幼稚園廃園
1970	45. 7. 1	伊勢崎市中央公民館開館
	12. 1	伊勢崎市学校給食センター完成により、共同調理場方式になる
1971	46. 2. 22	伊勢崎市立南幼稚園園舎新築工事完成
	3.	伊勢崎市庭球場完成
	4. 1	養護学校に小学部が設置される 伊勢崎市立北・三郷中学校を統合し伊勢崎市立第三中学校とする 豊受幼稚園開園
	6.	伊勢崎市民プール完成
	12. 10	豊受幼稚園園舎新築工事完成
1972	47. 3. 31	宮郷公民館新築工事完成 境町立境小学校分校廃校
	3.	伊勢崎市弓道場完成
	4. 1	名和幼稚園開園
	4.	利根川河川境運動場設置
	7. 3	名和小学校校舎焼失
	10. 1	学制発布100年及び市教育委員会発足20周年を記念して「いせさき教育のあゆみ」を発刊
	12. 22	移動図書館「わかくさ」巡回開始
1973	48. 1. 31	名和幼稚園園舎新築工事完成
	1.	赤堀剣道場完成
	3.	東村立あずま幼稚園園舎竣工（現在地へ移転）
	3. 20	名和小学校復旧校舎新築工事完成
	3. 25	豊受公民館新築工事完成 伊勢崎市今井町集会所新築工事完成

	6. 15	新潟県寺泊町に伊勢崎佐波臨海学校開校
	7. 20	伊勢崎市立第三中学校新築工事完成
1974	49. 7. 20	殖蓮小学校校舎新築工事完成
	10. 28	三郷小学校校舎新築工事完成
1975	50. 1. 1	伊勢崎市立北第二小学校が旧伊勢崎市立北中学校跡に開校
	3. 10	道伝集会所新築工事完成
	4.	赤堀村立赤堀幼稚園開園（小学校旧校舎使用）
	10. 23	東村文化協会設立
	11. 1	赤堀村文化協会設立
	11.	境上武公園野球場・テニス場完成
1976	51. 1. 1	伊勢崎市立北第二幼稚園開園
	3. 20	伊勢崎市立北第二幼稚園園舎新築工事完成
	7.	赤堀中央運動場完成（野球場・テニスコート）
	12. 31	豊受小学校校舎新築工事完成
1977	52. 3. 1	伊勢崎市立図書館新館開館
	3.	赤堀村立幼稚園新園舎開園
	3. 20	宮子町集会所新築工事完成
	3. 31	柴町集会所新築工事完成
	4.	境いよく野球場完成
	4. 1	伊勢崎市立第一中学校に特殊学級を設置（以後、他の中学校に逐次設置） 境町社会体育館開館（2月完成）
1978	53. 4. 1	殖蓮第二幼稚園開園（殖蓮幼稚園に併設）
	6.	境いよくテニス場完成
	7. 31	殖蓮第二小学校校舎新築工事完成
	8. 2	殖蓮第二幼稚園園舎新築工事完成
	11.	赤堀村立赤堀中学校新校舎落成式
1979	54. 1. 1	広瀬小学校開校（南小学校に併設）
	3. 25	連取町集会所新築工事完成
	4. 1	広瀬幼稚園開園（南幼稚園に併設）
	4. 10	学校給食センター米飯施設完成により米飯給食開始
	6.	赤堀村立赤堀中学校室内運動場新設
	8. 1	東村総合運動場及び東村社会体育館竣工
	11. 10	伊勢崎市民体育館落成 スポーツ都市宣言を行う
	11. 30	広瀬小学校校舎新築工事完成
1980	55. 3. 20	東村立東小学校校舎竣工（現在地へ移転）
	3. 25	名和公民館新築工事完成
	3. 30	広瀬幼稚園新築工事完成
	5.	赤堀体育館完成
	10. 9	宮郷中学校校舎新築工事完成
1981	56. 2. 25	東給食センター竣工
	3. 31	伊勢崎公民館廃止（7月解体）
	4. 1	東村立南小学校開校（旧東小学校校舎使用） 文化会館開館

1982	4.	赤堀村学校給食調理場新築
	8. 3	三郷小学校校舎新築工事完成
	10. 30	宮郷小学校校舎新築工事完成
	12. 21	殖蓮中学校校舎新築工事完成
	57. 3. 15	伊勢崎市ソフトボール場・第二グラウンド完成
	57. 3. 23	伊勢崎養護学校校舎新築工事完成
	3.	三室西公園運動場完成（多目的広場・テニスコート）
	4. 1	坂東小学校開校
	4. 1	坂東幼稚園開園
	7. 1	境町流水プール開場（6月完成）
1983	10.	赤堀香林運動公園完成
	58. 2. 11	東村立南小学校校舎竣工（旧東小学校から移転）
	3. 16	坂東幼稚園新築工事完成
	3. 25	殖蓮公民館新築工事完成
	3.	第二市民体育館 県立伊勢崎商業高等学校から伊勢崎市へ移管
	5. 4	群馬県立伊勢崎青少年育成センター開所、県から管理運営を受託
	7. 27	伊勢崎市教育研究所が完成し、伊勢崎市立第一幼稚園から移転 県下初の独立建物となる
	8. 26	名和小学校校舎新築工事完成
	9. 28	茂呂小学校校舎新築工事完成
	10. 15	第38回国民体育大会（あかぎ国体）秋季大会が開催され伊勢崎市はソフトボールとバレーボールの会場となる
1984	59. 4. 1	伊勢崎市立第四中学校開校（豊受小と坂東小の通学区域）
	8. 25	日・台中学校バレーボール親善大会が伊勢崎市民体育館で開催され、全台湾と市立第三中学校が対戦
	10. 15	伊勢崎市立第四中学校校舎新築工事完成
1985	60. 2. 28	「伊勢崎市の文化財」発刊
	3.	伊勢崎市庭球場改修工事完成
	4. 1	赤堀歴史民俗資料館開館
	9. 7	第40回国民体育大会関東地区大会開催 ソフトボール・バレーボール競技が伊勢崎市を会場に開催
1986	61. 2. 5	伊勢崎市文化協会設立
	4.	赤堀コミュニティひろば完成
	6. 7	境町立図書館現在地に移転 絹の館開館
	10.	赤堀村町制施行
1987	62. 3. 10	東村立北小学校校舎竣工
	3. 25	茂呂公民館新築工事完成
	4. 1	東村立北小学校開校
	3. 10	伊勢崎市補助競技場完成
	8. 18	伊勢崎市中学生派遣事業開始（米国ミズーリー州スプリングフィールド市）
1988	63. 2. 24	殖蓮幼稚園新築工事完成
	63. 3. 27	東村中央公民館完成 あずま総合運動公園完成
	8. 18	伊勢崎市立第二中学校校舎新築工事完成
	11. 11	生涯学習モデル市町村事業について文部省から指定（3年間）

〈平成から〉

西暦	年代	主 な 事 項
1989	平成元. 2. 8	生涯学習推進会議発足
	3. 23	境町剛志公民館新築工事完成
	3.	あずま総合運動公園テニスコート完成
	3. 31	伊勢崎市立北第二幼稚園廃園
	4. 1	境町剛志公民館開館
	6. 7	境町総合運動場開場（5月完成）
1990	2. 3.	境矢ノ原公園運動場完成
	4. 1	境町武道館開館（3月完成）
	8.	赤堀町中学生派遣事業開始（米国サウスダコタ州ラピッドシティ市）
	8. 24	伊勢崎市相撲場完成（華蔵公園運動施設内）
	9. 19	赤堀芸術文化プラザ開館
	3. 10	伊勢崎市弓道場建替完成
1991	3. 3. 29	財団法人伊勢崎市体育協会設立
	4.	赤堀町立南小学校開校
	5. 9	東村立東中学校と米国ギャビン中学校生徒派遣事業開始によるギャビン中学校生徒来村
	11. 6	伊勢崎市立北第二小学校校舎新築工事完成
1992	4. 3.	境広瀬川緑地第1グラウンドゴルフ場完成
	8. 5	境町中学生生徒派遣事業開始（米国イリノイ州オーランドパーク市）
	8.	赤堀西部スポーツ公園完成 （野球場・多目的広場・ゲートボール場・テニスコート）
	9. 12	学校週5日制施行開始（第二土曜日のみ）
1993	5. 3. 22	境町立島小学校校舎全面改築竣工式
	3. 25	境町東公民館移転新築竣工式
	4. 1	伊勢崎市立伊勢崎高等学校開校（男女共学となる）
	5. 29	境町文化協会設立
1993	5. 6. 30	伊勢崎市第二学校給食センター新築工事完成（9月から給食開始）
1994	6. 4. 15	境町島村公民館移転新築竣工式
	8. 26	境町立南中学校校舎全面改築竣工式
	10. 1	東村営野球場あずまスタジアム完成 東村営弓道場完成
1995	7. 3. 15	伊勢崎市南公民館新築工事完成
	3.	境広瀬川緑地第2グラウンドゴルフ場完成
	4. 1	子ども発達相談室を市立北小学校内に開設
	4.	あずまゲートボール場設置（借地）
1996	8. 3. 29	三郷公民館新築工事完成
	3.	東村営野球場あずまサブスタジアム完成
	5. 24	境総合文化センター開館
	10. 6	東村営サッカースタジアム完成
	11. 2～5	第9回全国スポーツレクレーション祭、女子ソフトボール大会開催
1997	9. 3. 15	境町第一学校給食センター完成

	3.	境弓道場完成
1998	10. 1	境町絹の館に金井鳥州記念室設置
	10. 3. 13	境町第二学校給食センター完成
	3.	伊勢崎市野球場改修工事完成
	4. 1	伊勢崎市立幼稚園で2年保育開始 殖蓮第二、広瀬、坂東の3幼稚園休園 図書館広域ネットワーク化
1999	5. 3	あずまウォーターランド竣工
	11. 3	つつみ公園グラウンドゴルフ場完成
	11. 7. 8	東村立図書館オープン
2000	12. 4. 1	赤堀町立東小学校開校
2001	13. 1. 30	宮郷第二小学校校舎・体育館竣工式
	3. 27	赤堀グラウンドゴルフ場完成
	3. 31	殖蓮第二、広瀬、坂東の3幼稚園廃園
	4. 1	宮郷第二小学校開校
	11. 4	第16回国民文化祭・ぐんま2001が実施され、伊勢崎市は出身の民謡研究家町田佳 聲にちなんで、民謡民舞の祭典を開催
2002	14. 4.	完全学校週5日制開始
	7.	あかぼり運動公園テニスコート完成
2003	15. 2. 20	宮郷幼稚園園舎改築工事完成
	3.	赤堀町立赤堀中学校新校舎（特別教室）完成
2004	16. 12.	赤堀町立南小学校校舎増築工事竣工
	3. 22	殖蓮公民館改築工事完成
	3. 30	東村立東中学校新校舎竣工
2005	17. 1. 1	市町村合併により旧町村の幼稚園、小学校、中学校の名称変更
	18. 3.	三室西公園スケートボード場完成（テニスコートをスケートボード場に改修）
2006	18. 4. 1	青少年育成センターが県より移管
2007	19. 4. 1	あずまホールをあずま公民館から分離
	5. 25	伊勢崎市文化協会設立（旧市町村ごとにあった文化協会の統合）
2008	20. 4. 1	県立前橋高等養護学校（伊勢崎分校）が旧県立境高等学校に開校 北小学校がコミュニティ・スクールに指定され、学校運営協議会を設置
2009	21. 3. 14	北小学校全面改築竣工式
	3.	図書館年間貸し出し100万点達成
	4. 1	四ツ葉学園中等教育学校開校 北小学校が特認校となる
	11. 29	四ツ葉学園中等教育学校竣工式
2010	22. 5. 14	伊勢崎市ラグビー場完成（平成23年5月1日供用開始）
2010	22. 6. 30	四ツ葉学園中等教育学校グラウンド完成
	11. 16	第一中学校体育館耐震補強工事完成
	12. 10	三郷幼稚園園舎竣工（園庭の芝生化）
2011	23. 1. 24	北第二小学校体育館竣工
	3. 25	茂呂小学校校舎増築工事完成
	8. 3～16	四ツ葉学園中等教育学校の生徒30人が米国ミズーリ州立大学附属語学学校にて海 外語学研修を実施
	9. 30	市庭球場改修工事（コート・スタンド・フェンス・トイレ）完成

2012	10. 12	米国ミズーリ州立大学と海外留学や海外語学研修に関する協定を締結
	12. 28	境北中学校体育館耐震補強工事完成
	24. 2. 29	宮郷中学校、赤堀南小学校校舎増築工事、宮郷中学校屋内運動場増築工事完成
	3. 15	第二市民体育館改修工事（耐震・電気・機械）完成
2013	8. 3～16	市内中学校・中等教育学校の生徒44人が米国ミズーリ州立大学附属語学学校にて海外語学研修を実施
	8. 31	小学校（市内全校）空調整備工事完成
	25. 1. 28	幼稚園（市内全園）空調整備工事完成
	3. 15	中学校（市内全校）空調整備工事完成
2014	3. 15	あずま体育館改修工事（耐震・電気・機械）完成
	4. 1	伊勢崎市立伊勢崎養護学校が群馬県立特別支援学校として県へ移管
	4. 1	新公益法人制度により財団法人伊勢崎市体育協会から一般財団法人伊勢崎市体育協会へ移行
	4. 1	赤堀南小学校、あずま南小学校、第四中学校、殖蓮中学校がコミュニティ・スクールに指定され、学校運営協議会を設置
	8. 3～16	海外語学研修の参加生徒数を60人（市内中学校・中等教育学校）に拡大し、米国ミズーリ州立大学附属語学学校にて研修を実施
	11. 29	第一幼稚園園舎耐震補強工事完成
	12. 13	境小学校、境采女小学校校舎耐震補強工事完成
	12. 27	第三中学校体育館耐震補強工事完成
	26. 1. 31	広瀬小学校体育館耐震補強工事完成
	2. 10	殖蓮第二小学校体育館耐震補強工事完成
	2. 28	市民体育館改修工事（耐震・電気・機械）完成
	3. 14	赤堀体育館改修工事（更衣室・トイレ・事務室）完成
2015	6. 25	田島弥平旧宅「富岡製市場と絹産業遺産群」として世界遺産登録
	8. 2～15	海外語学研修の参加生徒数を70人（市内中学校・中等教育学校）に拡大し、米国ミズーリ州立大学附属語学学校にて研修を実施
	10. 31	殖蓮第二小学校校舎耐震補強工事完成
	11. 10	南幼稚園園舎耐震補強工事完成
	11. 14	境采女小学校校舎耐震補強工事（第2期）完成
	11. 17	境東小学校校舎耐震補強工事（第1期）完成
	27. 1. 16	広瀬小学校校舎耐震補強工事完成
	1. 30	南小学校、名和小学校、宮郷第二小学校トイレ改修工事・機械設備工事完成
	1. 30	第三中学校校舎耐震補強工事完成
	2. 6	宮郷第二小学校、北第二小学校、赤堀小学校、赤堀南小学校、境采女小学校、境剛志小学校トイレ改修工事・機械設備工事完成
	2. 6	あずま小学校トイレ改修機械設備工事完成
	2. 20	宮郷中学校体育館耐震補強及び増築工事完成
	3. 14	赤堀中学校全面改築竣工式
	3. 16	境公民館全面改築竣工式

平成27年度

伊勢崎市教育行政方針



伊勢崎ふるさと学習（旧森村家住宅）

伊勢崎市教育委員会

基本理念

伊勢崎市教育委員会は、人権尊重の精神を基本に、家庭・地域社会への所属感をはぐくみ、郷土を愛する心と国際協調の精神を養い、自ら学び心豊かでたくましい『生きる力』にあふれ、くらしと文化を創造し享受する自立した人づくりを目指して教育行政を進めます。このため、社会の動向と本市教育の伝統を踏まえ、生涯学習の視点に立った主体的な学習を促し、人間として調和のとれた、創造的で個性を生かした教育の振興を図ります。

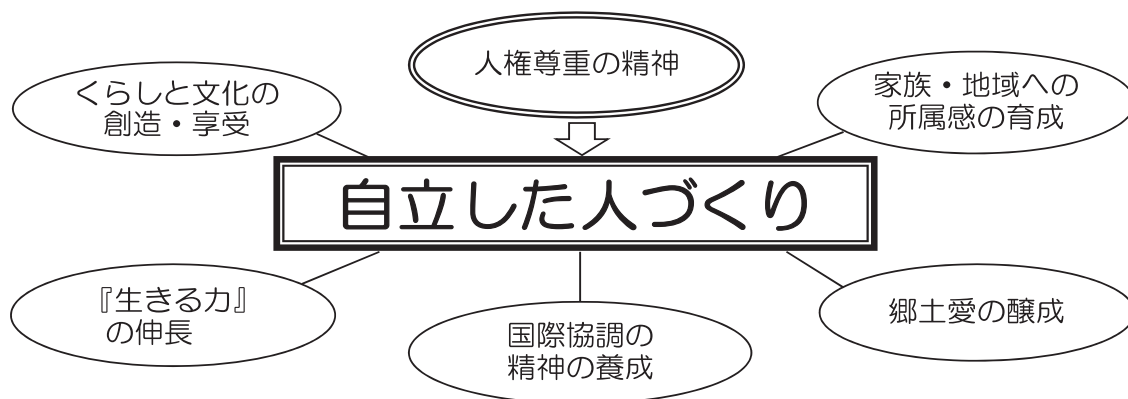
基本方針

伊勢崎市教育委員会は、複雑化・多様化する社会の変化がもたらす各種教育課題に適切に対応するため、基本理念の具現化を目指し、諸施策の推進に努めます。

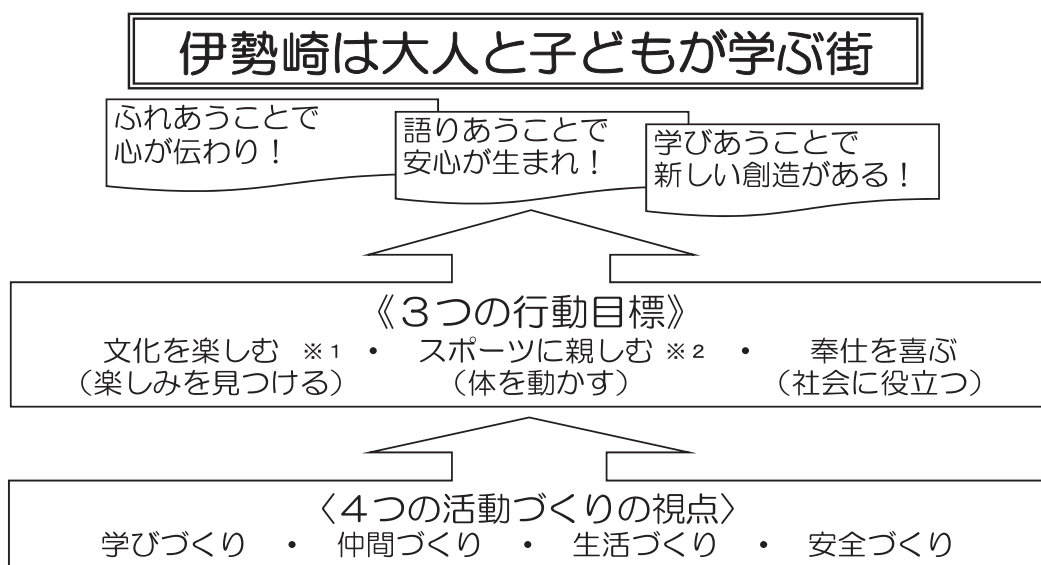
このために、市民参加の学習活動が展開できるよう、家庭・地域社会・学校・関係機関の連携を深め、生涯の各時期に対応した学習の機会の確保、教育条件の整備と学習環境づくりを推進し、『伊勢崎は大人と子どもが学ぶ街』の実現に努めます。

そこで、心の教育を充実し、感性豊かで実践力のある市民の育成に努めるとともに、ゆとりある文化的な生活を実現するため、わたくしたち一人一人が3つの行動目標「文化を楽しむ（楽しみを見つける）・スポーツに親しむ（体を動かす）・奉仕を喜ぶ（社会に役立つ）」を掲げ、その実現を目指して4つの活動づくり「学びづくり・仲間づくり・生活づくり・安全づくり」に取り組みます。

基本理念



基本方針



【注】伊勢崎市教育委員会の権限に属する事務の委任等に関する規則第2条により、事務委任をしています。

※1 文化に関する事項(経済部文化観光課) ※2 スポーツに関する事項(健康推進部スポーツ振興課)

活動づくりの8施策

1 学びの芽生えを大切にする就学前教育の充実

- (1)人間形成の基礎が培われる就学前時期に、生活や遊びなどの体験から情緒的、知的な発達を育みます。
- (2)幼稚園、小学校の教職員による合同研修会等の実施により、就学前教育の情報を共有し幼稚園から小学校への円滑な接続に努めます。

2 子どもの成長に応じた学校教育の充実

- (1)学力の向上のために、学校と家庭の連携を深め、適切な学習指導と時間の有効活用による基礎学力の習得及び家庭学習の習慣化を図ります。
- (2)地域との交流を通して、ふるさと伊勢崎についての学習を推進するとともに、地域社会や企業、大学等と連携したキャリア教育の充実に努めます。
- (3)グローバル人材育成に向けたプログラム等の実施により、国際社会で活躍できる人材を育成するとともに、確かな学力の育成に努めます。

3 子どもの徳育の充実

- (1)健全な人間関係と豊かな学校生活を展開するために、学校と家庭・地域の協働により子どもの基本的生活習慣の定着や規範意識の向上を図るとともに、いじめや不登校への対策強化に努めます。
- (2)地域の絆で結ばれた住みよい街をつくるために、人権意識の高揚や協働社会の醸成と子どもの健全育成の充実に努める多様な事業を展開し、家庭や地域の教育力を高めます。
- (3)子どもたちの学びや気づき、親子の絆づくりを大切にするために、体験学習の充実や親子のふれあう機会の拡充を図ります。

4 安心・安全を大切にした健康教育の充実

- (1)生涯を通じて健康で活力ある生活を送るために、学校保健活動や学校給食の充実、食育の推進を図り、子どもの心と体の健康づくりに努めます。
- (2)安心安全な学校給食の提供と食育に関する情報を発信することにより、栄養職員をはじめ学校と家庭・地域が一体となった食育の推進に努めます。
- (3)安全に生活するための基本的な知識や判断力を育てるために、学校と家庭・地域が一体となって学校安全や交通安全をはじめとする安全教育を推進し、安全の確保に努めます。

5 教育環境の整備・充実

- (1)学習環境の改善や心の教育推進のために、全ての小・中学校のトイレを全面改修し、洋式化を進めます。また、環境教育の一環としてグリーンカーテンなどのエコ活動に子どもたちと共に取り組みます。
- (2)安心安全な学習空間を創造するために、教育施設の耐震化を進め、バリアフリー化やエコ改修等を行い、建物の長寿命化を図ります。
- (3)教職員の資質向上のために、学び続ける教員を支援する仕組みの構築に努めます。

6 市民が主役の生涯学習の充実

- (1)自ら学び、成長し、地域貢献できる人材を育成するために、身近な学びの場を確保し、生涯学習の支援体制を整えます。
- (2)公民館等における学習機会の充実や子どもたちの体験を通じた学びや気づき、親子の絆づくりを大切にするために、体験学習の充実や親子のふれあう機会の拡充を図ります。
- (3)奉仕活動を通して、充実の喜びや社会に役立つ充実感を育成するために、地域ボランティアの養成と支援を通して自発的な奉仕活動を促し、地域の人材の発掘と活用を図ります。

7 読書の街づくりの推進

- (1)読書や活字文化の充実を図るために、学校と家庭・地域に読書活動を普及させ、本との出会い、本を介した仲間づくりなどを通して本に親しむ習慣の定着を図ります。
- (2)問題解決能力の育成と家族のふれあいや豊かな心を育むために、ライフステージに応じた情報の提供、子育て世代への読書活動の推奨及び市民協働による図書館活動の充実を図ります。

8 郷土の歴史や文化の伝承と郷土愛の育成

- (1)文化財に親しみ理解を深めてもらうために、民間ホールでの埋蔵文化財展等の開催や歴史文化講座の充実に努めます。
- (2)郷土の歴史や文化を次代に継承するために、先人が残した地域の歴史遺産や文化遺産など価値ある文化財を調査、保存に努めます。また、世界遺産である田島弥平旧宅周辺の環境整備に努めます。
- (3)郷土を愛する心を育むために、地域の伝統芸能の継承活動等を支援します。

平成27年度伊勢崎市教育行政方針体系図

基本理念

基本方針

自立した人づくり

人権尊重の精神

家族・地域への所属感の育成

郷土愛の醸成

国際協調の精神の養成

「生きる力」の伸長

くらしと文化の創造・享受

伊勢崎は大人と子どもが学ぶ街

ふれあうことで心が伝わり！

語りあうことで安心が生まれ！

学びあうことで新しい創造がある！



《3つの行動目標》

文化を楽しむ
(楽しみを見つける)スポーツに親しむ
(体を動かす)奉仕を喜ぶ
(社会に役立つ)

〈4つの活動づくりの視点〉

学びづくり

仲間づくり

生活づくり

安全づくり



1 学びの芽生えを大切にする就学前教育の充実

(1) 交流と体験を重視した就学前教育の展開

学校教育

○幼稚園でのふたばすくすくプランの充実

- a ジョイふるタイム
 - ・地域の人たちとの交流
 - ・自然体験、社会体験の実施
- b 子育てふれあいタイム
 - ・未就園親子への遊び場の提供
 - ・保護者同士の交流、子育てに関する相談の実施



興陽高校との交流さつまいもほり



楽しく活動する園児たち

(2) 幼稚園小学校の連携

学校教育

○幼小の円滑な接続のための取組

- a 幼稚園での絵本に親しむ活動や集団で体を動かす活動の推進
- b 幼稚園、小学校の合同授業の実施
- c 幼稚園、小学校の教職員による合同研修会の実施

学校教育

○就学前教育の情報共有

- a 公立幼稚園と小学校との連携を基にした研究成果を、私立幼稚園及び保育所に情報発信
- b 保育所、幼稚園、小学校合同研修会における情報交換



教職員による幼小合同研修会



幼保小合同研修会における情報交換

2 子どもの成長に応じた学校教育の充実

(3) 教育内容の充実

学校教育**確かな学力の向上**

- なぜ？を大切にした授業
 - a 5W(読む・聞く・考える・書く・話す)を視点とした考え表現する授業の充実
 - b 交流を工夫し、子どもの「なるほど!」を引き出す授業の充実
 - c 学んだことを子ども自身が振り返ることができる授業の充実
- きめ細かな実態把握と指導
 - a 理解度や定着度に応じた指導
 - b 教科分担制の推進
- 考える力の基盤をつくる
パワーアップタイム
 - a 発展的・補足的な学習や読書の充実
 - b 実態に応じた意図的・計画的な実施
- 学校規模適正化の検討・推進

学校教育**英語コミュニケーション能力の育成**

- コミュニケーションを重視した学習の充実
 - a 学習した英語表現を使う楽しさを味わうことができる授業の充実
 - b 外国語指導助手 (ALT) 等を活用した、ネイティブな音声や表現に触れることができる授業の充実
- 小中9年間の連続性を重視した授業の充実
 - a 小学校における教育課程特例校の特性を生かしたカリキュラムの充実
 - b 小学校での学習内容を踏まえた中学校英語科授業の充実
- 海外語学研修の実施
 - a 米国ミズーリ州立大学附属語学学校 (ELI) での現地研修

学校教育**家庭学習習慣の定着**

- 自ら学ぶ家庭学習習慣の育成
 - a 授業と家庭学習を連動させ、分かる喜びやできる楽しさを味わわせることにより、家庭学習の質の向上
 - b 家庭学習の手引きの活用により子どもの自主的な取組の促進

学校教育**将来の生き方を育む教育の推進**

- 学習や体験活動を通じたキャリア教育の推進
 - a 勤労観や職業観を育む仕事調べや職場見学(小学校)、職場体験や奉仕活動等(中学校)の実施
 - b 地域や企業、大学の方々から生き方や社会のしくみ等を学び、自己の生き方を考える「未来力」学習講座の実施

学校教育**体力の向上**

- 健康な体づくりの推進
 - a 体力の状況に即した指導の充実
 - ・全国体力・運動能力、運動習慣等の調査結果の活用
 - b 体育主任会等との連携による体力づくりの啓発
 - ・体力アップメニューや元気っ子体操等の活用
 - ・実態に応じたトレーニング等の工夫
 - c 継続的な体力向上に向けた環境づくり
 - ・業前・業間運動や部活動の活用
 - ・ともに体を動かす仲間づくりの促進



体育大会の風景（宮郷中学校）

2 子どもの成長に応じた学校教育の充実

(4) 特色ある学校づくりの推進

学校教育

地域の教育資源の活用

○伊勢崎ふるさと学習の推進

- a 地域の方々との交流や体験活動を通して、ふるさと伊勢崎のよさを学ぶ学習の実施

○「未来力」学習講座の実施

- a 全ての学校、学年での意図的・計画的な実施
- b 子どもたちの夢づくり、目標づくりの支援

○学校支援ボランティアと協働した教育活動の実施

- a ボランティアリーダーを核とした組織的教育活動の実施
- b コミュニティスクールの充実

学校教育

カリキュラムパートナーのもつ知的資源の活用

○企業や大学のカリキュラムパートナーと協働した教育活動の実施

- a 企業や大学の知的資源を活用して、その専門性を生かした質の高い学びを目指した教育活動の実施

○教育改革・いせさき未来会議の充実

- a 未来志向で教育改革の方向性を検討、提言

(5) 中等教育学校教育の充実

中等教育学校教育

《夢と希望を実現できる学力の育成》

○確かな学力の育成

- a 英語や数学の少人数学習の実施
- b 朝・放課後・土曜などの補充学習・発展学習(SUP)の実施
- c 英語検定・GTEC・TOEFL等の計画的な実施
- d 進学に向けた課外授業の実施

○自ら学び自ら律する指導の推進

- a 生徒自らが自分の言動を考える指導の徹底
- b 学習や生活等における、生徒が生徒を育てるサポートリーダー制の導入
- c 「自学」「自律」をねらいにした活動の時間の設置
- d 「四ツ葉生らしさを考える会」の実施

中等教育学校教育

《世界と伊勢崎をつなぐグローバル人材育成》

○海外語学研修の実施

- a 米国ミズーリ州立大学附属語学学校(ELI)での現地研修

○海外の大学への留学・進学に向けた具体的な方法の研究

- a 伊勢崎市とミズーリ州立大学との協定内容の具現化
- b 海外の大学進学も含めた進路指導や講座の実施

○グローバル人材育成に向けたプログラムの実施

- a グローバルスタディーズキャンプ・世界で活躍する日本人講師による特別授業等の実施
- b 海外グローバルリーダーズ研修・米国ミズーリ州立大学附属語学学校(ELI)におけるグローバルリーダープログラムの実施等

中等教育学校教育

《企業・大学と連携したキャリア教育の推進》

○生徒の主体性を生かした計画的なキャリア体験学習の推進

- a 大学や企業と連携し現代社会の最先端の知識や技能に触れる「アカデミックキャンプ」の実施
- b 地元の企業等で働く社会人へ生徒自らインタビューする「社会人への取材活動」の実施
- c 首都圏の大学に生徒が直接訪問する「大学突撃取材」の実施
- d 総合的な学習の時間におけるソーシャルビジネスをテーマにした活動の実施

3 子どもの徳育の充実

(6) 道徳教育を通した豊かな心の育成

学校教育**温かい学級づくりの推進****○一人一人の子どもを大切にした指導・支援の充実**

- a 子どもの心に寄り添った指導で子どもの自己有用感の育成
- b 特別支援教育の考えに基づいた、個に応じたきめ細かな支援・指導の充実

○道徳教育と特別活動の充実

- a 子ども主体の活動による絆づくり、心の居場所づくり
- b 豊かな体験活動を通した思いやりの心や協力し合う態度づくり

学校教育**生活・学習習慣の定着****○幼小中一貫生活・学習ルールを活用**

- a 規律ある学校生活で規範意識の向上
- b 学校での基本的基礎的な生活習慣や学習習慣の定着
(話を聞く、忘れ物をしない等)

○携帯電話3つの基本ルールの徹底

- a 小中学生は携帯電話を持たないことを原則とする。
- b 持たせる場合には保護者が責任をもつ。
- c 伊勢崎版「携帯電話利用ルール」を守る。

学校教育**きれいな学校づくりの推進****○身の回りの整理・整頓**

- a 5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)を視点にしたきれいな学習環境づくり

○きれいな心づくり

- a 気持ちのこもったあいさつや言葉づかいの実践
- b トイレの環境整美を通したマナーづくりや思いやりの心の育成
- c 施設を大切にする気持ち、自校を誇りに思う気持ちの育成

学校教育**いじめ・不登校の対策****○生徒指導体制の充実**

- a 家庭、地域、関係機関等との緊密な連携を図り、児童生徒の実態や特性に応じたきめ細かな指導を全校体制で実施
- b スクールカウンセラーや学習生活相談員等の積極的な活用

○適応指導教室の活用推進

- a 個別の学習指導による基礎学力の定着
- b スポーツ活動等による集団生活への適応

○サポートケース会議の活用推進

- a 臨床心理士等による不登校児童生徒の自立及び学校復帰への支援



全校集会（坂東小学校）

3 子どもの徳育の充実

(7) 家庭教育・人権教育を通じた地域の教育力の向上

生涯学習

- 人権問題学習講座等の開催
 - a 地区別人権学習会の充実
 - b 夏休み親子人権学習会の充実
 - c 人権教育指導者養成講座の充実
 - d 多様な人権問題学習会等の実施
- 児童生徒作品を活用した人権啓発活動の充実
 - a 人権啓発標語・ポスターの募集・活用
 - ・優秀作品の表彰、展示を通じた人権啓発
 - b 人権啓発カレンダーの作成・配布
 - ・児童生徒作品の紹介を通じた人権啓発

生涯学習 健康教育

- 情報共有による問題解決の場の提供
 - a 家庭教育講演会の実施
 - b 保護者会や家庭訪問、学校通信等の活用
 - c 教育相談の充実
 - d 家庭教育人権教育推進事業の実施
- 食事の重要性の理解と家庭での食生活改善の促進
 - a 栄養教諭等による保護者を対象とした給食の試食会や講演会の開催
 - b 食事がもたらす学習や運動への影響について情報提供を行うことによる、食事を見直すきっかけづくり
 - c 家庭での食事のマナーの習得が果たす効果についての周知・普及

生涯学習 健康教育

- 基本的生活習慣の確立や絆をつなぐ習慣の習得
 - a 早寝、早起き、朝ごはん運動
 - b 家族でいただきますの日運動
 - c 地域と協力したあいさつ運動
- 豊かな感性や情操、思いやりの心を育てる家庭の充実
 - a 家族で家読運動
- 自らの命を守る交通ルールの順守の推進
 - a 安全な自転車の乗り方や自転車点検の推進運動

(8) 地域ぐるみの子どもの健全育成

生涯学習

- 「少年の主張」伊勢崎市大会の開催
 - a 発表者選出に向けた各中学校全生徒の取組の充実
- 放課後子ども教室の推進
 - a 地域社会の中での学習、体験と交流

生涯学習

- 地域の教育関係団体との連携・協力
 - a 子育て関係団体と協働した事業との連携
 - b 公民館における家庭教育学級事業の実施
 - c 子育てに関する事業等、公民館同士での情報共有



少年の主張伊勢崎市大会

4 安心・安全を大切にした健康教育の充実

(9) 健康教育の充実

健康教育

- 計画的・組織的な学校保健活動の推進
 - a 基本的生活習慣の確立、心の健康など各校の健康課題の解決に向けた学校保健計画の作成
 - b 家庭・地域と連携した学校保健活動の充実
 - c 要管理児童生徒へのきめ細やかな対応
- 食物アレルギーや感染症、熱中症等の予防対策の徹底
 - a 心身の健康観察の徹底
 - b 保健指導の充実
 - c 適切な環境の維持及び改善
- 健康教育充実プランの推進
 - a 小中9年間を見通した指導計画の作成
 - b 発達段階に応じた指導とライフスキルを身につける指導の実施

(10) 学校給食の充実

健康教育

- 安心安全な学校給食の提供
 - a 学校参画による食材栽培体験活動の推進
 - b 地場産農作物の利用拡大
 - c 食物アレルギー対応の充実
 - d 食中毒予防の充実
- 食に関する年間指導計画を活用した指導実践
 - a 学校栄養職員による食に関する指導の推進
 - b 学校給食を活用した指導の充実
 - c 関連する教科等での食に関する指導の推進
- 食育情報発信
 - a 食育の理解を深めるイベント開催
 - b ホームページによる情報提供

(11) 安全対策の充実

健康教育

- 事件・事故災害を想定した安全管理の徹底
 - a 事件、事故災害が発生した場合の児童生徒の安全確保を図る体制の確立と対処要領の作成
 - b 学校職員、児童生徒、保護者、地域等が連携した学校施設、校庭、通学路の安全点検の実施
 - c 普通救命講習等、教職員研修を盛り込んだ総合的な学校安全計画の策定と見直し
- 事故発生件数ゼロを目指した安全指導の徹底
 - a 危機回避能力を培うための日常的な安全指導の徹底（廊下歩行、一時停止の遵守）
 - b 職員・保護者・地域安全ボランティアが協働した通学路の巡回ならびに安全指導の徹底



食育指導研究会

安全 MAP 教室掲示例
(第四中学校)

5 教育環境の整備・充実

(12) 学校施設の整備充実

教育施設

○トイレ改修整備

- a トイレ改修工事
- ・小学校 6 校実施予定

○グリーン作戦の展開

- a グリーンカーテンの設置
(全校へゴーヤ・朝顔等の配布)
- b 通風による換気指導
- c 節電指導など

○耐震補強工事

- ・境東小学校校舎
- ・豊受小学校校舎
- ・境剛志小学校校舎
- ・宮郷小学校校舎
- ・赤堀小学校校舎
- ・名和幼稚園園舎
- ・豊受幼稚園園舎
- ・あかぼり幼稚園園舎

○改築による耐震化

- ・あずま幼稚園保育棟改築工事

(13) 教職員の資質の向上

学校教育

○専門性、指導力の向上を図る研修の充実

- a 学校、幼稚園における校内外研修の充実など、日常的な職務を通して職能成長を図る職場環境づくり
- b 各種主任、担当等を対象とした、職務の専門性を高めるための市教委主催の研修会の実施
- c 市教委事務局による学校訪問、園訪問での指導・助言
- d 市教育研究所における研究事業及び各種研修講座の実施



教育研究所における教職員研修



グリーンカーテン



改修された学校トイレ



耐震補強工事

6 市民が主役の生涯学習の充実

(14) 学習活動の支援

生涯学習

- 生涯学習支援ボランティアまなびい先生事業の充実
 - a 自主企画事業「まなびい塾」の拡充
- 1行政区1楽習の推進
 - a 地域の伝統や文化など特色を生かした学習機会の充実
 - b 生涯学習推進員との連携を図り「出前講座」や「まなびい先生」を活用した身近な学びの確保
- 生涯学習大会の拡充
 - a 市民の学びの成果を発表する場と市民が集い世代間交流の場としての生涯学習大会の実施
- 公民館事業等でのボランティア養成講座の開催
 - a A E D講習会等の開催
- 公民館のボランティアサークルへの支援
 - a 地区文化祭・作品展等の開催への支援
- 生涯学習支援ボランティアまなびい先生への支援
 - a 自主企画事業における会場の提供と広報活動

(15) 学習機会の拡充

生涯学習

- 公民館等での学習機会の充実
 - a 地域の特性を生かし、人と人とのつながりを重視した世代間の交流を目指した教室、講座の開催
 - b 父親の子育て参加を促進する親子参加型の家庭教育講座等の開催
 - c 男性の積極的な参加を促せる教室、講座の開催
 - d 読書の街いせさを推進する本に親しむ講座の開催
 - e 若者の積極的な参加を促せる特色ある学級、講座の開催
 - f 男女共同参画に関する多様な学習機会の提供
 - g 市民主体によるサークル活動の成果発表等の文化祭や作品展等開催への協力
- まゆドーム等での子どもへの学習機会の提供
 - a まゆドーム「親子ふれあい事業」としての自然や環境への興味を促す体験学習の拡充
 - b 「まなびい先生」や講師を活用した地域文化の伝承
 - c 「ふるさと学習」に関連した体験学習の実施

(16) 学習環境の充実

生涯学習

- 市民ボランティアとの協働による学ぶ機会の充実
 - a 市民の要請に応じた事業
 - b まなびい先生の自主企画事業
 - c いせさき街角文庫の補充・整理
 - d 幼稚園での読み聞かせ
 - e 読書まつりの運営
 - f イベントにおける読み聞かせ

生涯学習

- 図書館ボランティアとの協働
 - a 読み聞かせボランティア
 - b イベントボランティア
 - c 書架の整理ボランティア等
- まゆドーム「親子ふれあい事業」におけるボランティアとの協働
 - a 伝承的な事業
 - ・もちつき体験
 - ・お正月遊びをしよう
 - ・豆まき

7 読書の街づくりの推進

(17) 本がつなぐ仲間づくりの推進

生涯学習

- 読書サポーター活動の促進
 - a 幼稚園やまゆドーム等での読み聞かせ
 - b 親子でぴよんぴよん事業
 - c 読書まつり等の開催
 - d スキルアップ講座の開催〈読み聞かせ活動への支援〉
 - e 読書ボランティア交流会の開催
 - f 市民読書サポーターの活動支援

○読書の街いせさき推進会議の推進

- a 読書の街いせさき推進会議・読書サポーターネットワーク会議の開催

生涯学習

- 地域ぐるみの読書活動の推進
 - a いせさき街角文庫の充実
 - b 「伊勢崎市親子が推薦する図書101」の推奨
 - c 幼稚園での読み聞かせ
 - d まゆドームでの読み聞かせ
 - e 市民から提供された本の有効活用



幼稚園での読み聞かせ

生涯学習

- 「家族で家読を」運動の推進
 - a 親子でぴよんぴよん事業
 - b 読書マラソンカードの活用
 - c 「伊勢崎市親子が推薦する図書101」の推奨
 - d 家族ふれあい読書新聞の募集



家族ふれあい読書新聞入賞者交流会

(18) 図書館の特色を活かした事業の展開

図書館

- ライフステージに合わせた課題解決支援サービスの充実
 - a ビジネス支援コーナーの拡充
 - ・仕事に役立つ情報を、関係各機関と連携し提供する。
 - b 子育て支援コーナーの拡充
 - ・子育てに役立つ情報を、市内の子育て関係機関と連携し提供する。

図書館

- ブックスタートの実施・発展
 - a ブックスタートの実施
 - ・読み聞かせと絵本の配付
 - ・子育て支援のメッセージ伝達
 - b ブックスタートを発展
 - ・親子で参加できる事業（読み聞かせ、手作り絵本教室など）

図書館

- 市民ボランティアの参加と協働
 - a 定期的な活動
 - ・書架の整理
 - ・読み聞かせ（館内・ブックスタート等）
 - b 随時の活動〈イベント等〉
 - ・コンサートや朗読会等の催し
 - ・講演会の講師
 - ・展示会の開催協力 等

8 郷土の歴史や文化の伝承と郷土愛の育成

(19) 文化財の調査研究と
情報発信

文化財保護

- 文化財普及啓発事業の推進
 - a 民間ホールでの埋蔵文化財展の開催
 - b 文化財説明板等の整備及び適正管理
- 佐位郡衙関連遺跡の調査研究の推進
 - a 発掘調査の実施
- 赤堀歴史民俗資料館の充実
 - a 企画展・季節展の充実
 - b 歴史文化講座の充実

(21) 伝統芸能などの保存
と継承

文化財保護

- 有形・無形民俗文化財の保存と
普及啓発事業の推進
 - a 伝統芸能の継承活動などの支援

(20) 文化財の保存と活用

文化財保護

- 文化財の保存管理
 - a 文化財の点検と保存整備
 - b 郷土文化研究会との連携
- 文化財新規指定の推進
 - a 文化財への新規指定
- 史跡女堀保存整備活用事業の推進
 - a 整備基本計画の策定
 - b 調査整備委員会の開催
- 田島弥平旧宅保存整備活用事業の推進
 - a 史跡整備活用の推進
 - b 調査整備委員会の開催
 - c 史資料調査等の実施
- 世界遺産の環境整備
 - a 来訪者対応の充実
 - b 周辺環境の整備
 - c 案内所の充実
- 史跡上野国佐位郡正倉跡
保存整備活用事業の推進
 - a 保存管理計画の策定
 - b 調査整備委員会の開催

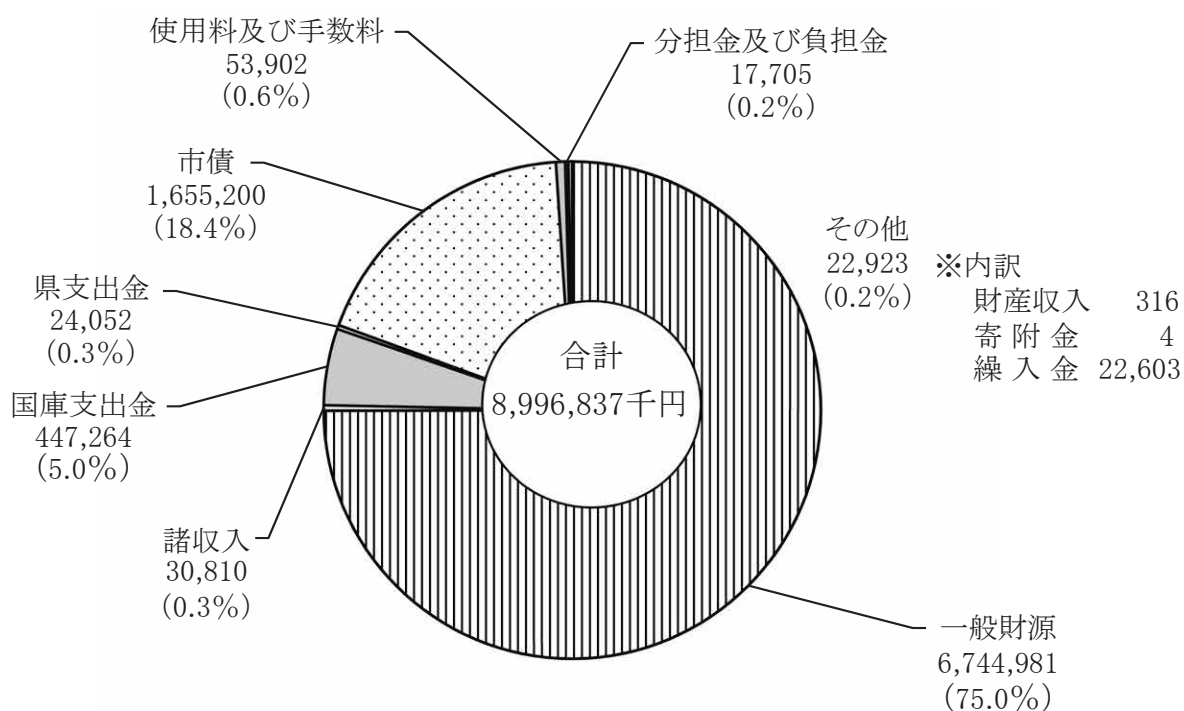


女堀現地説明会

平成27年度教育費に係る一般会計予算

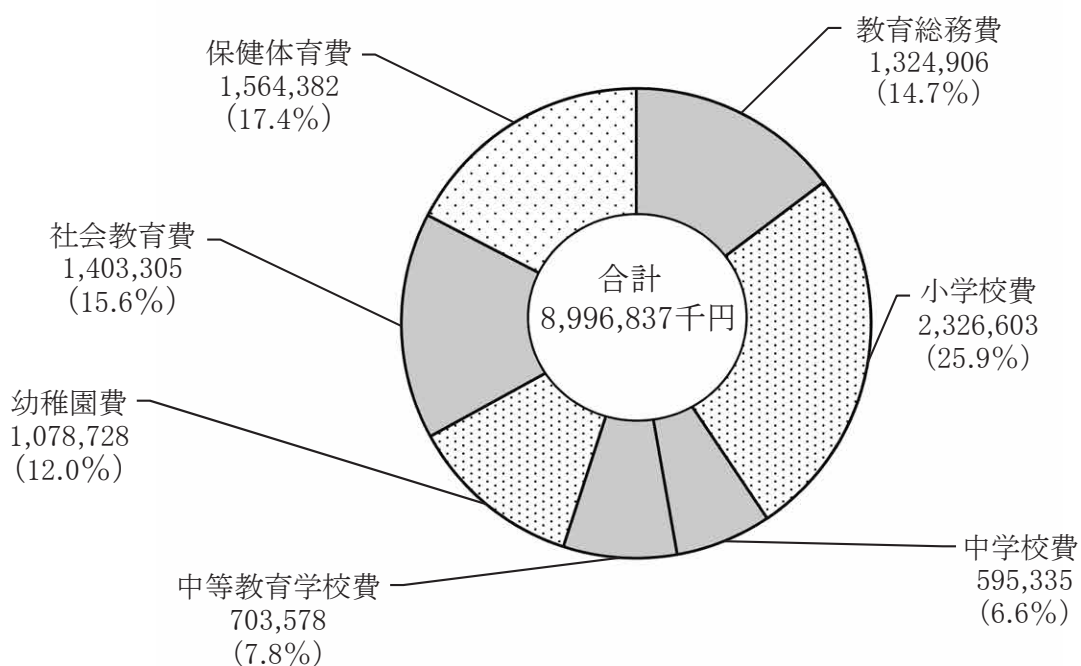
歳入

(単位:千円)



歳出（給与等を除く）

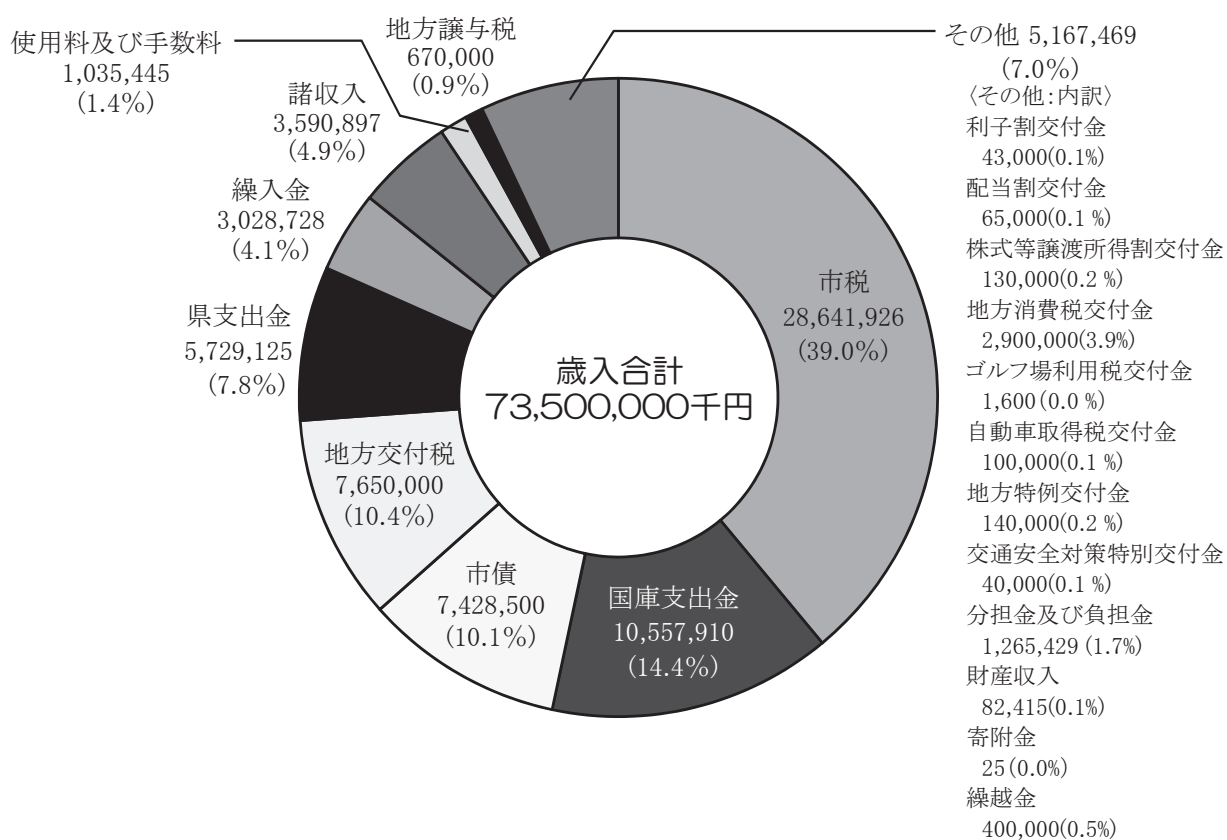
(単位:千円)



平成27年度伊勢崎市一般会計予算

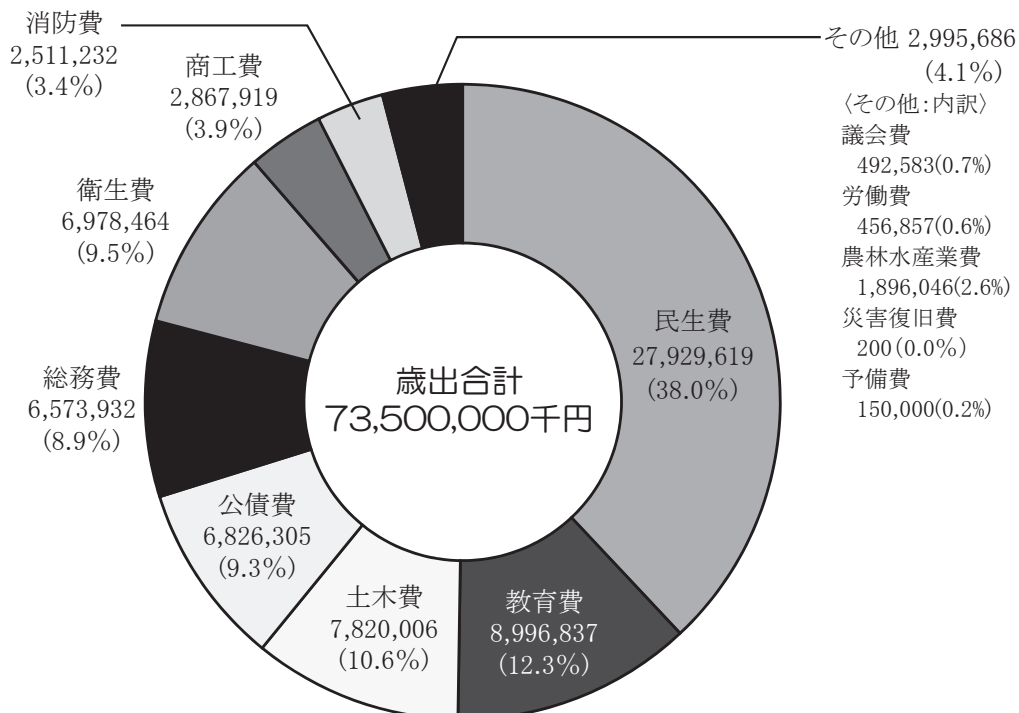
歳入

(単位:千円)



歳出

(単位:千円)



平成27年度 教育費項目別予算

項 目	年 度		平成27年度(A)		平成26年度(B)		比較	前年度比	平成26年度
			予 算 額	構成比	予 算 額	構成比	(A)-(B)	(A) / (B)	決算見込額
1 教育総務費			千円 1,324,906	% 14.72	千円 1,365,284	% 12.64	千円 -40,378	% 97.04	千円 1,355,788
1 教育委員会費			4,815	0.05	4,802	0.04	13	100.27	4,361
2 事務局費			947,398	10.53	991,910	9.18	-44,512	95.51	975,142
3 教育指導費			303,142	3.37	298,425	2.76	4,717	101.58	309,779
4 教育研究所費			39,178	0.43	38,319	0.35	859	102.24	38,764
5 臨海学校費			30,373	0.34	31,828	0.29	-1,455	95.43	27,742
2 小学校費			2,326,603	25.86	1,866,581	17.28	460,022	124.65	1,694,773
1 学校管理費			1,947,757	21.65	1,584,920	14.67	362,837	122.89	1,427,702
2 教育振興費			373,346	4.15	281,661	2.61	91,685	132.55	267,071
3 学校建設費			5,500	0.06	0	0.00	5,500	0.00	0
3 中学校費			595,335	6.62	3,411,859	31.58	-2,816,524	17.45	3,393,726
1 学校管理費			372,577	4.14	626,066	5.80	-253,489	59.51	662,549
2 教育振興費			213,258	2.37	197,400	1.83	15,858	108.03	191,941
3 学校建設費			9,500	0.11	2,588,393	23.96	-2,578,893	0.37	2,539,236
4 中等教育学校費			703,578	7.82	561,193	5.20	142,385	125.37	548,912
1 中等教育学校総務費			467,944	5.20	462,610	4.28	5,334	101.15	454,101
2 学校管理費			199,492	2.22	66,858	0.62	132,634	298.38	64,401
3 教育振興費			36,142	0.40	31,725	0.29	4,417	113.92	30,410
5 幼稚園費			1,078,728	11.99	568,270	5.26	510,458	189.83	547,169
1 幼稚園費			870,728	9.68	559,770	5.18	310,958	155.55	538,950
2 学校建設費			208,000	2.31	8,500	0.08	199,500	2447.06	8,219
6 社会教育費			1,403,305	15.60	1,539,953	14.26	-136,648	91.13	1,545,051
1 社会教育総務費			890,378	9.90	871,703	8.07	18,675	102.14	895,345
2 公民館費			187,899	2.09	335,966	3.11	-148,067	55.93	333,160
3 図書館費			165,736	1.84	206,869	1.92	-41,133	80.12	198,956
4 青少年対策費			22,805	0.25	24,373	0.23	-1,568	93.57	22,392
5 文化財保護費			136,487	1.52	101,042	0.94	35,445	135.08	95,198
7 保健体育費			1,564,382	17.39	1,487,770	13.77	76,612	105.15	1,503,574
1 保健体育総務費			1,169,175	13.00	1,065,752	9.87	103,423	109.70	1,086,256
2 体育施設費			395,207	4.39	422,018	3.91	-26,811	93.65	417,318
8 特別支援学校費			0	0.00	1,404	0.01	-1,404	0.00	1,524
教育振興費			0	0.00	1,404	0.01	-1,404	0.00	1,524
計			8,996,837	100.00	10,802,314	100.00	-1,805,477	83.29	10,590,517

教育費年度別決算額一覽

年 度 項 目		平成 2 3 年度	平成 2 4 年度	平成 2 5 年度	平成 2 6 年度 (見込み)
1	教育総務費	千円 1,250,441	千円 1,230,035	千円 1,218,211	千円 1,355,788
	1 教育委員会費	4,471	4,542	4,398	4,361
	2 事務局費	899,689	885,971	872,438	975,142
	3 教育指導費	288,116	284,166	284,777	309,779
	4 教育研究所費	37,029	35,399	34,675	38,764
	5 臨海学校費	21,136	19,957	21,923	27,742
2	小学校費	1,069,361	2,117,429	1,235,516	1,694,773
	1 学校管理費	539,061	1,715,894	953,865	1,427,702
	2 教育振興費	363,811	271,536	281,651	267,071
	学校建設費	166,489	129,999	0	0
3	中学校費	1,121,078	2,003,927	1,367,066	3,393,726
	1 学校管理費	375,008	985,751	407,346	662,549
	2 教育振興費	200,516	227,743	191,352	191,941
	3 学校建設費	545,554	790,433	768,368	2,539,236
4	特別支援学校費	54,855	85,987	1,212	1,524
	学校管理費	43,718	78,126	0	0
	1 教育振興費	11,137	7,861	1,212	1,524
5	中等教育学校費	131,159	214,544	308,706	548,912
	1 中等教育学校総務費	104,512	190,873	273,005	454,101
	2 学校管理費	6,594	9,758	19,948	64,401
	3 教育振興費	20,053	13,913	15,753	30,410
6	幼稚園費	493,989	516,480	534,990	547,169
	1 幼稚園費	493,989	516,480	534,990	538,950
	2 学校建設費	0	0	0	8,219
7	社会教育費	1,233,917	1,190,759	1,292,959	1,545,051
	1 社会教育総務費	874,499	843,932	843,820	895,345
	2 公民館費	113,138	122,571	142,430	333,160
	3 図書館費	152,704	137,131	175,575	198,956
	4 青少年対策費	23,084	22,149	20,867	22,392
	5 文化財保護費	70,492	64,976	110,267	95,198
8	保健体育費	1,757,773	1,613,758	1,772,682	1,503,574
	1 保健体育総務費	981,414	1,025,750	1,034,657	1,086,256
	2 体育施設費	776,359	588,008	738,025	417,318
9	高等学校費	386,675	329,328	250,489	0
	高等学校総務費	331,788	273,118	198,469	0
	高等学校管理費	36,940	39,429	36,887	0
	教育振興費	17,947	16,781	15,133	0
計		7,499,248	9,302,247	7,981,831	10,590,517

Ⅱ 教育施設



第三中学校校舎の耐震補強



小学校のトイレ改修（北第二小学校）



南幼稚園園舎の耐震補強

教育施設一覧

1 幼稚園

区 分	所 在 地	創立年月日	学級数	児童・生徒数			教職員数 教 員		
				男	女	計	男	女	計
				人	人	人	人	人	人
第 一 幼 稚 園	曲輪町24番26号	明治23年 5月12日	2	16	13	29	0	5	5
南 幼 稚 園	上泉町116番地	昭和18年11月 1日	2	13	8	21	0	3	3
殖 蓮 幼 稚 園	上植木本町2740番地2	昭和25年 9月 1日	4	39	27	66	(1)	5	6
茂 呂 幼 稚 園	茂呂町二丁目2139番地1	昭和25年 6月21日	2	17	11	28	(1)	3	4
三 郷 幼 稚 園	波志江町1067番地	昭和30年 4月 1日	2	16	15	31	(1)	3	4
宮 郷 幼 稚 園	田中島町1486番地8	昭和31年 4月 1日	3	31	31	62	0	5	5
名 和 幼 稚 園	堀口町260番地	昭和47年 4月 1日	2	17	9	26	0	3	3
豊 受 幼 稚 園	下道寺町163番地	昭和46年 4月 1日	2	6	6	12	0	3	3
あ か ぼ り 幼 稚 園	西久保町二丁目100番地	昭和50年 4月 1日	4	44	42	86	0	7	7
あ ず ま 幼 稚 園	東町2672番地1	昭和44年 4月 1日	4	48	44	92	0	7	7
合 計			27	247	206	453	(3)	44	47

2 小学校

北 小 学 校	曲輪町28番24号	明治 6年 6月 9日	19	249	219	468	11	22	33
南 小 学 校	上泉町310番地	昭和 5年 4月 1日	15	185	192	377	7	17	24
殖 蓮 小 学 校	上植木本町2763番地	明治 6年11月 2日	23	364	300	664	12	20	32
茂 呂 小 学 校	茂呂町二丁目2169番地1	明治 6年11月 5日	28	371	376	747	15	23	38
三 郷 小 学 校	波志江町1620番地	明治 7年 2月28日	25	353	343	696	14	20	34
宮 郷 小 学 校	田中島町1475番地4	明治17年11月 6日	29	407	392	799	13	24	37
名 和 小 学 校	堀口町502番地1	明治 7年 2月	18	225	248	473	7	17	24
豊 受 小 学 校	馬見塚町1130番地	明治 7年 4月 7日	21	290	299	589	9	20	29
北 第 二 小 学 校	宗高町125番地	昭和50年 1月 1日	10	94	105	199	8	8	16
殖 蓮 第 二 小 学 校	下植木町1203番地	昭和53年 1月 1日	18	228	198	426	12	14	26
広 瀬 小 学 校	新栄町4074番地1	昭和54年 1月 1日	22	287	291	578	11	21	32
坂 東 小 学 校	除ヶ町422番地	昭和57年 4月 1日	19	257	258	515	10	17	27
宮 郷 第 二 小 学 校	連取町3069番地1	平成13年 4月 1日	30	398	411	809	15	27	42
赤 堀 小 学 校	西久保町一丁目72番地	昭和22年 4月 1日	24	350	283	633	13	21	34
赤 堀 南 小 学 校	堀下町264番地1	平成 3年 4月 1日	22	327	279	606	9	20	29
赤 堀 東 小 学 校	香林町一丁目260番地2	平成12年 4月 2日	16	181	221	402	9	14	23
あ ず ま 小 学 校	東町2770番地	明治 6年 7月15日	21	268	291	559	9	21	30
あ ず ま 南 小 学 校	三室町4290番地	昭和56年 4月 1日	23	328	310	638	11	19	30
あ ず ま 北 小 学 校	国定町二丁目1627番地	昭和62年 4月 1日	17	244	244	488	9	14	23
境 小 学 校	境515番地	明治 7年 3月 1日	14	186	166	352	10	13	23
境 采 女 小 学 校	境下淵名2020番地	明治22年 4月 1日	16	181	216	397	10	12	22
境 剛 志 小 学 校	境下武士831番地	明治 6年11月20日	16	205	192	397	8	14	22
境 島 小 学 校	境島村1968番地40	明治 6年 8月 8日	3	5	5	10	3	3	6
境 東 小 学 校	境米岡253番地2	昭和32年11月 1日	14	188	155	343	10	11	21
合 計			463	6,171	5,994	12,165	245	412	657

3 中学校

第 一 中 学 校	茂呂町一丁目24番地1	昭和40年 4月 1日	17	257	281	538	20	13	33
第 二 中 学 校	堀口町237番地1	昭和42年 4月 1日	21	319	300	619	24	15	39
第 三 中 学 校	波志江町1903番地1	昭和46年 4月 1日	22	354	318	672	27	14	41
第 四 中 学 校	下道寺町26番地	昭和59年 4月 1日	19	303	303	606	23	14	37
殖 蓮 中 学 校	上植木本町2152番地2	昭和22年 4月29日	18	291	277	568	21	15	36
宮 郷 中 学 校	田中島町1065番地	昭和22年 4月29日	26	441	446	887	29	19	48
赤 堀 中 学 校	西久保町二丁目329番地1	昭和22年 4月 1日	25	403	385	788	25	21	46
あ ず ま 中 学 校	東町2707番地2	昭和22年 4月29日	26	407	395	802	28	20	48
境 北 中 学 校	境下淵名2011番地1	昭和22年 1月 1日	7	134	75	209	8	7	15
境 西 中 学 校	境下武士872番地2	昭和22年 4月29日	9	114	114	228	9	9	18
境 南 中 学 校	境188番地	昭和39年 4月 1日	10	165	148	313	14	9	23
合 計			200	3,188	3,042	6,230	228	156	384

平成27年5月1日現在

教職員数						校地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)	体育館面積 (㎡)	備 考
事務員			労務技士	栄養教諭 栄養職員	合計				
県職	市職	計							
人	人	人							
0	0	0	(1)	0	(6)	3,251	1,045		
0	0	0	(1)	0	4	3,409	849		
0	0	0	1	0	7	4,254	681	平成27年5月7日現在の教職員数	
0	0	0	(1)	0	5	3,966	592		
0	0	0	(1)	0	5	1,733	370		
0	0	0	(1)	0	6	3,400	904		
0	0	0	(1)	0	4	3,653	689		
0	0	0	(1)	0	4	5,435	748		
0	0	0	(1)	0	8	4,781	965		
0	0	0	1	0	8	7,823	976		
0	0	0	2 (8)	0	57	41,705	7,819		

1	0	1	(1)	0	35	23,697	7,421	1,053	
1	0	1	(1)	0	26	26,101	5,204	900	
1	0	1	(2)	0	35	28,059	6,343	2,222	
1	0	1	(2)	0	41	24,705	5,853	895	
1	0	1	(2)	2	37	32,168	5,168	900	
1	0	1	(2)	0	40	29,482	6,060	910	
1	0	1	(1)	0	26	32,188	5,405	891	
1	0	1	(2)	0	32	34,284	5,700	891	
1	0	1	(1)	0	18	16,513	3,685	760	
1	0	1	1	0	28	33,319	5,319	870	
1	0	1	(2)	0	35	31,800	6,478	868	
1	0	1	(1)	0	29	32,999	5,022	900	
2	0	2	(2)	0	46	31,802	7,351	1,393	
1	0	1	(2)	0	37	16,122	4,949	844	
1	0	1	(1)	0	31	18,788	4,543	924	
1	0	1	1	2	27	28,223	4,559	1,116	
1	0	1	(1)	3	35	28,439	5,231	965	
1	0	1	1 (1)	0	33	27,596	4,765	898	
1	0	1	1	0	25	26,478	4,305	908	
1	0	1	1	0	25	25,191	4,905	1,008	
1	0	1	(1)	1	24	22,416	4,674	1,100	
1	0	1	(1)	0	24	15,406	4,395	750	
1	0	1	(1)	0	8	12,518	1,239	732	
1	0	1	(1)	0	23	15,323	4,090	746	
25	0	25	5 (25)	8	720	613,617	122,664	23,444	

1	0	1	(1)	0	35	38,323	6,128	1,442	
2	0	2	(1)	2	44	48,551	7,715	1,450	
1	0	1	(1)	0	43	38,385	6,381	1,484	
1	0	1	(1)	0	39	43,976	7,602	1,450	
2	0	2	(1)	0	39	38,919	6,824	1,450	
2	0	2	(1)	0	51	50,727	6,996	1,559	
2	0	2	(1)	0	49	45,312	9,410	1,891	平成27年4月1日移転
2	0	2	(1)	0	51	36,339	8,832	1,495	
1	0	1	(1)	0	17	30,857	4,283	1,179	
1	0	1	(1)	0	20	26,385	3,627	1,159	
1	0	1	(1)	1	26	29,306	5,598	1,205	
16	0	16	(11)	3	414	427,080	73,396	15,764	

()内は1日7時間45分未満勤務者。面積は施設台帳による。

4 中等教育学校

区 分	所 在 地	創立年月日	学級数	児童・生徒数			教職員数		
				男	女	計	男	女	計
				人	人	人	人	人	人
四ッ葉学園中等教育学校	上植木本町1702番地1	平成21年 4月 1日	24	365	388	753	50	21	71

5 教育研究所

区 分	所 在 地	設置（建物）年月日	敷地面積（㎡）	建物面積（㎡）
伊勢崎市教育研究所	鹿島町581番地1	昭和58年 4月 1日	2,515.46	929.19

6 臨海学校

伊勢崎市臨海学校	新潟県長岡市寺泊田ノ尻603番地	昭和48年5月31日	4,165.90	1,780.51
----------	------------------	------------	----------	----------

7 学校給食センター

第一学校給食調理場	堀口町500番地1	昭和45年12月	6,960.15	1,597.06
第二学校給食調理場	安堀町240番地	平成 5年 4月	6,797.00	1,948.36
赤堀学校給食調理場	西久保町二丁目74番地	昭和57年 4月	学校内	717.33
あずま学校給食調理場	田部井町二丁目689番地	昭和56年 4月	3,337.00	965.00
境第一学校給食調理場	境米岡272番地4	平成 9年 4月	2,027.87	675.00
境第二学校給食調理場	境下渚名787番地	平成10年 4月	3,880.00	873.65

8 公民館等

北 公 民 館	平和町27番32号	昭和45年 6月20日	2,806.79	885.60
南 公 民 館	上泉町619番地1	平成 7年 4月 1日	4,194.49	525.96
殖 蓮 公 民 館	上植木本町2760番地	平成16年 3月22日	4,854.00	768.69
茂 呂 公 民 館	美茂呂町3032番地7	昭和62年 3月25日	3,334.72	513.05
三 郷 公 民 館	波志江町1029番地	平成 8年 3月29日	3,962.00	755.02
宮 郷 公 民 館	田中島町1164番地	昭和47年 3月31日	4,083.61	778.38
名 和 公 民 館	堀口町492番地	昭和55年 3月25日	5,317.24	509.36
豊 受 公 民 館	馬見塚町1296番地	昭和48年 3月25日	3,573.19	726(本館495, 別館231)
赤 堀 公 民 館	西久保町二丁目81番地	昭和54年 2月28日	6,918.16	2,397.08
あ ず ま 公 民 館	田部井町三丁目2090番地	昭和63年 3月20日	3,428.70	1,563.48
境 公 民 館	境萩原1750番地1	平成27年2月16日	8,729.14	903.57
境 采 女 公 民 館	境下渚名2023番地1	昭和54年 2月28日	1,378.01	770.85
境 剛 志 公 民 館	境下武士862番地3	平成元年 3月17日	1,665.75	642.91
境 島 村 公 民 館	境島村2720番地	平成 6年 4月 8日	3,141.00	552.11
境 東 公 民 館	境米岡764番地1	平成 5年 4月 6日	2,410.00	758.75
広 瀬 生 涯 学 習 館	ひろせ町4080番地5	平成13年 4月 1日	3,001.00	770.25
あ ず ま ホ ー ル	田部井町三丁目2090番地	昭和63年 3月20日	1,210.10	1,229.57

9 集会所

今 井 町 集 会 所	今井町215番地1	平成26年10月31日	1,622.21	171.48
道 伝 集 会 所	山王町1484番地1	昭和50年 3月10日	803.00	168.00
宮 子 町 集 会 所	宮子町1713番地6	昭和52年 3月20日	982.00	336.00
柴 町 集 会 所	柴町953番地42	昭和52年 3月31日	1,038.00	165.00
連 取 町 集 会 所	連取町582番地2	昭和54年 3月25日	463.85	161.00
三 室 町 集 会 所	三室町6146番地1	昭和53年 3月 1日	877.30	149.00

10 青少年育成センター

青 少 年 育 成 セ ン タ ー	波志江町2237番地6	平成18年 4月 1日	14,165.80	2,189.62
-------------------	-------------	-------------	-----------	----------

11 図書館

伊 勢 崎 市 図 書 館	曲輪町22番21号	大正10年 4月11日	6,005.16	2,657.98
赤 堀 図 書 館	西久保町二丁目82番地1	平成 7年 4月 1日	7,308.60	400.50
あ ず ま 図 書 館	田部井町三丁目2901番地1	平成11年 4月 1日	4,790.21	1,837.85
境 図 書 館	境724番地1	昭和38年 8月 1日	4,582.81	1,433.90
境 絹 の 館	境724番地1	昭和61年 4月 1日	-	320.20

教職員数						校地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)	体育館面積 (㎡)	備 考
事務員			労務技士	栄養教諭 栄養職員	合計				
県職	市職	計							
人	人	人							
1	6	7	2(1)		77	59,681	7,461	4,021	※面積は市立高校に含む。

備 考
教科書センター併設

収容人数 220人

給食能力	副食	9,000食
〃	副食	9,000食
〃	副食	約2,500食
〃	副食	約2,700食
〃	副食	約2,000食
〃	副食	約3,000食

対象地区人口(平成27年4月1日現在)	9,674 人
〃	7,431 人
〃	21,367 人
〃	17,214 人
〃	14,313 人
〃	26,725 人
〃	17,589 人
〃	18,760 人
〃	23,001 人
〃	25,538 人
〃	6,494 人
〃	8,520 人
〃	6,836 人
〃	1,280 人
〃	6,365 人
対象外地区人口	
〃	

敷地は借地

建物面積(本館 1340.64㎡、プレイホール 794.98㎡ 野外炊事場 54.00㎡)

新築移転(昭和52年3月1日)
赤堀芸術文化プラザとの複合施設
新築(平成11年3月30日)
新築移転(昭和61年6月8日)
境図書館と同敷地

12 文化施設

区 分	所 在 地	設置（建物）年月日	敷地面積（㎡）	建物面積（㎡）
文 化 会 館	昭和町3918番地	昭和56年 4月 1日	27,047.00	6,696.88
赤 堀 芸 術 文 化 プ ラ ザ	西久保町二丁目82番地1	平成 2年 9月15日	7,308.60	2,581.70
境 総 合 文 化 セ ン タ ー	境木島818番地	平成 8年 5月24日	28,461.45	5,515.39

13 赤堀歴史民俗資料館

赤 堀 歴 史 民 俗 資 料 館	西久保町二丁目98番地	昭和60年 4月 1日	1,925.00	1,192.72
-------------------	-------------	-------------	----------	----------

14 青少年指導センター

青 少 年 指 導 セ ン タ ー	昭和町1712番地2	昭和43年11月11日		346.00
-------------------	------------	-------------	--	--------

15 体育施設

市 民 体 育 館	堤西町93番地	昭和54年10月	7,750.00	8,966.54
第 二 市 民 体 育 館	乾町75番地5	昭和47年 3月	3,972.00	2,199.00
庭 球 場	堤西町116番地	昭和60年 3月	9,855.50	1,274.71
野 球 場	堤西町41番地	平成10年 3月	17,323.00	3,160.00
陸 上 競 技 場	堤西町121番地	昭和43年 4月	39,000.00	4,612.18
ソ フ ト ボ ー ル 場	堤西町39番地	昭和57年 3月	7,036.00	1,059.94
第 二 グ ラ ウ ン ド	堤西町39番地	昭和57年 3月	5,098.00	
補 助 競 技 場	堤西町76番地	昭和63年 3月	11,191.00	
弓 道 場	堤西町141番地	平成 2年 3月	3,642.00	253.16
相 撲 場	堤西町7番地	平成 2年 8月	600.00	
市 民 プ ー ル	堤西町114番地	昭和46年 6月	7,781.62	1,242.24
赤 堀 体 育 館	西久保町二丁目81番地	昭和55年 5月	6,707.00	1,893.85
赤 堀 剣 道 場	西久保町一丁目乙64番地	昭和48年 1月	1,445.25	313.65
赤堀中央運動場野球場	西久保町一丁目101番地	昭和51年 7月	13,220.00	
赤堀中央運動場テニス場	西久保町一丁目101番地	昭和51年 7月	2,998.00	
あかぼり運動公園テニス場	西久保町二丁目334番地3	平成14年 7月	5,023.00	管理棟 103.90
あかぼり運動公園野球技場	西久保町二丁目334番地3	平成16年 3月	6,277.50	
赤堀西部スポーツ公園野球場	下触町873番地1	平成 4年 8月	11,907.00	
赤堀西部スポーツ公園多目的広場	下触町873番地1	平成 4年 8月	6,058.00	
赤堀西部スポーツ公園ゲートボール場	下触町873番地1	平成 4年 8月	892.00	
赤堀西部スポーツ公園テニス場	下触町873番地1	平成 4年 8月	1,875.00	
赤 堀 香 林 運 動 公 園	香林町二丁目1291番地6	昭和57年10月	12,457.00	
赤堀グラウンドゴルフ場	五目牛町104番地10	平成13年 3月	10,623.60	
赤堀コミュニティひろば	西久保町二丁目95番地	昭和61年 4月	17,055.00	
あ ず ま 体 育 館	田部井町三丁目2090番地	昭和54年 8月	5,059.65	2,150.24
あずま総合公園テニスコート	田部井町三丁目2091番地	平成元年 3月	2,797.00	
あ ず ま ス タ ジ ア ム	田部井町三丁目1908番地	平成 6年10月	15,502.75	1,229.00
あずまサブスタジアム	田部井町三丁目1913番地1	平成 8年 3月	9,720.85	117.14
あ ず ま 弓 道 場	田部井町三丁目1905番地1	平成 6年10月	645.00	322.95
あ ず ま 総 合 運 動 場	田部井町三丁目2090番地	昭和54年 8月	17,320.10	69.30
三 室 西 公 園 運 動 場	三室町6202番地	昭和57年 3月	10,023.00	20.30
三室西公園スケートボード場	三室町6202番地	平成18年 3月	1,947.00	
あずまゲートボール場	国定町二丁目2328番地1	平成 7年 4月	6,465.00	
つつみ公園グラウンドゴルフ場	国定町二丁目1940番地	平成11年 3月	7,406.00	8.16
あずまサッカースタジアム	東小保方町3236番地1	平成 8年10月	9,849.00	364.00
あずまウォーターランド	田部井町三丁目340番地	平成10年 5月	8,224.00	2,256.98
境 体 育 館	境609番地1	昭和52年 2月	2,414.00	1,355.95
境 武 道 館	境萩原1750番地2	平成 2年 3月	2,233.52	1,224.20
境 い よ く 野 球 場	境伊与久3105番地	昭和52年 4月	9,300.00	
境 い よ く テ ニ ス 場	境伊与久3105番地	昭和53年 6月	3,920.00	
境 弓 道 場	境木島823番地	平成 9年 3月	4,808.49	208.76
境 総 合 運 動 場	境上武士846番地	平成元年 5月	30,200.00	本部棟 200.00
境 上 武 公 園 野 球 場	境上矢島678番地	昭和50年11月	8,700.00	
境 上 武 公 園 テ ニ ス 場	境上矢島678番地	昭和50年11月	1,600.00	
境広瀬川緑地第1グラウンドゴルフ場	境中島442番地1	平成 4年 3月	10,238.00	
境広瀬川緑地第2グラウンドゴルフ場	境中島442番地1	平成 7年 3月	5,120.00	
利 根 川 河 川 境 運 動 場	境平塚1073番地	昭和47年 4月	18,139.00	
境 矢 ノ 原 公 園 運 動 場	境東新井1048番地24	平成 2年 3月	7,140.00	
ラ グ ビ ー 場	境島村3454番地297	平成22年 5月	17,654.00	
境 プ ー ル	境下武士853番地3	昭和57年 6月	5,500.00	管理棟 291.00

備 考
大ホール固定席 1,440 席、車椅子席 6席、母子席 8席、立見 76人 小ホール固定席 494席、立見 56人
ホール固定席 511席
大ホール固定席 708席、車椅子席 4席、小ホール移動席 208席

展示室2室、復元民家、研修室

平成11年4月1日、旧市立女子高校跡地へ移転

1F トレーニング室、小体育室(卓球10台・ボクシング)、剣道場、柔道場、会議室 2F メインフロア バスケットボール3面(バレーボール3面・バドミントン12面・テニス3面・外3種目競技可能)、3F ジョギングコース1周210m
バレーボール2面・外4種目競技可能
1,200人収容 人工クレイコート12面 夜間照明12基
硬式野球 内野3,200人・外野6,800人収容 両翼98m・センター122m ラバーフェンス 夜間照明6基
5,000人収容 公認二種 400mトラック(8コース)
1,334人収容 両翼・センター70m 夜間照明4基
ソフトボール場 両翼・センター70m
300mトラック(5コース)・ソフトボール2面・サッカー 100m×65m 1面
近的6人立
2面
公認50m(9コース)、25m(7コース)、流水120m、スライダー(ループ、ストレート)、子供プール、スライダープール
バスケットボール2面(バレーボール2面・バドミントン6面・テニス1面)、柔道場
1面
軟式野球 両翼90m 椅子席70 夜間照明7基
テニス 全天候2面、クレー2面 夜間照明6基
人工芝8面(4面 夜間照明15基)
少年野球1面、フットサル2面 夜間照明6基
軟式野球 両翼90m・センター110m
多目的広場(サッカー1面)
ゲートボール2面
全天候3面
軟式野球 両翼88m
天然芝16ホール、東屋
300mトラック(6コース) クレー舗装
1F バスケットボール2面(バレーボール3面・バドミントン6面・テニス1面)、2F ギャラリー 卓球6台
人工芝2面、クレー2面 夜間照明18基
硬式野球 両翼98m・センター122m 内野1,200人・外野2,300人収容 夜間照明6基
軟式野球 両翼85m・センター114m
近的6人立ち28m、遠的3人立ち60m
軟式野球2面・ソフトボール4面他 夜間照明14基
少年野球・ソフトボール1面、ゲートボール
スケートボード・インラインスケート・BMX
ゲートボール・グラウンドゴルフ
天然芝16ホール
人工芝 105m×68m 1面(少年用(72m×50m)2面) スタンド約300人収容 夜間照明4基
25m(6コース)、幼児用プール、スライダー、屋外プール、サウナ室 2F トレーニングルーム
バレーボール2面(バスケットボール1面・バドミントン3面)、卓球室、トレーニングルーム
剣道場2面(競技場面積466㎡)、柔道場2面(競技場面積476㎡)
軟式野球 レフト85m・ライト86m・センター98m 夜間照明6基
人工芝4面 夜間照明4基
近的6人立
400mトラック(8コース)・ソフトボール4面・サッカー100m×70m 1面 夜間照明14基
軟式野球 レフト80m・ライト80m・センター100m
クレー4面
天然芝16ホール(セパレート)、ターゲットバードゴルフ場
天然芝16ホール(フラット)
ソフトボール・少年野球、ターゲットバードゴルフ場
軟式野球 レフト78m・ライト72m・センター90m
天然芝7,696㎡
流水プール、幼児用プール、スライダープール、スライダー

平成26年度施設建設等主要事業

実施した校舎建設等の主要事業は、次のとおりです。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	財 源 内 訳			
			国庫支出金	市 債	その他	一般財源
臨海学校屋上防水・外構改修工事	臨海学校の屋根防水改修及び北側に乗り入れ道路を整備する工事	6,674,400				6,674,400
三郷小学校外壁改修工事	校舎外壁のクラック補修・爆裂補修等を行う工事	7,408,800				7,408,800
あずま小学校コンテナ室屋根外改修工事	コンテナ室屋根及び北側屋外階段を改修する工事	1,231,200				1,231,200
あずま北小学校網戸設置工事	教室等に網戸を設置する工事	3,024,000				3,024,000
境小学校電話設備改修工事	電話設備の改修を行う電気設備工事	1,080,000				1,080,000
赤堀南小学校体育館屋根改修工事	体育館屋根の一部をカバー工法により葺く工事	6,274,800				6,274,800
南小学校外9校遊具・体育器具改修工事	南小学校外9校の遊具等を改修する工事	7,635,600				7,635,600
赤堀南小学校プール改修工事	プール水槽：専用塗装(25mプール455㎡、小プール 71.0㎡)	6,350,400				6,350,400
茂呂小学校プール改修工事	プール水槽塗装対象面積437.8㎡、プールサイド等床シート張り対象面積309.2㎡	13,111,200				13,111,200
赤堀南小学校外3校遊具・体育器具改修工事	赤堀南小学校外3校の遊具等を改修する工事	4,806,000				4,806,000
境剛志小学校北門改修工事	北門の門扉を撤去新設する工事	1,074,600				1,074,600
殖蓮小学校自動火災報知設備更新工事	自動火災報知設備の受信機の交換と、受信機電源側の耐雷対策を行う消防設備工事	2,916,000				2,916,000
境剛志小学校プール塗装改修工事	(25mプール塗装(スタート・ターン・オーバーロー)、専用塗装51.7㎡、プールサイド改修：プール廻りコーキング、シート端末シール、小プール塗装改修(オーバーフロー)：専用塗装27.3㎡)	1,468,800				1,468,800
境東小学校下水道接続工事	既存浄化槽を廃止し、公共下水道に接続する工事	10,800,000				10,800,000
北第二小学校高圧受変電設備改修工事	高圧受変電設備の改修を行う工事、工種：受変電設備工事、撤去工事	1,036,800				1,036,800
赤堀南小学校給水設備改修工事	高架水槽を撤去し、既存の揚水ポンプユニットを加圧給水ポンプユニットに改修する工事	7,344,000				7,344,000

事業名	事業内容	事業費	財 源 内 訳			
			国庫支出金	市 債	その他	一般財源
境小学校職員 室外空調機改 修工事	老朽化した空調機を改修する工事	4,104,000				4,104,000
殖蓮小学校側 溝改修工事	工事延長L=120.8m、150U型側溝L=25.5m 180U型側溝L=79.4m、150用ゲレチン [※] 26 枚 180用ゲレチン [※] 95枚、敷き均し・間 詰めV=3.1m3、モルタル仕上げA=15.9m2、集 水樹2基Co取壊し運搬処理V=0.4m3	3,099,600				3,099,600
殖蓮小学校受 水槽改修工事	老朽化している受水槽を改修する工事 FRP製受水槽 4.0×5.0×2.0	1,296,000				1,296,000
境剛志小学校 教室ロッカー 改修工事	既存の木製ロッカーから、スチール製 ロッカーに更新する工事	5,184,000				5,184,000
あずま南小学 校体育館照明 器具配線改修 工事	体育館照明設備の改修を行う工事	5,929,200				5,929,200
広瀬小学校焼 却炉撤去工事	焼却炉を撤去する工事	1,512,000				1,512,000
北小学校校地 南側防砂ネッ ト等設置工事	校庭南側に防砂ネット（高さ2m、長さ 19.95m）及び防球ネット（高さ6m、長 さ10.00m）を新設する工事	1,026,000				1,026,000
境采女小学校 校舎耐震補強 工事・第2期	耐震補強工法：鋼板内臓コンクリート構 造による補強工法（外付耐震補強工法） 3箇所	83,829,600				
境采女小学校 校舎耐震補強 電気設備工 事・第2期	耐震改修に伴う受変電設備改修工事、幹 線動力設備工事、照明器具設備工事、弱 電設備工事	10,065,600	18,601,000	78,300,000		7,362,200
境采女小学校 校舎耐震補強 機械設備工 事・第2期	耐震改修に伴う機械設備工事	10,368,000				
殖蓮第二小学 校校舎耐震補 強工事	耐震補強工法：鉄骨ブレースによる補強 6ヶ所、スリット切りによる補強 5ヶ所	106,401,600				
殖蓮第二小学 校校舎耐震補 強電気設備工 事	耐震補強工事に伴う電気設備工事、電 灯・コンセント設備工事、撤去工事	3,758,400	25,741,000	82,500,000		7,913,000
殖蓮第二小学 校校舎耐震補 強機械設備工 事	耐震補強工事に伴う給水設備工事、排水 設備工事、衛生器具設備工事、冷暖房設 備工事、換気設備工事	5,994,000				
広瀬小学校校 舎耐震補強工 事	耐震補強工法：鉄骨ブレース 12ヶ所、 スリット切りによる補強 8ヶ所	169,786,800	43,287,000	113,300,000		13,199,800
境東小学校校 舎耐震補強工 事・第1期	【中校舎】耐震補強工法：鉄骨ブレースによる 補強 3ヶ所、RC耐震壁による補強 1ヶ 所、RC添え柱による補強 4ヶ所、SRFコンク リートブロック壁貼りによる補強 1ヶ所、 【北校舎】耐震補強工法：SRF柱巻きによる補 強 4ヶ所、袖壁による補強 2ヶ所	51,937,200	17,001,000	29,700,000		5,236,200

事業名	事業内容	事業費	財 源 内 訳			
			国庫支出金	市 債	その他	一般財源
南小学校外 2校トイレ改修工事	トイレ改修に伴う建築・電気設備工事	63,925,200	37,353,000	245,200,000		28,199,200
南小学校外 2校トイレ改修機械設備工事	トイレ改修に伴う機械設備工事	68,893,200				
北第二小学校外 1校トイレ改修工事	トイレ改修に伴う建築・電気設備工事	45,705,600	30,968,000			
北第二小学校外 1校トイレ改修機械設備工事	トイレ改修に伴う機械設備工事	47,336,400				
境采女小学校外 1校トイレ改修工事	トイレ改修に伴う建築・電気設備工事	45,338,400	30,322,000			
境采女小学校外 1校トイレ改修機械設備工事	トイレ改修に伴う機械設備工事	45,252,000				
赤堀小学校トイレ改修工事	トイレ改修に伴う建築・電気設備工事	43,556,400	27,061,000			
赤堀小学校外 1校トイレ改修機械設備工事	トイレ改修に伴う機械設備工事	39,096,000				
第一中学校避難器具工事	3階及び4階にある避難器具（垂直式救助袋）を更新する工事	2,332,800				2,332,800
境西中学校テニスコート改修工事	クレー舗装 A=1,809㎡、表面処理工 A=1,809㎡、ネットポスト3組、ライン設置3面	5,184,000				5,184,000
あずま中学校図書室空調設備改修外工事	2階図書室南側系統：IHP-4 空冷ヒートポンプビル用マルチエアコン室外機圧縮機交換、3階少人数教室系統：AC-E 空冷ヒートポンプビル用マルチエアコン×1組（冷房能力 33.5kW、暖房能力 37.5kW）	5,367,600				5,367,600
あずま中学校関連汚水管布設工事	VUφ200mm管布設工L=211.3m、1号人孔設置工 3箇所、小口径人孔設置工 2箇所、VUφ150mm管布設工L=121.0m、付帯工一式	20,844,000				20,844,000
境北中学校防火シャッター改修工事	手動開閉装置交換：8か所、自動閉鎖装置交換：8か所	1,434,240				1,434,240
第二中学校外 2校体育器具改修工事	第二中学校 サッカーゴール1組撤去・新設 テニス審判台 2台撤去・新設、宮郷中学校 バレーボールポスト2組撤去・新設 ハンドボールゴール1組撤去・新設、境北中学校 スコアボード（野球用）1基撤去・新設	3,542,400				3,542,400
殖蓮中学校職員室外空調設備改修工事	老朽化している空調機を改修する工事	17,096,400				17,096,400
第一中学校プール改修工事	プール塗装改修：専用塗装468.2㎡、スタート台撤去、プールサイド改修：防滑性ビニル床シート張り、遮光ネットH1.5m×L52.68m設置、洗体槽・足洗場・シャワー・洗眼場塗装改修：専用塗装43.2㎡	11,988,000				11,988,000
第三中学校北校舎内部巾木クッション材取付工事	北校舎の廊下及び教室の巾木（耐震補強部）にコーナークッションを取り付ける工事	1,166,400				1,166,400
あずま中学校自転車置場設置工事	自転車置場10棟（約100台分）を増設する工事	5,788,800				5,788,800

事業名	事業内容	事業費	財 源 内 訳			
			国庫支出金	市 債	その他	一般財源
第一中学校放送設備改修工事	放送設備の配線の改修を行う電気設備工事	5,292,000				5,292,000
第四中学校廊下窓高所開閉装置改修工事	廊下の高所窓の開閉装置が故障しているため改修する工事	3,618,000				3,618,000
第一中学校校舎安全手摺設置工事	2階教室内及び廊下 ステンレス手摺 13か所、3階教室内及び廊下 ステンレス手摺 23か所、4階教室内及び廊下 ステンレス手摺 32か所	4,806,000				4,806,000
第三中学校校舎耐震補強工事	耐震補強工法：鋼板内臓コンクリート構造による補強工法 20ヶ所 建具改修：カバー工法 北校舎1階から3階	186,753,600	72,017,000	114,500,000		13,369,400
第三中学校校舎耐震補強機械設備工事	耐震補強工事に伴い、普通教室棟の必要箇所を改修する工事	13,132,800				
宮郷中学校校舎耐震補強及び増築工事	耐震補強：鉄骨鉛直ブレースによる補強 16箇所、鉄骨梁増設による補強 28箇所ほか 増築工事：S造 地上2階建 増築延床面積 240㎡程度	109,231,200	14,960,000	112,500,000		9,754,000
宮郷中学校校舎耐震補強及び増築電気設備工事	工種：電灯設備工事、電話設備工事、拡声設備工事、インターホン設備工事、電気時計設備工事、監視カメラ設備工事、火災報知設備工事、撤去工事	17,744,400				
宮郷中学校校舎耐震補強及び増築機械設備工事	工種：衛生器具設備工事、給水設備工事、排水設備工事、消火設備工事、換気設備工事、撤去工事	10,238,400				
赤堀中学校校舎・体育館建設工事	構造・規模校舎棟：RC造 地上3階建て 体育館棟：RC+S造 2階建て建築面積6,541.96㎡（校舎棟：4,837.56㎡＋体育館棟：1,704.40㎡）、延床面積10,342.26㎡（校舎棟：8,450.83㎡＋体育館棟：1,891.43㎡）	1,290,985,200	432,559,000			
赤堀中学校校舎・体育館建設電気設備工事	校舎・体育館建設工事に伴う電気設備工事	142,547,200				
赤堀中学校校舎・体育館建設給排水衛生設備工事	校舎・体育館建設工事に伴う給排水衛生設備工事	95,668,800				
赤堀中学校校舎・体育館建設空調設備工事	校舎・体育館建設工事に伴う空調設備工事	92,440,400				
赤堀中学校プール建設工事	プール：鉄筋コンクリート造 平屋建て 171.59㎡ 渡り廊下：鉄骨造 平屋建て 71.20㎡	120,873,600	16,741,000			
赤堀中学校プール建設機械設備工事	プール建設工事に伴う機械設備工事 工種：衛生器具設備工事、給水設備工事、排水設備工事、消火設備工事、プール濾過設備工事、換気設備工事	26,589,600				
赤堀中学校プール建設電気設備工事	プール建設工事に伴う電気設備工事 工種：電灯設備工事、情報表示設備工事、拡声設備工事、構内配電線路工事、構内通信線路工事	2,797,200				
赤堀中学校柔剣道場建設工事	柔剣道場を新築する建築工事 構造・規模 鉄骨造 平屋建て 建築面積 507.90㎡ 延床面積 507.90㎡ 最高の高さ 7.50m	107,708,400	16,922,000			
赤堀中学校柔剣道場建設電気設備工事	柔剣道場建設工事に伴う電気設備工事 工種：電灯設備工事、構内情報通信網配線設備工事、情報表示設備工事、拡声設備工事、自動火災報知設備工事、構内配電線路工事、構内通信線路工事	5,605,200				
赤堀中学校柔剣道場建設機械設備工事	柔剣道場建設工事に伴う機械設備工事 工種：衛生器具設備工事、給水設備工事、排水設備工事、換気設備工事	4,687,200				

事業名	事業内容	事業費	財 源 内 訳			
			国庫支出金	市 債	その他	一般財源
赤堀中学校グラウンド整備工事	グラウンド（約23,000㎡）を整備する工事	124,956,000	20,200,000	1,800,200,000		198,828,400
赤堀中学校外構工事（第1工区）	1. 造成工事・・・造成工事、鉄止めコンクリート擁壁等、2. 囲障工事・・・門扉、フェンス等、3. 雑付帯工事・・・雨水貯留浸透槽等、4. 外構給水設備工事・・・塩ビライニング鋼管敷設等、5. 排水工事・・・U字側溝等	104,004,000				
赤堀中学校外構工事（第2工区）	1. 造成工事・・・造成工事、鉄止めコンクリート擁壁等、2. 舗装工事・・・透水性アスファルト舗装、透水性カラーゴムチップ舗装、カラー透水性コンクリート舗装等、3. 囲障工事・・・門扉、フェンス等	121,716,000				
赤堀中学校夜間照明等設置工事	夜間照明等を設置する工事 工種：校庭夜間照明設置工事、外灯設置工事、外灯設置工事、校庭防犯灯設置工事、駐輪場棟電灯設備工事	38,113,200	5,656,000			
赤堀中学校部室棟建設工事	部室棟を新築する工事 構造・規模・延床面積 鉄筋コンクリート造 平屋建て 126.36㎡	37,238,400				
赤堀中学校駐輪場建設工事	駐輪場を新築する工事 スチール製駐輪場（30台）28棟	42,984,000				
赤堀中学校防球ネット等設置工事	防球ネット及びバックネットを設置する工事	48,297,600				
赤堀中学校植栽工事	高木植栽 13 本 中木植栽270 本 低木植栽1,100 本 地被類植栽956 鉢	7,722,000				
赤堀中学校消防水利敷設工事	DIP (GX) φ 150mm布設工L=446.6m DIP (GX) φ 75mm布設工L= 3.6m 仕切弁設置工φ 150mm 2基、仕切弁設置工φ 75mm 1 基 消火栓設置工1 基	11,988,000				
赤堀中学校消防水利敷設工事（2工区）	DIP (GX) φ 150mm布設工L=308.2m 仕切弁設置工φ 150mm 2基 消火栓設置工1基	8,532,000				
市道（赤）4379号線外3路線道路築造工事（赤堀中学校整備事業）	工事延長L=638.2m	31,806,000				
市道（赤）4379号線外3路線歩道築造工事（赤堀中学校整備事業）	工事延長L=964.4m	23,846,400				
殖蓮幼稚園園庭整地工事	園庭を整地する工事	1,155,600				1,155,600
第一幼稚園外2園遊具改修工事	第一幼稚園：滑り台1基撤去・新設、南幼稚園：はんとう棒1基撤去・新設、3間鉄棒1基撤去・新設：豊受幼稚園 3間鉄棒1基撤去・新設	1,576,800				1,576,800
豊受幼稚園プール改修工事	プール水槽：専用塗装46.5㎡、足洗い場、目洗い場：専用塗装21.0㎡、プールサイド改修：遮熱工法(I)50.5㎡、その他改修：給水口改修、配管切廻、床塗装補修等	2,268,000				2,268,000
南幼稚園プール改修工事	プール水槽：専用塗装29.8㎡、足洗い場・目洗い場：専用塗装8.3㎡、高圧洗浄、プールサイド改修：防滑性ビニル床シート張り、高圧洗浄、プールサイド一部解体新設、出入口改修、プールサイド芝生刈り込み	2,019,600				2,019,600
茂呂幼稚園トイレ衛生器具改修工事	和式便器を洋式化する工事	1,188,000				1,188,000
南幼稚園園庭改修工事	園庭を改修する工事	496,800				496,800

事業名	事業内容	事業費	財 源 内 訳			
			国庫支出金	市 債	その他	一般財源
三郷幼稚園園庭改修工事	園庭を改修する工事	1,296,000				1,296,000
茂呂幼稚園物置設置工事	敷地内に物置を2棟を設置する工事 ①物置：軽量鉄骨造平家建 延べ面積9.27㎡ ②小型物置：軽量鉄骨造 延べ面積1.34㎡	777,600				777,600
南幼稚園園舎耐震補強工事	耐震補強工法：鋼板内臓フレームによる補強 2ヶ所、耐震スリットによる補強7ヶ所	28,274,400	14,446,000	26,900,000		2,696,400
南幼稚園園舎耐震補強電気設備工事	工種：幹線動力設備工事、電灯コンセント設備工事、弱電設備工事、自動火災報知設備工事、撤去工事	3,024,000				
南幼稚園園舎耐震補強機械設備工事	工種：衛生器具設備工事、給水設備工事、給湯設備工事、排水設備工事、換気設備工事、撤去設備工事	12,744,000				

平成27年度施設建設等主要事業計画

校舎建設等の主要事業は、次のとおりである。

- 1 南幼稚園遊戯室放送設備改修工事
- 2 殖蓮幼稚園園庭芝山トンネル内排水処理工事
- 3 宮郷幼稚園プール塗装工事
- 4 宮郷幼稚園排水溝設置工事
- 5 名和幼稚園プール塗装改修工事
- 6 あずま幼稚園低圧受電設備改修工事
- 7 名和幼稚園園舎耐震補強工事
- 8 名和幼稚園園舎耐震補強電気設備工事
- 9 名和幼稚園園舎耐震補強機械設備工事
- 10 豊受幼稚園園舎耐震補強工事
- 11 豊受幼稚園園舎耐震補強電気設備工事
- 12 豊受幼稚園園舎耐震補強機械設備工事
- 13 あかぼり幼稚園園舎耐震補強工事
- 14 あかぼり幼稚園園舎耐震補強電気設備工事
- 15 あかぼり幼稚園園舎耐震補強機械設備工事
- 16 あずま幼稚園園舎改築工事
- 17 あずま幼稚園園舎改築電気設備工事
- 18 あずま幼稚園園舎改築機械設備工事
- 19 北小学校外8校体育館照明器具落下防止対策工事
- 20 南小学校外9校体育館照明器具落下防止対策工事
- 21 南小学校非常放送設備外交換工事
- 22 殖蓮小学校南校舎昇降口屋根改修工事
- 23 宮郷小学校インターホン設置工事
- 24 名和小学校放送設備外改修工事
- 25 豊受小学校駐輪場設置工事
- 26 北第二小学校外プール濾過機改修工事
- 27 殖蓮第二小学校都市ガス切替工事
- 28 坂東小学校非常用放送設備及びインターホン改修工事
- 29 宮郷第二小学校渡り廊下設置工事
- 30 赤堀南小学校職員室外空調設備改修工事
- 31 あずま小学校プールサイド改修工事
- 32 あずま南小学校音楽室床改修工事
- 33 あずま南小学校プール水槽塗装工事
- 34 あずま北小学校物置設置工事
- 35 あずま北小学校外プール水槽塗装工事
- 36 境小学校プール水槽塗装工事
- 37 境小学校玄関舗装工事

- 38 境采女小学校牛乳保冷庫交換工事
- 39 宮郷小学校校舎耐震補強工事
- 40 豊受小学校校舎耐震補強工事
- 41 豊受小学校校舎耐震補強電気設備工事
- 42 豊受小学校校舎耐震補強機械設備工事
- 43 赤堀小学校校舎耐震補強工事
- 44 赤堀小学校校舎耐震補強電気設備工事
- 45 赤堀小学校校舎耐震補強機械設備工事
- 46 境剛志小学校校舎耐震補強工事
- 47 境剛志小学校校舎耐震補強電気設備工事
- 48 境剛志小学校校舎耐震補強機械設備工事
- 49 境東小学校校舎耐震補強工事・第Ⅱ期
- 50 境東小学校校舎耐震補強電気設備工事・第Ⅱ期
- 51 北小学校トイレ改修機械設備工事
- 52 茂呂小学校トイレ改修工事
- 53 茂呂小学校トイレ改修電気設備工事
- 54 茂呂小学校トイレ改修機械設備工事
- 55 三郷小学校トイレ改修工事
- 56 三郷小学校トイレ改修電気設備工事
- 57 三郷小学校トイレ改修機械設備工事
- 58 豊受小学校トイレ改修工事
- 59 豊受小学校トイレ改修電気設備工事
- 60 豊受小学校トイレ改修機械設備工事
- 61 殖蓮第二小学校トイレ改修工事
- 62 殖蓮第二小学校トイレ改修電気設備工事
- 63 殖蓮第二小学校トイレ改修機械設備工事
- 64 あずま南小学校トイレ改修工事
- 65 あずま南小学校トイレ改修電気設備工事
- 66 あずま南小学校トイレ改修機械設備工事
- 67 第一中学校外水道改修工事
- 68 第一中学校屋根防水工事
- 69 第一中学校外6校体育館照明器具落下防止対策工事
- 70 第一中学校外6校柔剣道場吊り天井改修工事
- 71 第二中学校理科室実験台天板改修工事
- 72 第二中学校グラウンド整地工事
- 73 第三中学校自転車置場設置工事
- 74 第三中学校プレファブ校舎屋根改修工事
- 75 第四中学校自動火災報知（受信機）設備更新工事
- 76 殖蓮中学校自動火災報知（受信機）設備更新工事
- 77 殖蓮中学校技術室外床改修工事
- 78 宮郷中学校廊下窓外改修工事

- 79 宮郷中学校インターホン設置工事
- 80 宮郷中学校階段手すり設置工事
- 81 あずま中学校図書室兼IT教室クランク改修工事
- 82 境北中学校渡り廊下屋根改修工事
- 83 境北中学校職員室外空調改修工事
- 84 境南中学校職員室外空調改修工事
- 85 臨海学校保健室壁面外改修工事
- 86 四ツ葉学園体育館天井改修工事
- 87 四ツ葉学園体育館天井改修電気設備工事
- 88 四ツ葉学園空調機改修工事
- 89 第二学校給食調理場ボイラー改修工事
- 90 第二学校給食調理場換気設備改修工事
- 91 境第二学校給食調理場自動ドア化改修工事
- 92 境采女公民館耐震改修外工事
- 93 境采女公民館改修電気設備工事
- 94 境采女公民館改修機械設備工事
- 95 あずまホール自動扉装置改修工事
- 96 広瀬生涯学習館第5学習室エアコン交換工事
- 97 赤堀公民館非常用発電設備バッテリー交換工事
- 98 伊勢崎市境図書館書庫空調機取付工事
- 99 田島弥平旧宅桑場整備工事
- 100 赤堀歴史民俗資料館空調設備改修工事
- 101 市民体育館非常用発電機取替工事
- 102 赤堀中央運動場野球場内野改修工事
- 103 あずまウォーターランド温水ボイラー交換工事
- 104 境いよくテニスコート人工芝張替工事
- 105 文化会館小ホール舞台吊物機構改修工事
- 106 文化会館大ホールプロセニアムスピーカー改修工事
- 107 文化会館会館自動ドア制御用地震計設置工事
- 108 赤堀芸術プラザ舞台機構改修工事
- 109 境総合センター電話交換機交換工事
- 110 境総合センター展示室エアコン取付工事

Ⅲ 学校教育



「伊勢崎ふるさと学習」連取の松を見学する児童

平成27年度 伊勢崎市の学校教育方針

伊勢崎市教育委員会

I 伊勢崎市の学校教育が目指す子ども像

教育基本法、学習指導要領などの法令等や、県の学校教育の指針及び市教育振興基本計画、市教育行政方針等に基づき、本市の目指す子ども像を次のとおり設定するとともに、公教育として踏まえなければならない各種事項の重点を下記Ⅱ以下にまとめる。

「生きる力」を身に付け、実践する、自立した子ども

<知>

基礎・基本を身に付け、自ら学び、自ら考える子ども

<徳>

人や環境を大切にして地域・社会に貢献する子ども

<体>

心身ともにたくましく生きる子ども

また、この学校教育方針の下、本市学校教育の独自性を発揮するために「伊勢崎教育構想」を別に策定し、創意工夫を生かした特色ある学校教育を推進する。

Ⅱ 信頼される学校・園づくりの推進

1 学校・園運営の充実 **<教育構想、スクール・クリエーションプラン>**

- (1) 教育構想による教育活動を本市の共通性として踏まえるとともに、教育の質の向上を視点に学校・園経営を見直し、幼小中の連続性を大切にした創意工夫のある教育活動が実施できるよう、教育課程の編成・実施、評価の工夫・改善に努めます。
- (2) 経営の重点や家庭・地域の願い等を反映させた学校関係者評価の改善・充実を図るとともに、子どもたちの生活・学習状況の過程や結果の見える化を図り、子どもたちの頑張りを保護者・地域の方々々と共有化しながら、家庭・地域との連携による学校・園づくりに努めます。
- (3) 学校・園の課題について共通理解を図るとともに、その解決に向けて各種主任などのミドルリーダーをより一層活用して組織的な指導を活性化したり、教職員の意欲や資質能力の向上の観点から人事評価制度を活用したりするなど、教職員の参画意識の向上に努めます。
- (4) 学校安全計画及び学校災害対応マニュアルを地域等の実態に合わせて見直しを図るとともに、災害時・緊急時等における対応訓練として、火災・地震・不審者侵入等の実践的な避難訓練を実施します。

2 教職員の資質向上

- (1) 学校・園が重点に掲げる目標及び課題と教職員一人一人の目標等を密接に連動させるとともに、課題解決のために教職員同士が協働して取り組む場や機会を意図的につくるなど、日常的な職務を通して教職員が互いに学び合い、職能成長が図れる職場環境づくりに努めます。
- (2) 教職員は各自の経験や能力、分掌等に応じた目標を設定し、その達成に向けて校内研修に主体的に参画したり、平素の管理職による授業参観及びその後の面談を活用したりしながら、自己の専門性や指導力のさらなる向上に努めます。

3 異校種間や地域社会との連携 **<地域の学校いきいきプラン>**

- (1) 中学校区内の学校・園が協働して推進委員会や協議会などを開催し、異校種間で情報交換したり、系統的・継続的な教育活動を実践したりするなど、各地域における幼小中の一貫した教育の充実に努めます。
- (2) 平素の授業・保育の様子や学校評価で明らかとなった課題に対する具体的な取組等について、各学校・園だよりやWebページ、PTA集会等で保護者や地域に情報提供したり、授業公開や保育公開を計画的に実施したりするなど、地域に開かれた学校・園づくりに努めます。
- (3) 学校支援ボランティアや企業・大学関係者等の外部指導者（スマイルサポーター）を意図的・

計画的に活用し、個別指導の充実や「未来力」学習講座の実施など、学校教育の質の向上を図ります。

- (4) ふるさと伊勢崎に誇りをもち、伊勢崎から世界に目を向けることができるよう、様々な地域の教育資源を活用し、地域の歴史や文化などを見つめ、気付いたことや考えたことを表現し互いに深め合う伊勢崎ふるさと学習の推進に努めます。

Ⅲ 「生きる力」を育む指導の充実

1 学びの芽生えを大切にして、「生きる力」の基礎を育む幼稚園教育 **＜ふたばすくすくプラン＞**

- (1) 地域の人たちとの交流を図るジョイふるタイムや未就園の親子を対象とした子育てふれあいタイムを柱とする、ふたばすくすくプランを積極的かつ計画的に実施するなど、幼児教育の充実に努めます。
- (2) 保護者が子育ての楽しさや意義、幼児教育の重要性を学ぶとともに、子育ての不安や悩みについて相談し安心して子育てすることができるよう、保護者同士の交流の場を設けたり、預かり保育を実施したりするなど保護者への子育て支援に努めます。
- (3) 絵本に親しむ活動や集団で体を動かす活動を意図的・計画的に行い、言葉の感覚やイメージを豊かにしたり、自ら体を動かす楽しさやみんなと一緒に活動しようとする意欲を育んだりするなど、生活や学習の基盤となる力を育て、小学校への滑らかな接続を図ります。
- (4) 園児が自分なりのイメージをもって主体的に活動できるよう、園児の思いに共感し挑戦しようとする姿を励ますなど発達の段階に応じた援助を行うとともに、教師が意図をもって環境を構成し、遊びを通して気付いたり、工夫したり、考えたりするなどの学びの芽生えの育成に努めます。

2 「生きる力」を育む小学校・中学校教育

(1) 学力の向上 **＜学力パワーアッププラン＞**

- ア 学力向上委員会等を中心として具体的な方策を立て、学校全体で組織的・計画的に校内研修や研究授業を推進するとともに、「授業を生かす」「授業に生きる」を視点としてパワーアップタイムを工夫するなど、学校としての学力向上対策の充実を図ります。
- イ 教科分担制や少人数指導など指導体制の一層の充実により、教科の魅力を十分に味わえるようにするとともに、学習の状況を子ども、保護者、教師で共有し、子どもの努力を認めたり、次の学習へのめあてをもたせたりするなどして、学習意欲の向上を図ります。
- ウ 学力向上学習プリントを活用し、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図るとともに、5W（読む・聞く・考える・書く・話す）を視点として、考えを交流し高めたり、学んだことを振り返ったりする「なぜ？」を大切に授業の充実により、思考力・判断力・表現力の育成を図ります。
- エ 小学校「英語科」と中学校の連続性を重視した指導の充実や、外国語指導助手(ALT)や英語支援助手等を有効活用した授業の工夫により、小中9年間の一貫した英語教育を一層推進し、グローバル社会に対応する英語コミュニケーション能力の育成を図ります。
- オ 家庭学習の手引きを活用し、学んだことを振り返ったり次の学習の見通しを持ったりする家庭学習を推進することで、分かる喜びやできる楽しさを味わわせ、家庭学習への意欲を高め、主体的な学習習慣の定着を図ります。

(国語) 言語活動の充実を図り、思考力・表現力を育てる指導の工夫

- ねらいの達成に向け単元を貫く言語活動を設定し、目的意識をもって課題解決に取り組ませるとともに、交流活動を一層充実させ、思考力・表現力を育てる指導の工夫に努めます。

(社会) 社会的な見方や考え方を育てる指導の工夫

- 疑問や驚きから課題を見い出す活動や資料を比較・関連・総合して社会的事象の特色や意味を考え、表現する活動を充実させ、社会的な見方や考え方を育てる指導の工夫に努めます。

(算数、数学) 数学的な思考力・表現力を育てる指導の工夫

- 言葉や式、図など数学的な表現を用いて自他の考えを説明させたり、ねらいに結び付くようそれぞれの考えを比較・検討させたりするなどの算数的（数学的）活動を一層充実させ、数学的な思考力・表現力を育てる指導の工夫に努めます。

（理科）科学的な見方や考え方を育てる指導の工夫

○児童生徒の気付きや疑問から問題を見い出せるように導入の活動を工夫するとともに、観察・実験などの体験活動と予想や考察における言語活動をバランスよく行うことで、科学的な見方や考え方を育てる指導の工夫に努めます。

（生活）気付きの質を高める指導の工夫

○人や社会、自然へのかかわりを深める多様な学習活動を取り入れ、一人一人の思いや願い、驚きや発見などを丁寧に見取り、気付かせたいことを明確にして体験や振り返りの活動を設定するなど、気付きの質を高める指導の工夫に努めます。

（音楽）音楽のよさや美しさを感じ取り、表現する力を高める指導の工夫

○〔共通事項〕で示された音楽の要素に着目した音楽的な感受の学習を基に、思いや意図をもって音楽表現したり、音楽全体を味わって聴いたりするなど、思考・判断し表現する場を大切にしたい指導の工夫に努めます。

（図画工作、美術）生活を美しく豊かにする造形や美術の働きを実感できる指導の工夫

○形や色を捉え、イメージをもつなど、〔共通事項〕で示された資質や能力と学習内容との関連を明確にし、自分の思いや感じ取ったことを伝え合う活動を意図的に取り入れるなど、生活を美しく豊かにする造形や美術の働きを実感できる表現や鑑賞の指導の工夫に努めます。

（家庭、技術・家庭）実生活で活用できる力を育てる指導の工夫

○児童生徒の生活環境の実態を踏まえ、これからの生活を見通し、よりよい生活を創造するとともに、社会の変化に主体的に対応する観点から、実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習を展開し、実生活で活用できる能力と態度を育てる指導の工夫に努めます。

（体育、保健体育）運動の楽しさやできる喜びをともに味わえる指導の工夫

○児童生徒同士の関わり合いを大切にしながら、各運動の行い方や技能のポイントを理解させたり、運動量を十分に確保したりして、運動の楽しさやできる喜びをともに味わえる授業展開に努めます。
○学んだ知識を活用する学習活動となるよう工夫するとともに、課題解決的な学習や実験、実習などを取り入れ、実践的・科学的に理解できるよう指導の工夫に努めます。

（英語）小中9年間で英語コミュニケーション能力を高める指導の工夫

○小学校では、市共通の展開例を有効活用するとともに、外国語指導助手(ALT)や英語支援助手のネイティブな音声や英語表現に多く触れさせながら、英語でコミュニケーションをする楽しさや自分の伝えたい内容が表現できたという達成感・成就感が得られる指導の工夫に努めます。
○中学校では、小学校での学習内容を踏まえたコミュニケーション活動を計画的に実施するとともに、学習した表現を使う活動や自分の考えを英語で表現する活動の充実を図り、英語コミュニケーション能力を高める指導と評価の工夫に努めます。

（総合的な学習の時間）地域の特色を踏まえた単元構成と探究的な学習活動の工夫

○地域の特色を踏まえて単元の精選・重点化を図り、各教科等との関連した指導の充実に努めるとともに、スマイルサポーターの活用や観察・実験、見学・調査、整理・分析、発表や討論などの多様な活動を展開させるなど、探究的な学習活動の一層の充実に努めます。

（2）豊かな心の育成 <「愛」燃々プラン>

ア 豊かな心を育む道徳教育

○感動や葛藤を生み、心に響く魅力的な資料の活用や体験的な活動を中核に置くとともに、明確な価値観・児童生徒観・資料観に基づいた授業展開や発問構成を工夫し、道徳的価値の自覚を深める道徳の時間の充実に努めます。
○道徳教育推進教師を中心に教育活動全体を通して道徳教育を推進し、教育相談の充実やスマイルサポーターの積極的活用など、学校と家庭・地域が連携を深め、向上する心、やりぬく心、大切にする心の育成に向けた環境の醸成に努めます。

イ 社会性の育成を図る特別活動

○よりよい生活や安心できる人間関係を築くために、学級経営との関連を図り、計画委員会を中心とした話し合い活動を積極的に設定し、児童生徒同士で主体的に考え、決定し、行動することで、心の居場所がある学級づくりに努めます。
○学校と家庭、地域が連携し、目指す姿を明確にした体験活動や交流活動を計画的に取り入れ、児童生徒のよさや可能性を認め、励ますことで、自主的・実践的な態度の育成に努めます。

ウ 自主・自立を促し、問題行動等の未然防止・解決を目指す生徒指導

- 日常の学校生活の様々な場面において、自己選択や自己決定の場や機会を設け、自分たちの課題を解決する経験を繰り返していけるようにすることで、自主・自立の精神を育みます。
- 児童生徒の実態や情報を共有化したり、相談員や関係機関との連携を深めたりするなど、教育相談機能を充実させ、学校全体でいじめ・不登校や問題行動の未然防止、早期発見・早期対応に努めます。
- 学校・園と家庭、地域が協働して、「幼小中一貫生活・学習13のルール」や「携帯電話3つの基本ルール」を活用し、規範意識を育みます。
- 教育活動に5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）の時間を位置付け、気持ちのこもったあいさつや言葉遣い、「いせさきトイレピカピカプロジェクト」の実践等により、きれいな心ときれいな学習環境をつくります。

エ 将来の生き方を育むキャリア教育

- 「未来力」学習講座を意図的・計画的に実施するなど、全校体制でキャリア教育を推進し、将来の夢や希望を具体的な目標や目的に変え、児童生徒が自己の生き方について考えることができるようにします。
- 仕事調べや職場見学、職場体験や奉仕活動等、ねらいや意義を明確にした体験活動を工夫したり、事前・事後の学習活動をより一層充実させたりするなど、発達の段階に応じた望ましい職業観や勤労観の育成に努めます。

オ 人権尊重の意識を高める人権教育

- 人権教育の基盤である常時指導を一層充実させるとともに、授業や学校行事等と人権教育との関連を図り、互いのよさを認め合える温かい学級・学校づくりに努めます。
- 模擬体験活動や様々な人々との交流活動を実施したり、「みんなの願い」等の人権教育資料を活用した同和教育を実践したりするなど、人権尊重の意識を高める指導の充実に努めます。
- 虐待防止のため、児童生徒の状況や変化を的確に捉える校内体制を整備するとともに、関係機関と連携を図りながら、虐待の早期発見・早期通告等、迅速な対応に努めます。

カ 互いの文化を理解し、共生する態度を育てる国際理解教育

- ALTの有効活用や外国籍児童生徒との交流活動を充実させるなど、国際的な視野から互いの文化を理解し合い、共生していこうとする態度の育成に努めます。
- 外国籍児童生徒学校生活適応指導助手を有効活用した日本語教室の指導体制の充実や「特別の教育課程」による指導の工夫により、外国籍児童生徒の学校生活への適応や日本語指導の改善に努めます。

キ 環境保全に配慮して自ら考え行動できる実践力を育てる環境教育

- 環境教育全体計画を活用し、各教科や総合的な学習の時間等を通じた総合的な取組の推進に努めます。
- 家庭・地域と連携した環境美化活動やリサイクル活動を実施したり、省エネルギーや資源の有効利用に取り組んだりすることを通して、身の回りの環境に配慮して自ら考え行動できる実践力の育成に努めます。

ク 情報活用能力と情報モラルを育てる情報教育

- 各教科や領域等において、ICT（電子黒板や教育コンテンツ、ネットワーク等）の効果的な活用を通して、情報活用能力の育成に努めます。
- 各教科や領域等の年間指導計画に基づいた系統的な情報モラル育成のための授業を実施するとともに、携帯電話やパソコン等によるインターネットの利便性や危険性についての情報提供を行い、家庭と連携して安全に情報社会に参画する態度の育成に努めます。

ケ 主体的に読書しようとする心を育む読書活動の推進

- 図書主任や司書教諭、学校図書館事務職員と連携し、魅力ある学校図書館づくりを組織的・計画的に進めるとともに、年間指導計画を基に授業のねらいに沿った資料を整備し、授業における学校図書館の活用を推進するなど、考えを広め深める読書活動の一層の充実に努めます。
- 日々の読書活動において、「伊勢崎市親子が推薦する図書101」や「おすすめ本」等を積極的に活用したり、「家読」（家族ふれあい読書）を推進したりするなど、読書の街いせさきの充実に図り、日常的に読書に親しみ、幅広く読書しようとする態度の育成に努めます。

(3) 健康教育の推進

ア 学校保健活動の充実

- 児童生徒の健康課題を的確に捉えた学校保健計画に基づき、家庭や地域関係機関と連携した学校保健活動に組織的・計画的に取り組み、心と体の健康づくりに努めます。
- 平常時及び緊急時対応について校内体制を整備し、日常の健康観察や保健指導を適切に行うとともに、家庭や関係機関と連携して、感染症や食物アレルギー、熱中症等の予防対策の徹底を図ります。
- 健康教育充実プラン(4年次)に基づき、重点的指導内容(薬物乱用防止・性に関する教育)に対して、小中9年間を見通した系統的・継続的な指導を実践し、健康に関する自己管理能力の育成に努めます。

イ 学校における食育の推進

- 家庭・地域と連携し、食に対する正しい知識と望ましい食習慣を身に付け、実践できる児童生徒の育成に努めます。
- 食に関する指導の学年別年間指導計画を作成し、教職員の共通理解の下、指導方法や内容を工夫しながら、教科等の授業の中で食に関する指導の6つの目標との関連を意識した指導を行います。
- 学校と調理場が連携し、給食の時間や各教科、特別活動等の授業で学校給食を生きた教材として活用した指導に努めます。

ウ 学校安全の徹底

- 普通救命講習等、教職員研修を盛り込んだ総合的な学校安全計画の作成並びに学校安全3領域(生活安全、交通安全、災害安全)に関する内容を盛り込んだ学校独自の危険等発生時対処要領を整備します。
- 教職員、児童生徒、保護者、学校支援ボランティア等の協働による学校施設、校庭、通学路の安全点検を実施します。
- 児童生徒の危険回避能力を培うための日常的な安全指導(廊下歩行、一時停止の遵守)の徹底を図ります。

エ 体力の向上

- 体育の学習内容と学校行事等を関連させたり、日常的に体力向上に取り組む環境を整えたりして、ともに体を動かす仲間づくりを促進し、運動の楽しさを味わえるように努めます。
- 運動能力調査結果等を基に児童生徒の体力の現状を的確に把握し、体力の向上の必要性についての認識を高めるとともに、体力アップメニューや実態に応じたトレーニングを活用するなど、児童生徒が継続して体力向上に取り組めるように努めます。

3 一人一人の障害や特性等に配慮した特別支援教育

- (1) 校園長のリーダーシップの下、特別支援教育コーディネーターが中心となって、特別支援教育に関する校内(園内)委員会や校内(園内)研修会を積極的に開催し、関係機関とも連携しながら、特別な支援が必要な園児児童生徒に対する共通理解と全校的な支援体制の充実を図ります。
- (2) 特別な支援が必要な園児児童生徒に対し、通級指導教室や特別支援学校等の助言または援助を受け、「個別の指導計画」や「個別的教育支援計画」の工夫・改善及び積極的な活用により、一人一人の指導目標や指導内容・方法を明確にしたきめ細かな指導・支援を行います。
- (3) 特別な支援を必要とする園児児童生徒の学習や生活上の困り感を理解し、行動の背景にある気持ちに寄り添い、生活や授業の中で活躍できる場を設けるなど、学級内における温かい人間関係づくりに努めるとともに、個に応じた授業展開等を工夫します。
- (4) 計画的に校内(園内)教育支援委員会を開催するとともに、保護者との面談を継続的に実施しながら、一人一人の教育的ニーズに応じた教育支援に努めます。
- (5) 特別支援学校との居住地校交流や特別支援学級との交流などを積極的に実施し、障害の有無にかかわらず児童生徒がお互いの理解を深めるための交流及び共同学習の推進に努めます。

保護者・地域・企業・大学の力が子どもを笑顔にします

地域の学校 いきいきプラン

●● 夢や希望づくり ●●

地域のよさを学ぶ
伊勢崎ふるさと学習の推進

- 地域の方々との交流や体験活動を通して、ふるさと伊勢崎のよさを学びます。
- 地域の歴史や文化などについて、子どもの主体的な学びを計画的に進めます。

「未来力」学習講座の
意図的・計画的な展開

- 家庭・地域の力を生かし、様々な職業観や人生観に触れさせ、子ども自身に将来の生き方を考えさせます。
- 子どもの夢や希望を育み、具体的な目標をもって日々の生活や学習に意欲的に取り組めるようにします。

●● やる気と元気づくり ●●

スマイルサポーターと協働した
教育活動の充実

- 保護者や地域の方と協働した学びづくりで、子どものやる気を育てます。
- 地域の支援による安全パトロールなどにより、子どもの安心安全な生活をつくります。

地域との絆づくりの促進

- 地域で明るいあいさつを交わして、絆を深めます。
- 地域行事やクリーン作戦で地域への愛着心やモラルを高めます。

●● 魅力ある学びづくり ●●

カリキュラムパートナーとの連携の充実

- 大学と共同した研究を行い、授業プログラムを開発します。
- スポーツ選手や企業人、大学教授との協働授業を行います。

- 企業や大学の施設を利用し、より質の高い体験や学びの場をつくります。
- いせさき未来会議を開催し、特色ある本市の教育を推進します。

社会性を基盤とした豊かな心と健康な体を育てます

「愛」 燦々プラン

●● 温かい学級づくり ●●

一人一人の子どもを大切にしたい指導・
支援の充実

- 子どもの心に寄り添った指導や支援を重視し、子ども同士や子どもと教師の絆を深めて、子どもの自己有用感を育みます。
- いじめや不登校の未然防止、早期発見・早期解決のため、家庭と地域、関係機関との連携を深めます。
- 特別支援教育の考え方に基づいた、個に応じたきめ細かな支援・指導を行います。

道徳教育と特別活動の充実

- 子ども主体の活動を大切に、絆づくり、心の居場所づくりに努めます。
- 豊かな体験活動を通して、思いやりの心や協力し合う態度を育てます。

生活・学習習慣の定着

- よりよい生活の仕方や学習の仕方の実践で、基礎的な生活・学習習慣の定着や規範意識の向上を図ります。
- 家庭と連携して、「携帯電話 3つの基本ルール」を徹底し、情報モラルを育てます。

●● きれいな学校づくり ●●

【5Sの展開 ※1】

身の回りの整理整頓できれいな
学習環境

- 身の回りや学習用具を整理し、積極的に学ぶ心構えをつくります。
- 清掃や後片付けなどの実践で、気持ちよく過ごせる環境をつくります。
- 身近な取組を大切にしたいきれいな心
- 気持ちのこもったあいさつや言葉づかいで心を潤い合わせます。
- 認め合いや振り返り活動、トイレカピカプロジェクで心を磨きます。

●● 健康な体づくり ●●

望ましい食習慣と進んで運動する
習慣の定着

- 食育を推進し、望ましい食習慣の定着を図り、健康な心と体をつくります。
- ともに体を動かす仲間づくりを促進し、運動の楽しさを味わえるようにします。
- 体力アップメニューや元気っ子体操、実態に応じたトレーニング等を通して、体力の向上を図ります。

※1 5S：「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「しつけ」

確かな学力を育てます

学力パワーアッププラン

●● 考え表現する力づくり ●●

なぜ？を大切にしたい授業で考え
表現する力の育成

- 学年に応じて、交流の仕方を工夫し、子どもの「なるほど！」を引き出します。
- 新しく得た知識・技能や考えなどを子ども自身に振り返らせ、学んだことを確実に定着できるようにします。

【5Wの展開 ※2】

一人一人に学ぶ喜びや楽しさを実感
させる、きめ細かな実態把握と指導

- 子どもの学習状況をしっかりと確認・把握し、理解度や定着度に応じた指導の充実を図ります。
- 十分な教材研究に基づいた教科分担当制や少人数指導を行い、どの子どもにも教科の魅力や学ぶ楽しさを感じさせます。

考える力の基盤をつくるパワーアップ
タイムの充実

- 学習プリントなどを利用し、知識・技能の習得や活用を図る問題に取り組みさせます。
- 子どもの実態に合わせて意図的・計画的に取り組めます。

●● 英語力づくり ●●

コミュニケーションを重視した
学習の充実

- 外国語指導助手（ALT）や英語支援助手を活用して、英語を使う環境づくりを進め、英語によるコミュニケーションの楽しさを味わえるようにします。
- 学習した表現を使う場面を工夫し、英語によるコミュニケーション能力を育成します。

小中9年間の連続性を重視した
授業の充実

- 小学校での学習内容を踏まえ、中学校英語科の授業をより一層充実させます。
- 「小中一貫英語力向上プログラム」を有効活用した授業で、自分の考えを英語で表現したり、友達のことを理解したりできるようにします。

●● 家庭学習づくり ●●

自ら学ぶ家庭学習習慣の育成

- 授業と家庭学習を連動させて、学んだことの振り返りや次の学習の促進をもたせることで、分かる喜びやできる楽しさを味わえるようにします。
- 家庭学習の手引き等を活用し、学年に応じた効果的な学習方法を身に付けさせ、自主的に学習に取り組めるようにします。

※2 5W(5Words)：「読む」「聞く」「考える」「書く」「話す」

平成27年度 主要事業

伊勢崎市教育委員会

1 全市的な研修

- ①小中連携研修：教育構想等の展開に向けた各中学校区の学校園による連携研修
- ②小中教科等研修：小13、中13、小中合同2（養護教諭、特別支援教育）
- ③実技等研修：授業改善に向けた実技指導力の向上を目指した研修
- ④幼稚園一日研修：保育の改善・充実のための保育研究（会場：三郷幼稚園）

2 学校訪問

- ①経営訪問：市教委の方針説明、経営課題の協議、授業参観
- ②要請訪問：随時要請に応じて実施、学校課題に基づく協議、授業研究会、個別指導等
- ③幼稚園訪問：経営課題の協議、保育参観、保育研究会

3 指定校等

＜文部科学省・県教育委員会等指定校＞

- ①茂呂小学校：「確かな学力」研究推進校（県教委義務教育課 H26～28）
- ②名和小学校：道徳教育総合支援事業（県教委義務教育課 H27～28）
- ③宮郷第二小学校：ぐんまの子どもの体力向上推進事業体力向上推進モデル校（県教委健康体育課 H27～29）
- ④第一中、南小：がん教育総合支援事業（県教委健康体育課 H27）
- ⑤境東小学校：「社会福祉協力校（単年度学校指定モデル事業）」（社会福祉協議会 H27）

＜市教育委員会指定校＞

- ①三郷幼稚園：「特色ある幼稚園教育実践指定園」（H27）

4 伊勢崎教育構想2015における最も重点的な取組

- ＜温かい学級づくり＞ 北小、南小、名和小、豊受小、殖蓮第二小、広瀬小、赤堀東小、あずま南小、あずま北小、境小、境島小、第二中、第三中、あずま中
- ＜きれいな学校づくり＞ 境東小、あずま中
- ＜考え表現する力づくり＞ 南小、殖蓮小、茂呂小、三郷小、名和小、宮郷小、豊受小、北第二小、坂東小、宮郷第二小、赤堀小、赤堀南小、赤堀東小、あずま小、あずま南小、あずま北小、境小、境采女小、境剛志小、境島小、境東小、第一中、第二中、第三中、第四中、殖蓮中、宮郷中、赤堀中、境北中、境西中、境南中、
- ＜夢や希望づくり＞ 南小、豊受小、赤堀東小、あずま南小、境小、境島小、第三中
- ＜やる気と元気づくり＞ 境東小

5 市教委主催の研修等

- ①管理職研修
- ②教務主任研修
- ③研修主任研修（確かな学力向上推進委員会）
- ④生徒指導主任研修
- ⑤人権教育主任研修
- ⑥安全教育担当教員研修
- ⑦情報教育主任研修
- ⑧健康教育担当者研修
- ⑨教科等指導員研修
- ⑩小学校英語研修
- ⑪日本語教室担当教員研修
- ⑫学社連携推進担当研修
- ⑬学校経営研修
- ⑭事務職員研修
- ⑮特別支援教育コーディネーター研修
- ⑯通級指導教室担当教員連絡協議会
- ⑰外国籍児童生徒学校生活適応指導助手研修
- ⑱食育推進担当者研修

学力向上

本市では、学力向上対策推進事業として、「伊勢崎教育構想2015」における教育プランの一つとして「学力パワーアッププラン」を実施する。「学力パワーアッププラン」は、本市で目指す子ども像「『生きる力』を身に付け、実践する、自立した子ども」の具現化に向けて、「基礎・基本を身に付け、自ら学び、自ら考える子ども」の育成に重点を置き、教師・子ども・保護者の三者が一体となり、「確かな学力」を培おうとするものである。事業の内容は、①学力検査結果の分析等による児童生徒の実態把握に基づいた学力向上対策の計画的な推進を図ること、②5Words（読む・聞く・考える・書く・話す）活動を重視したり、考えを交流し高めたりする「なぜ？を大切に授業」を通して、思考力・判断力・表現力の育成を図ること、③教師の専門性や特技・特性を生かした「教科分担制」の導入等により授業の質を高めるとともに、日常のきめ細かな見取りによる「通知表5分類方式」の活用により正確な学習状況を子ども自身に伝え学習意欲の向上を図ること、④「パワーアップタイム」を子どもの実態に応じて設定し、学習プリントの活用や読書活動により考える力の基盤をつくること、⑤外国語指導助手(ALT)や英語支援助手を有効活用した授業を行うなど、小中一貫した指導により英語コミュニケーション能力の育成を図ること、⑥家庭学習の手引きを活用するなどして、「分かる喜び」や「できる楽しさ」を味わい、学習意欲を高める「自ら学ぶ家庭学習」に取り組ませ、学習習慣の育成を図ること、以上6点である。

学力向上対策にかかわる全市的な教職員研修としては、「中学校区別研修会」を開催し、市内11中学校区ごとにそれぞれの校区の幼稚園・小学校・中学校の教員が全員参加して、連携した継続性のある教育活動の在り方を検討する。また、「共通授業研究会」を小・中学校の各校種で教科別に実施し、授業研究を基にして指導力向上を図るとともに、「実技等研修」を実施し、教員の資質や専門的な能力の向上を図る。幼稚園については、「幼稚園一日研修」を実施し、保育研究を基にして保育改善を図る。

各学校園の校園内研修を支援する体制としては、研修主任を委員とした「確かな学力向上推進委員会」を設置し、研修の計画・実施・まとめ、基礎・基本の確実な定着、学習習慣の定着化などについて協議できるようにする。

学校訪問については、学校経営上の課題解決を支援するための「経営訪問」を1学期に、校内研修で取り組んでいる学習指導上の課題解決を支援するための「要請訪問」を2学期に全小中学校で実施する。

児童生徒に基礎・基本の確実な定着を図るために、標準学力検査を実施し、結果等を分析し授業改善の方策を具体化して、実際の指導に役立てる。また、小学校国語・算数、中学校国語・数学・英語では、「学力向上プリント」を市内の教員に作成を依頼し、授業や家庭学習等で活用していく。

学校・幼稚園訪問

1 趣 旨

学習指導要領・幼稚園教育要領、群馬県教育委員会の「学校教育の指針」、本市教育委員会の「学校教育方針」及び「伊勢崎教育構想2015」に基づいた学校・幼稚園経営、教育課程の編成実施、教職員の指導力の向上、学力向上、生徒指導等の改善・充実を図るために、事務局職員等が学校・幼稚園に直接出向いて指導援助に当たる。

2 各訪問の概要

<小・中学校>

(1) 経営訪問（1学期）

学習指導要領や「伊勢崎教育構想2015」に基づいた学校経営（教育課程の編成・実施、学力向上、学習指導、生徒指導等を含む）上の課題やその解決策等について協議を行う。

(2) 要請訪問

学習指導上の課題解決のための援助を中心に、校内研修、指定研修への対応、授業研究等、学校からの要請により、関係職員を派遣して研究協議を行う。

＜幼稚園＞

(1) 幼稚園訪問（１・２学期）

幼稚園教育要領や「伊勢崎教育構想2015」に基づいた幼稚園経営（教育課程の編成・実施、園内研修）上の課題やその解決策等について協議を行うとともに、園内研修の課題を踏まえて、指導力向上のための保育参観及び研究協議を行う。

(2) 要請訪問

幼稚園経営の課題解決のための援助を中心に、園内研修、指定研修への対応、保育研究等、園からの要請により、関係職員を派遣して研究協議を行う。

進路指導

子どもに自らの進路を切り開こうとする意欲や態度を育てるためには、学校と家庭・地域社会が連携し、子ども一人一人の能力・適性を多面的に捉え、個性を伸ばす進路指導を行うことが大切である。また、子ども自身が、将来の生き方を自己の意志で選択し、自分で選んだ生き方については自分自身で責任をとることができる資質や能力を身に付けられるよう、学校の教育活動全体を通して指導・支援する必要がある。

そのために、小学校では、児童が将来への夢や職業へのあこがれをもてるよう、進路に関する学習を意図的・計画的に行うなど、小学校段階における望ましい勤労観の育成に努めている。中学校では、学級活動における進路学習と各種職場体験事業などの啓発的活動との関連を図りながら、望ましい勤労観や職業観の育成に努めている。

また、夢や希望を抱き、その実現に向けて挑戦する意欲や態度を「未来力」と規定し、子どもの「未来力」を高めるために、企業や大学をはじめ、地域で活躍する人が人間の生き方や社会のしくみ等を教える「『未来力』学習講座」を、小中9年間の全学年において実施する。

人権教育

本市では、多様化する人権問題の解決を図るため、市人権教育方針に基づいて、学校における人権教育の一層の改善と充実に努めている。

1 基本方針

- (1) 人権教育とは、人権を相互に尊重し合う人権共存の考え方を理念とし、人権という普遍的文化を構築するための教育活動であり、日常的・体験的な活動を通して推進する。
- (2) 学校教育においては、子どもの発達の段階に即し、各教科の特質に応じ、全教育活動を通じて生命や人権を尊重する心や他人を思いやる心などの豊かな人間性を育成するとともに、一人一人を大切にされた教育の充実に努める。
- (3) 人権教育の推進に当たっては、生涯学習の観点に立ち、地域の実態に即して積極的に推進されるよう努めるとともに、公教育としての主体性を守り、関係諸機関・団体との連携を図り総合的に推進する。

2 取組の概要

本市では、人権尊重の精神に基づいた教育行政を行うとともに、「伊勢崎教育構想2015」の3つの教育プランとして「『愛』燦々プラン」、「学力パワーアッププラン」、「地域の学校いきいきプラン」を位置付けている。そして、小中学校が連携した9年間の一貫教育を実施することにより、学校と家庭、地域社会が協働して、子どもたちの豊かな心の育成に取り組んでいる。また、講演会等を開催し、教師の人権意識の高揚と指導力の向上を図っている。

各学校・園においても創意工夫ある人権教育を推進するため、人権教育全体計画、推進計画及び年間指導計画の

改善を図り、互いの人権を尊重し、望ましい人間関係を確立できる子どもの育成を目指している。さらに、教師自身も地域の人権教育・啓発に関する社会教育活動に参加し、自らの人権意識の高揚を図るとともに、学校・学年・学級通信や授業公開、懇談会等を通して、保護者や地域住民への啓発活動を行うよう努めている。

なお、各学校・園においては、人権に関わる講演会や校長講話、ビデオ視聴、人権標語やポスターの作成、いじめに関するアンケートや友だちのよさや頑張りを認め合う活動、老人ホームへの訪問、外国籍児童や特別支援学校との交流、車いす体験など、子どもの発達の段階に即した創意工夫ある様々な人権教育を推進している。

環境教育

環境を大切にする心と実践力を育てる環境教育を推進するため、各学校において、伊勢崎市クリーン作戦やリサイクル活動を実施したり、省エネルギーや資源の有効利用に取り組んだりするなど、環境保全を尊重する心と循環型社会づくりに向けた実践力の育成に努めている。

平成 20 年度には、「第 1 回群馬銀行環境財団教育賞最優秀賞」を境南中学校が受賞している。地域と連携した平野部での里山づくりで平成 22 年度「第 3 回群馬銀行環境財団教育賞特別賞」、平成 23 年度「第 4 回群馬銀行環境財団教育賞優秀賞」を殖蓮中学校が受賞している。またビオトープによる環境学習で平成 23 年度「第 4 回群馬銀行環境財団教育賞優秀賞」、平成 24 年度には「群馬県環境功績賞」を赤堀東小学校が受賞している。

学習環境の改善や心の教育推進のために、全ての小・中学校のトイレを全面改修し、洋式化を進めるとともに、環境教育の一環としてグリーンカーテンなどのエコ活動に子どもたちとともに取り組んでいく。

また、総合的な学習の時間における児童生徒の主体的な環境に関する追求活動をはじめ、それぞれの学校が家庭や地域とも連携しながら特色ある活動を行っている。



総合的な学習における環境教育学習

情報教育

将来の高度情報通信ネットワーク社会において、子どもたちが主体的に対応できるよう必要な資質を養うことや情報機器を自他の生活の向上に適切に利用することなど、情報社会に適切に対応していくことは今日の重要な課題となっている。

本市では、情報教育指導体制を充実させ、効果的な I C T (Information and Communication Technology) 機器（電子黒板や教育コンテンツ、ネットワーク等）の活用などにより、各教科や総合的な学習の時間等の学習において、子どもたちの情報活用能力の育成を図っている。また、道徳や各教科等の年間指導計画に情報モラル育成のための授業を系統的に位置付け、携帯電話やパソコンなどによるインターネットの利便性や危険性の情報提供や啓発事業を行い、家庭と連携して児童生徒が安全に情報社会に参画する態度の育成を図っている。

一方、各教科等の目標を達成する際に効果的に I C T 機器を活用することについては、I C T 環境の整備を進めるとともに、情報教育主任会を中心に、I C T 機器を活用した授業実践研究などの情報提供を行うことで、教員の I C T 活用能力の向上も図っていく。

また、校務の情報化や事務の効率化に向けて、P C サポーター活用の推進、校内 L A N の拡充、教員研修の実施、県総合教育センターとの連携などの事業を充実させていく。

特 別 支 援 教 育

本市には、知的障害、自閉症・情緒障害、肢体不自由の各特別支援学級がある。それぞれの特別支援学級では、特別な教育課程を編成し、個々の児童生徒の実態に合ったきめ細かな指導ができるように配慮している。

知的障害特別支援学級は、現在、小学校 22 校、中学校 11 校に設置されている。自閉症・情緒障害特別支援学級は、小学校 21 校、中学校 9 校に、また、肢体不自由特別支援学級は、小学校 1 校に設置されている。個々の障害等の状況に応じ、知的障害が軽度の児童生徒は、主として特別支援学級に入級しているが、中度・重度あるいは知的障害を主障害とした重複障害のある児童生徒は、県立特別支援学校に入校している。

また、通級指導教室では、言語や情緒の面で、一部特別な支援を必要とする幼児や児童に対して指導を行っている。現在、北小学校（言語、情緒、LD・ADHD）、赤堀小学校（言語、LD・ADHD）、あずま小学校（言語、LD・ADHD）、境小学校（言語、情緒）の 4 校に「こども発達相談室」という名称で設置されている。

現在、各学校とも、学校長のリーダーシップの下、特別支援教育コーディネーターが中心となり、発達障害等（LD・ADHD）の理解のための研修を行ったり、校内の支援体制を整えたりするなど、関係機関との連携を深め、教育環境の整備に努めている。

平成 25 年度に県立移管された県立伊勢崎特別支援学校（旧市立伊勢崎養護学校）では、今まで同様に、本市における特別支援教育のセンター的役割を担う学校として、来校相談や訪問相談等の相談業務、諸検査や教材開発等の支援業務、講師派遣や校内研修の参加等の研修業務も積極的に行っている。

障害のある子どもの就学に係る教育支援にあたっては、学校、幼稚園等で作成した就学に係る教育支援基礎資料を基に市教育支援委員会で審査を行っている。また就学先の決定に際しては、審査結果等の情報を本人・保護者に提供するとともに、障害の状態、本人の教育的ニーズ、本人・保護者の意見、専門的見地からの意見、学校や地域の状況等を踏まえ総合的な観点から、入級・入校等の就学方針を決定している。

外 国 語 指 導 助 手

今日、経済・社会等のグローバル化が進展する中、子どもたちが 21 世紀を生き抜くためには、国際的共通語である英語によるコミュニケーション能力の基礎を身に付けることが必要であり、このことは子どもたちの将来のためにも、本市の発展のためにも非常に重要な課題である。

そこで、本市では、ネイティブスピーカーである外国語指導助手の有効活用に重点を置いた施策を展開し、合計 20 名の外国語指導助手を市内小学校、中学校、四ツ葉学園中等教育学校に配置し、子どもたちの発達の段階に応じた英語によるコミュニケーション能力の育成や国際理解教育の推進に努めている。

1 市内中学校 11 校における英語指導

11 名の外国語指導助手を各中学校に配置し、各学校の英語担当教員とのチーム・ティーチングにより、英語によるコミュニケーション能力の基礎を養うために、「聞くこと」「話すこと」の指導の充実に重点を置いた授業を展開している。また、通常の授業指導に加えて、英語弁論大会に向けての音声指導などの支援も行っている。日常生活や学校行事など様々な場面を通じて、生徒との会話を積極的に図りながら、生徒の英会話能力の育成を目指している。



「話す」「聞く」に重点を置いた授業

2 四ツ葉学園中等教育学校における英語指導

四ツ葉学園中等教育学校には3名の外国語指導助手が年間を通じて常駐し、英語担当教員とのチーム・ティーチングによる英語指導を行っている。また、クラブ活動でも英語クラブの顧問として、英会話指導に継続して当たっている。これらにより、四ツ葉学園中等教育学校の生徒が、生きた英語を学べる魅力ある学校生活を送れるよう努めている。

3 市内小学校24校における英語指導

子どもたちが英語の授業を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けることを目指して、小学校専任6名、小中学校兼務3名、合計9名の外国語指導助手が各小学校へ週1回程度の訪問指導を行っている。

各学校の学級担任とのチーム・ティーチングでは、ネイティブな音声や英語表現に多く触れさせ、英語を使いながら活動を楽しむことに指導の中心を置いている。また、市共通の展開例を有効活用し、英語指導の充実を図っている。



音声面を重視した指導

4 国際理解教育の推進

市内小学校・中学校・四ツ葉学園中等教育学校の児童生徒及び各学校の教職員に対して、20人の外国語指導助手が直接外国の生活や文化について伝える機会を設け、国際理解教育の推進を図っている。授業中における情報提供だけでなく、日常生活や学校行事など様々な場面を通じて、外国の言語や文化について学ぶ機会を提供している。さらに、アメリカ姉妹都市のスプリングフィールド市の学校と相互に代表が訪問し合うなど、国際的に開かれた学校としての取組を行うことが計画されている。

外国籍児童生徒学校生活適応指導助手配置事業

1 趣 旨

本事業は、外国籍園児児童生徒や帰国児童生徒が学校生活に適応できるように、学校生活適応指導助手23人を配置し、日本語の習得や日常の生活習慣を中心に指導・援助を行う。

2 事業内容

- (1) 本事業の対象となる園児児童生徒を学校園ごとに調査・把握し、それぞれの状況に適する適応指導助手の採用及び配置に努める。ただし、本事業の対象は、市内小中学校及び幼稚園に在籍する外国籍園児児童生徒及び帰国児童生徒の中で、日本語が全く、あるいはほとんど通じない者など、学校生活への適応が困難な者とする。
- (2) 適応指導助手による指導・援助は、原則として該当校へ出向いて行うものとする。その計画は、事前に該当校園関係者と協議して決めるものとする。
- (3) 該当校園における指導・援助は、園長、校長及び関係学級担任の指導のもとに、原則として個別指導を中心に行うものとする。ただし、実情に応じて効果のある指導形態を工夫する。
- (4) 適応指導助手による訪問指導は、原則として午前4時間、午後2時間をそれぞれ単位として、週2～5回、1ヶ月を一単位の継続指導とする。また、必要に応じて延長することができるものとする。

3 外国籍園児児童生徒数（5月1日現在）

(1) 該当校数および該当園児児童生徒数

※公立学校に限る。 ※（ ）は適応指導を必要とする数。

幼稚園	9/10 園	25 (19)	前年比	+2 園	+ 5 名
小学校	23/24 校	636 (272)		±0 校	+66 名
中学校	11/11 校	300 (4551)		±0 校	+26 名
中等教育学校	1/1 校	1 (0)			- 1 名
合 計	44/46 校園	962 (342)			+96 名

(2) 言語系列および国籍別園児児童生徒数〔日本国籍を含む〕

①スペイン語〔ペルー・アルゼンチンなど〕	330 (91)	前年比	+ 6 名
②ポルトガル語〔ブラジルなど〕	290 (116)		+24 名
③ベトナム語	137 (46)		+16 名
④タガログ語	85 (41)		+ 6 名
⑤その他〔パキスタン・中国・イランなど〕	101 (43)		+37 名

地域の教育力の活用

1 学校支援センター制度 ～家庭と地域の力で学校教育の充実を！～

本市では、合併後、各小中学校において「学校支援センター制度」に積極的に取り組んできた。これは「地域の学校いきいきプラン」の一環として、学校の教職員だけを子どもたちの「先生」としてとらえるのではなく、家庭や地域の方々にも「先生」として学校における教育活動に協力していただくものである。これにより児童生徒の指導に当たる大人の数を飛躍的に増加させ、学校の教育力の充実はもとより、開かれた学校運営を通じた地域から信頼される学校づくりを大きく前進させることができた。

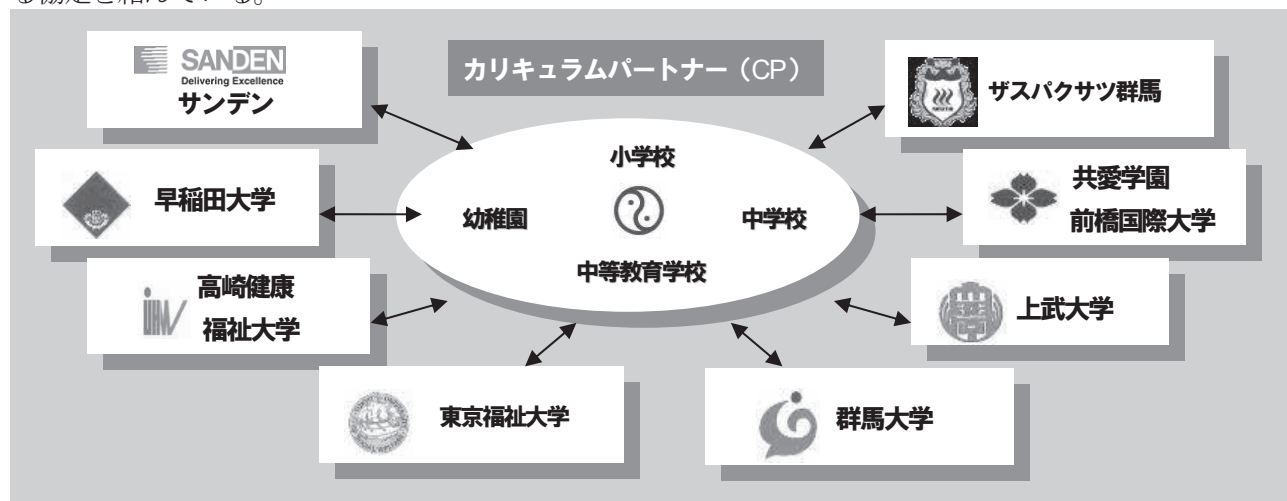
各学校では、教育力の充実と信頼される学校づくりの拠点として「学校支援センター」を設置するとともに、PTAや地域に「学校支援ボランティア」としての参加を呼びかけ、平成26年度の登録人数は15,411人であり、多くの方々の協力をいただくことができた。

2 カリキュラムパートナー制度 ～企業と大学の力で学校教育のさらなる充実を！～

企業や大学は専門性を持つ人材の宝庫で、様々な分野において最先端の取組を行っている人材がたくさんいるとともに、小中学校では考えられないような素晴らしい施設・設備を保有している。学校による活用の工夫によっては、今まで考えられなかったような大きな教育力を発揮してくれる可能性がある。

このようなことから、保護者や地域の方を学校支援ボランティアとして活用する「学校支援センター制度」に加え、もう一つの地域の教育力として、企業人や大学教授・学生を外部指導者・支援者として活用する「カリキュラムパートナー制度」を、「地域の学校いきいきプラン」の一環として、平成20年度に導入した。

現在、地元伊勢崎市やその近隣に本拠地・活動拠点を置くサンデンホールディングス株式会社と株式会社草津温泉フットボールクラブ(ザスパクサツ群馬)の2企業、群馬大学教育学部・同社会情報学部や共愛学園前橋国際大学、上武大学、東京福祉大学、早稲田大学、高崎健康福祉大学の6大学と包括的協力関係に関する協定を結んでいる。



このカリキュラムパートナー制度を推進させる原動力として、「教育改革・いせさき未来会議」を設置し、これからの教育の方向性やカリキュラムパートナーとの連携事業について意見交換をしている。カリキュラムパートナーとの主な連携事業は、次のようなものがある。

サンデンホールディングス：サンデンフォレスト自然体験、サンデンインターナショナルUSA への訪問、 キャリア講話	
ザスパクサツ群馬	：プロのコーチによるサッカー教室、サッカー授業プログラム開発、キャリア講話
共愛学園前橋国際大学	：学生ボランティア、小中一貫英語力づくりプログラム開発、 プレゼンテーション講座、海外進学 TOEFL 講座
上武大学	：キャリア講話、元オリンピック選手による体育授業
群馬大学教育学部	：古典・伝統文化授業
群馬大学社会情報学部	：多文化理解講座・キャリア講話
早稲田大学	：小中一貫英語力づくりプログラム開発、アカデミックキャンプ共同授業、
東京福祉大学	：学生ボランティア（夏休み勉強塾・保健室・通常授業）、人間関係作り講座 r t r
高崎健康福祉大学	：食育に関する授業、キャリア講話

3 スマイルサポーター制度

本市では、学校教育をさまざまな面から支援してくれる家庭・地域や企業・大学などの地域人材をすべて「指導者」と位置付け、学校支援センターとカリキュラムパートナーの人材を合わせて「スマイルサポーター」と名付けて指導体制の改善・充実を図っている。この制度は、多様な外部人材により児童・生徒の笑顔を引き出す教育活動の充実を図るためのものである。

これまでもカリキュラムパートナーの協力により、たくさんの外部指導者や学生ボランティアが学校に入り、「できた」「分かった」「よかった」という子どもたちが笑顔になる支援をしてもらった。例えば、平成 26 年度に小・中学校で実施した夏休み勉強塾では、東京福祉大学をはじめとする約 100 人を超える大学生が児童・生徒の学習支援を行ってくれた。英語活動や日本語教室にも、学生ボランティアが授業支援をしてくれた。そして、大学の先生や企業の方から話を聞く授業では、「すごい」「分かった」「もっと知りたい」といったやる気や笑顔があちこちであふれていた。家庭・地域の外部指導者・学校支援ボランティアの授業やカリキュラムパートナー（企業・大学）の外部指導者の授業でも同様である。これらの取組を継続し、さらに充実させることをねらっている。

4 「未来力」学習講座 ～ 夢や希望をもち、学習や生活の向上に自ら取り組む児童生徒を～

家庭・地域やカリキュラムパートナー（企業・大学）などのスマイルサポーターが、自己の生き方や専門分野などについて教える「未来力」学習講座を、平成 23 年度から小・中学校の全ての学年において実施している。これは、多種多様な外部講師とのふれあいを通して、児童生徒が夢や希望を膨らませ、それに迫るための目標に向かって努力することの大切さ、素晴らしさを感じることができるようにするものである。

例えば、憧れのサッカー選手から、成功した話だけでなく、壁にぶつかり挫折して苦しんだ話を聞く。グローバル展開している企業の方から、就職するまでの足跡や仕事上の喜びや厳しさ、現在の自分の夢やそれをかなえるために努力していることについての講話を聞く。また、生活科や社会科の現地学習でスーパーマーケットの店長さんから仕事内容の話とともに、仕事上の喜びや大変さなどの話を聞く。そうすることにより、児童生徒が、未来の自分の進路を夢や希望として考えるとともに、それをかなえるために目標をもち、自らの学習や生活の向上に日常的に取り組むようになることをねらっている。

各種補助・援助

1 要保護及び準要保護就学援助

経済的理由によって就学困難な児童生徒に対し、就学援助として、学用品、学校給食費、修学旅行費、校外活動費、医療費等を給付し、円滑な義務教育の実施を目的として行っている。

区 分	小学校			中学校		
	給与人員（人）	給与額（円）	平均給与額（円）	給与人員（人）	給与額（円）	平均給与額（円）
平成 26 年度事業	453	29,311,308	63,582	343	42,756,754	123,574
平成 27 年度事業計画	490	38,506,080	78,583	354	52,156,270	147,334

2 特別支援教育就学奨励

小、中学校の特別支援教育の特殊事業に配慮し、特別支援学級等の就学に必要な保護者の経済的負担を軽減し、特別支援教育の振興を目的として、国の援助を受けて行っている。

区 分	小学校			中学校		
	給与人員（人）	給与額（円）	平均給与額（円）	給与人員（人）	給与額（円）	平均給与額（円）
平成 26 年度事業	151	4,433,370	29,360	61	2,758,262	45,217
平成 27 年度事業計画	174	5,810,575	33,394	88	4,743,180	53,899

3 幼稚園就園奨励

(1) 私立幼稚園就園奨励費補助事業

幼稚園教育の振興充実を図るため、幼稚園に就園する 3、4、5 歳児及び満 3 歳児（満 3 歳に達した幼児が翌年度の 4 月を待たずに年度途中に入園する場合）の保護者に対し、所得に応じて国の定めた基準により保育料の減免（補助）を行っている。

平成 27 年度幼稚園就園奨励費補助金の保育料補助（減免）表

	市民税額による階層区分	通常の場合			小学 1～3 年生の兄・姉がいる場合		
		1 人就園の場合及び同一世帯から 2 人以上就園している場合の年長者 (第 1 子)	同一世帯から 2 人以上就園している場合の次年長者 (第 2 子)	同一世帯から 3 人以上就園している場合の左以外の園児 (第 3 子以降)	小学 1～3 年生の兄・姉 (第 1 子)	1 人就園の場合及び同一世帯から 2 人以上就園している場合の最年長者 (第 2 子)	同一世帯から 2 人以上就園している場合の左以外の園児 (第 3 子以降)
私立幼稚園	生活保護世帯	308,000 円	308,000 円	308,000 円		308,000 円	308,000 円
	非課税世帯						
	均等割だけ課税になる世帯（所得割非課税世帯）	272,000 円	290,000 円	308,000 円		290,000 円	308,000 円
	所得割課税額が 77,100 円以下となる世帯	115,200 円	211,000 円	308,000 円		211,000 円	308,000 円
	所得割課税額が 211,200 円以下となる世帯	62,200 円	185,000 円	308,000 円		185,000 円	308,000 円
	上記区分以外の世帯		154,000 円	308,000 円		154,000 円	308,000 円

平成 26 年度 事業実績

＜公立幼稚園＞減免対象者	188 人（10 園）	減免金額	7,569,600 円
＜私立幼稚園＞補助対象者	1,160 人（31 園）	補助金額	137,580,900 円
合 計	1,348 人		145,150,500 円

（2）私立幼稚園第3子以降保育料軽減事業

幼稚園就園奨励費補助金と同様に、私立幼稚園に第3子以降の子どもを就園させている世帯に対して、保育料の一部補助を行っている。ただし、就園奨励費補助金と合わせて 308,000 円を減免（補助）する。

また、公立幼稚園は子ども・子育て支援新制度に移行し、利用者負担額決定時に減免相当額が反映されています。

平成 26 年度 事業実績

＜公立幼稚園＞減免対象者	23 人（10 園）	減免金額	996,600 円
＜私立幼稚園＞補助対象者	6 人（3 園）	補助金額	364,800 円
合 計	29 人		1,361,400 円

4 奨学金制度

本市の奨学金制度は、旧伊勢崎市、旧赤堀町、旧東村、伊勢崎佐波広域組合にあった制度を統合し、平成 17 年 1 月 1 日伊勢崎市奨学金条例が設けられた。

貸与額

区 分	金 額
高等学校 年額	120,000 円
大学 年額	300,000 円

給与額

入学時給付金	30,000 円
--------	----------

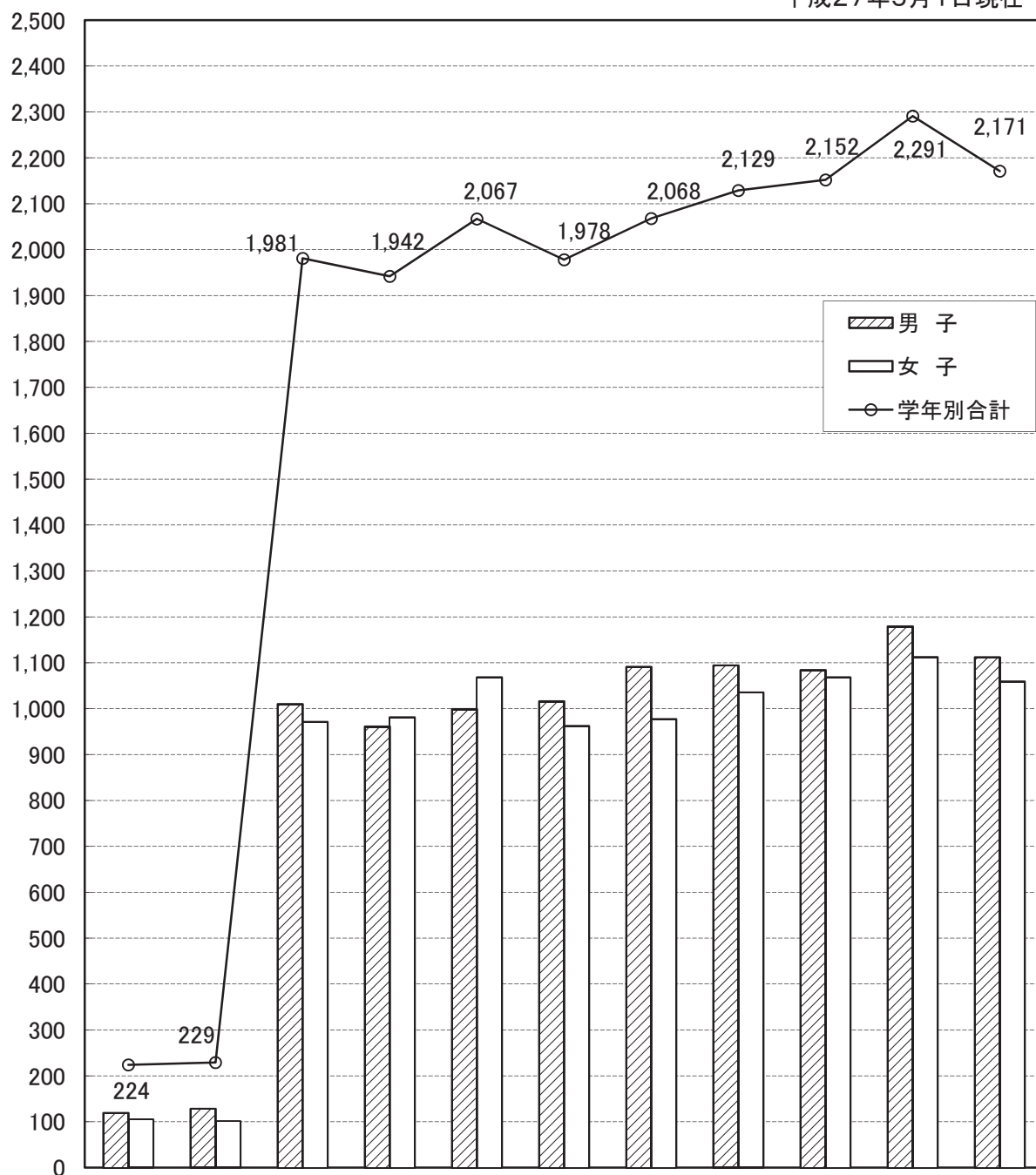
貸与利用状況

	高等学校	大 学	計
平成 26 年度	4 人	10 人	14 人
平成 27 年度	7 人	10 人	17 人

園児・児童生徒数

学年別・男女別構成図

平成27年5月1日現在



人 学年	園市 四立 歳幼 児稚	園市 五立 歳幼 児稚	一小 年 生学	二 年 生	三 年 生	四 年 生	五 年 生	六 年 生	一中 年 生学	二 年 生	三 年 生
男子	119	128	1,010	961	999	1,016	1,091	1,094	1,084	1,179	1,112
女子	105	101	971	981	1,068	962	977	1,035	1,068	1,112	1,059
合計	224	229	1,981	1,942	2,067	1,978	2,068	2,129	2,152	2,291	2,171

※中学1年生～3年生の生徒数には、中等教育学校の1年生～3年生の生徒数を含んでいます

園児・児童・生徒数等の推移

1. 幼稚園

(各年5月1日現在)

年度	18		19		20		21		22		23		24		25		26		27	
施設名	児 童 生徒 幼児数	学級数	児 童 生徒 幼児数	学級数	児 童 生徒 幼児数	学級数	児 童 生徒 幼児数	学級数	児 童 生徒 幼児数	学級数	児 童 生徒 幼児数	学級数	児 童 生徒 幼児数	学級数	児 童 生徒 幼児数	学級数	児 童 生徒 幼児数	学級数	児 童 生徒 幼児数	学級数
第 一 幼 稚 園	46	2	52	2	40	2	30	2	28	2	34	2	41	2	34	2	26	2	29	2
南 幼 稚 園	59	2	48	3	52	2	47	2	47	2	38	2	39	2	34	2	26	2	21	2
殖 蓮 幼 稚 園	59	2	73	3	59	3	49	2	50	2	50	2	52	2	57	3	56	2	66	4
茂 呂 幼 稚 園	41	2	45	2	50	2	50	2	43	2	41	2	41	2	29	2	34	2	28	2
三 郷 幼 稚 園	35	2	38	2	37	2	30	2	29	2	32	2	33	2	31	2	35	2	31	2
宮 郷 幼 稚 園	71	3	69	3	64	3	53	2	58	2	62	3	50	3	52	2	63	3	62	3
名 和 幼 稚 園	46	2	47	2	37	2	24	2	19	2	25	2	28	2	27	2	25	2	26	2
豊 受 幼 稚 園	23	2	27	2	31	2	24	2	24	2	24	2	20	2	21	2	17	2	12	2
あかぼり幼稚園	164	7	140	6	139	6	148	6	128	5	120	5	132	5	110	4	103	4	86	4
あずま幼稚園	162	7	142	6	113	5	85	4	86	4	91	4	86	4	100	4	98	4	92	4
合 計	706	31	681	31	622	29	540	26	512	25	517	26	522	26	495	25	483	25	453	27

2. 小学校

北 小 学 校	286	14	289	14	311	15	354	16	376	17	412	16	427	17	443	17	460	17	468	19
南 小 学 校	447	15	442	15	434	15	420	16	409	16	398	16	389	13	381	14	373	14	377	15
殖 蓮 小 学 校	745	25	751	27	774	27	776	27	757	27	755	28	739	27	717	25	660	24	664	23
茂 呂 小 学 校	657	22	690	23	712	25	706	25	727	26	739	27	733	28	736	28	734	25	747	28
三 郷 小 学 校	695	24	692	24	730	25	742	26	752	27	743	26	738	25	717	26	729	27	696	25
宮 郷 小 学 校	948	30	977	30	967	31	951	32	925	31	884	30	870	31	837	31	798	30	799	29
名 和 小 学 校	463	17	459	15	465	16	481	19	475	19	505	20	495	20	500	21	480	20	473	18
豊 受 小 学 校	758	27	751	26	744	26	721	25	689	25	670	24	641	23	635	23	584	21	589	21
北第二小学校	314	14	309	14	301	14	281	14	259	14	256	14	245	14	229	12	218	10	199	10
殖蓮第二小学校	462	17	470	18	480	17	463	17	462	18	457	17	456	17	461	17	453	18	426	18
広 瀬 小 学 校	918	30	916	31	894	30	867	31	839	30	789	29	702	26	659	25	607	23	578	22
坂 東 小 学 校	537	20	561	20	565	22	577	21	576	22	550	21	536	21	542	20	541	19	515	19
宮郷第二小学校	873	29	926	31	995	34	985	34	969	33	936	32	912	33	891	33	861	31	809	30
赤 堀 小 学 校	618	21	647	21	666	22	660	24	672	25	671	23	663	24	645	25	631	24	633	24
赤堀南小学校	453	17	454	15	460	15	512	18	540	19	562	21	584	21	595	21	603	21	606	22
赤堀東小学校	374	14	400	14	418	15	429	16	422	16	418	16	431	17	433	17	416	16	402	16
あずま小学校	528	19	538	19	555	19	552	19	583	21	561	20	561	20	570	21	565	21	559	21
あずま南小学校	628	22	644	22	689	23	681	24	658	23	655	24	641	23	656	23	632	22	638	23
あずま北小学校	496	18	514	19	520	18	511	19	491	18	473	18	478	19	485	18	478	17	488	17
境 小 学 校	385	14	383	14	378	14	368	14	351	14	338	14	343	15	335	15	339	14	352	14
境采女小学校	468	16	448	16	457	16	453	17	454	18	438	17	437	18	437	17	406	16	397	16
境剛志小学校	461	17	469	18	479	18	463	19	473	19	455	17	434	17	426	17	410	17	397	16
境 島 小 学 校	43	6	38	6	36	3	34	4	29	3	23	3	19	3	20	3	17	3	10	3
境 東 小 学 校	365	13	341	13	348	13	328	13	334	13	335	14	316	14	313	13	332	14	343	14
合 計	12,922	461	13,109	465	13,378	473	13,315	490	13,222	494	13,023	487	12,790	486	12,663	482	12,327	464	12,165	463

3. 中学校

第 一 中 学 校	503	14	500	14	547	16	554	15	561	16	553	17	561	18	566	18	569	18	538	17
第 二 中 学 校	615	19	639	19	646	19	667	20	638	21	605	21	634	20	634	19	655	20	619	21
第 三 中 学 校	654	19	651	19	610	19	612	19	608	19	614	20	639	20	638	19	668	21	672	22
第 四 中 学 校	604	18	637	20	652	20	641	19	636	19	613	19	608	20	600	20	586	19	606	19
殖 蓮 中 学 校	613	18	608	18	584	17	575	17	559	16	570	18	554	17	553	18	565	18	568	18
宮 郷 中 学 校	694	21	730	22	777	23	811	24	840	24	847	25	868	26	889	26	915	27	887	26
赤 堀 中 学 校	609	18	616	17	644	18	668	19	680	20	708	22	713	22	763	23	766	23	788	25
あずま中学校	738	21	752	22	768	24	794	24	774	22	781	23	756	22	776	24	787	26	802	26
境 北 中 学 校	260	9	263	10	234	8	219	8	202	7	217	8	224	9	219	8	215	8	209	7
境 西 中 学 校	188	7	191	7	213	7	216	7	221	7	223	8	223	8	227	8	235	8	228	9
境 南 中 学 校	443	13	425	13	405	13	402	12	392	13	398	13	369	13	343	11	329	12	313	10
合 計	5,921	177	6,012	181	6,080	184	6,159	184	6,111	184	6,129	194	6,149	195	6,208	194	6,290	200	6,230	200

4. 中等教育学校

四ツ葉学園中等教育学校								128	4	254	8	382	12	509	16	630	20	749	24	753	24
-------------	--	--	--	--	--	--	--	-----	---	-----	---	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----

参考

※伊勢崎市立伊勢崎高等学校は平成26年3月31日をもって閉校しました

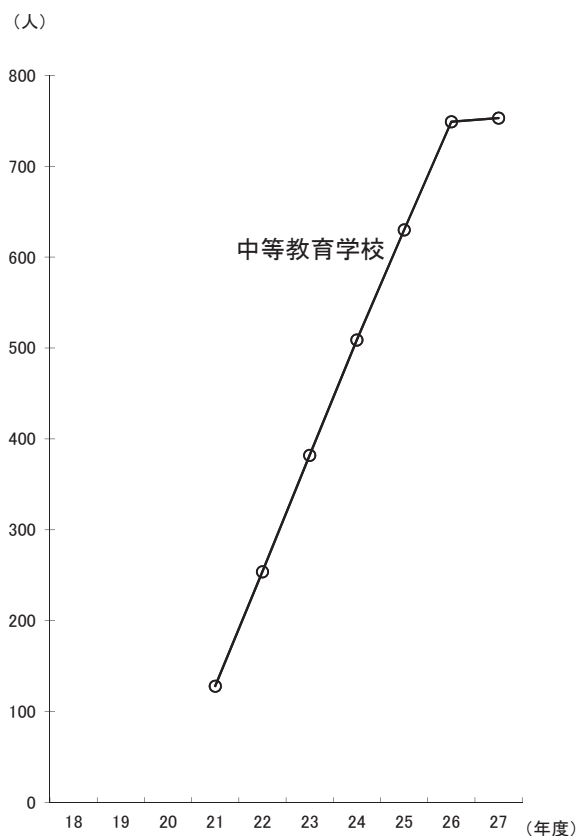
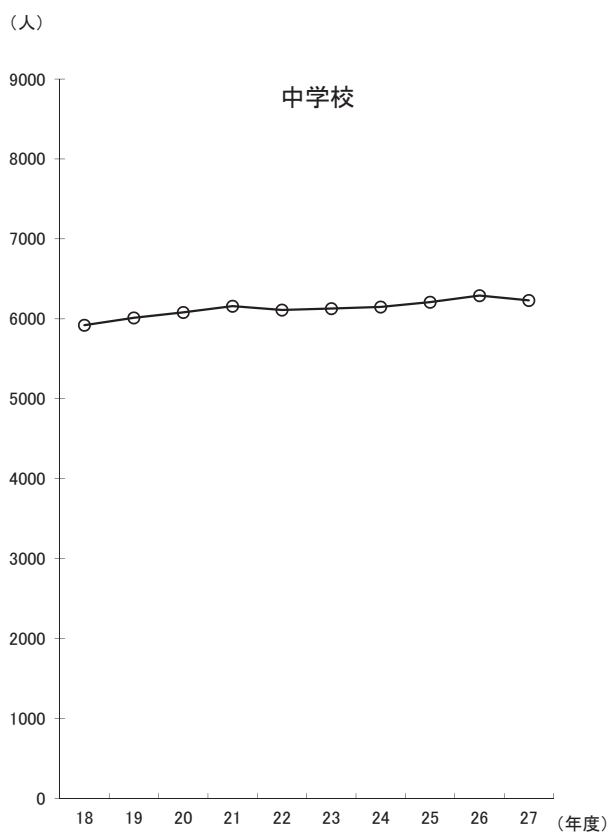
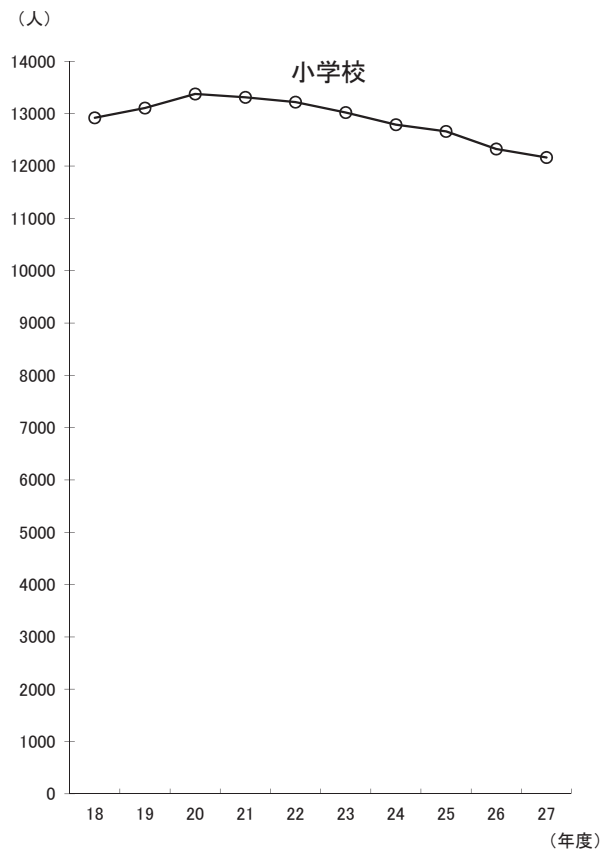
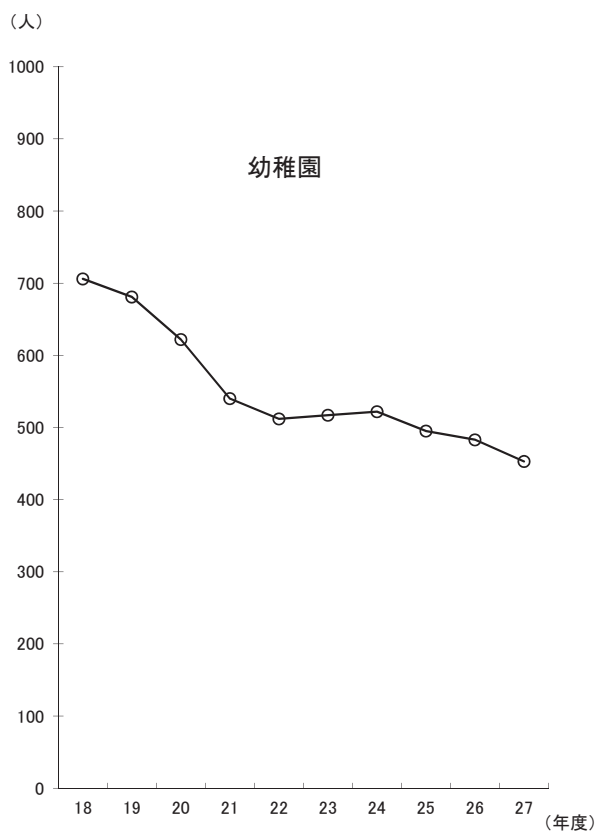
高等学校

伊勢崎高等学校	580	15	570	15	579	15	539	15	491	15	443	15	295	10	140	5				
---------	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	---	--	--	--	--

※伊勢崎市立伊勢崎養護学校は、平成25年4月1日に県へ移管され「群馬県立伊勢崎特別支援学校」となりました

特別支援学校

伊 勢 崎 小学部	67	21	56	19	53	18	55	18	67	22	70	22	73	23						
養護学校 中学部	35	12	40	12	41	12	44	13	40	12	43	13	41	12						
合 計	102	33	96	31	94	30	99	31	107	34	113	35	114	35						



平成27年5月1日現在児童生徒数 男女別

校種	学校名	1年生			2年生			3年生			4年生			5年生			6年生			男計	女計	合計	
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計				
小学校	北小	36	42	78	55	31	86	42	35	77	32	36	68	40	43	83	44	32	76	249	219	468	
	南小	31	28	59	33	39	72	31	33	64	28	29	57	28	31	59	34	32	66	185	192	377	
	殖蓮小	65	47	112	51	40	91	59	47	106	58	47	105	70	56	126	61	63	124	364	300	664	
	茂呂小	63	63	126	53	66	119	53	68	121	63	61	124	71	64	135	68	54	122	371	376	747	
	三郷小	55	60	115	65	64	129	41	51	92	75	50	125	51	57	108	66	61	127	353	343	696	
	宮郷小	62	73	135	61	61	122	76	67	143	65	81	146	64	59	123	79	51	130	407	392	799	
	名和小	35	39	74	31	35	66	37	56	93	35	37	72	46	42	88	41	39	80	225	248	473	
	豊受小	58	51	109	37	42	79	48	57	105	46	52	98	54	50	104	47	47	94	290	299	589	
	北二小	13	12	25	18	14	32	18	22	40	12	20	32	18	13	31	15	24	39	94	105	199	
	殖二小	26	30	56	38	35	73	49	32	81	27	30	57	55	29	84	33	42	75	228	198	426	
	広瀬小	40	52	92	39	48	87	43	54	97	53	34	87	58	37	95	54	66	120	287	291	578	
	坂東小	44	36	80	40	45	85	37	56	93	36	35	71	45	44	89	55	42	97	257	258	515	
	宮二小	63	64	127	58	77	135	71	65	136	57	75	132	76	63	139	73	67	140	398	411	809	
	赤堀小	56	42	98	53	47	100	57	42	99	61	47	108	62	46	108	61	59	120	350	283	633	
	赤南小	61	42	103	47	45	92	52	56	108	64	37	101	43	51	94	60	48	108	327	279	606	
	赤東小	31	34	65	21	31	52	39	43	82	31	33	64	29	44	73	30	36	66	181	221	402	
	あずま小	44	42	86	42	52	94	42	46	88	42	52	94	44	46	90	54	53	107	268	291	559	
	あずま南小	71	41	112	51	51	102	54	61	115	53	48	101	58	48	106	41	61	102	328	310	638	
	あずま北小	46	43	89	38	42	80	41	44	85	37	44	81	42	37	79	40	34	74	244	244	488	
	境小	27	32	59	29	28	57	23	28	51	42	27	69	35	22	57	30	29	59	186	166	352	
	境采女小	24	36	60	26	28	54	30	43	73	35	43	78	30	39	69	36	27	63	181	216	397	
	境剛志小	30	31	61	40	29	69	30	37	67	28	25	53	34	29	63	43	41	84	205	192	397	
	境島小	0	1	1	1	0	1	1	0	1	1	1	2	1	0	1	1	3	4	5	5	10	
	境東小	29	30	59	34	31	65	25	25	50	35	18	53	37	27	64	28	24	52	188	155	343	
	小学計	1010	971	1,981	961	981	1,942	999	1068	2,067	1016	962	1,978	1091	977	2,068	1094	1035	2,129	6,171	5,994	12,165	
中学校	第一中	87	80	167	89	104	193	81	97	178											257	281	538
	第二中	102	98	200	103	104	207	114	98	212											319	300	619
	第三中	115	119	234	136	94	230	103	105	208											354	318	672
	第四中	100	106	206	103	99	202	100	98	198											303	303	606
	殖蓮中	93	85	178	104	108	212	94	84	178											291	277	568
	宮郷中	148	134	282	134	164	298	159	148	307											441	446	887
	赤堀中	122	139	261	138	117	255	143	129	272											403	385	788
	あずま中	135	122	257	143	147	290	129	126	255											407	395	802
	境北中	44	24	68	54	25	79	36	26	62											134	75	209
	境西中	32	36	68	45	42	87	37	36	73											114	114	228
	境南中	44	59	103	67	42	109	54	47	101											165	148	313
	中学計	1022	1002	2,024	1116	1046	2,162	1050	994	2,044											3,188	3,042	6,230

校種	学校名	1年生			2年生			3年生			4年生			5年生			6年生			男計	女計	合計
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
中等	四ツ葉学園	62	66	128	63	66	129	62	65	127	62	66	128	56	65	121	60	60	120	365	388	753

幼稚園

	園名	4歳児			5歳児			男計	女計	合計
		男	女	計	男	女	計			
幼稚園	第一	9	9	18	7	4	11	16	13	29
	南	6	5	11	7	3	10	13	8	21
	殖蓮	22	13	35	17	14	31	39	27	66
	茂呂	7	3	10	10	8	18	17	11	28
	三郷	8	6	14	8	9	17	16	15	31
	宮郷	15	15	30	16	16	32	31	31	62
	名和	7	4	11	10	5	15	17	9	26
	豊受	3	5	8	3	1	4	6	6	12
	あかぼり幼	21	18	39	23	24	47	44	42	86
	あずま幼	21	27	48	27	17	44	48	44	92
	幼稚園計	119	105	224	128	101	229	247	206	453

学 校 体 育 保 健

1 基本方針

- (1) 体力の向上
- (2) 健康・安全教育の推進
- (3) 食育の推進
- (4) 学校体育・保健関係団体の充実
- (5) 臨海学校の充実

2 重点施策

(1) 体力の向上

ア 指導の充実と環境づくり

各学校の体力の現状に応じて、児童生徒が自主的・継続的に体力向上に取り組めるよう指導の充実と環境づくりを図る。

イ 運動部活動の充実と指導者及び選手の育成

中学校における適正な部活動運営に基づき、学校と地域・家庭、外部指導者等と積極的に連携しながら、県・関東・全国大会に出場できる選手の育成を図る。

(2) 健康・安全教育の推進

ア 健康診断の充実と健康管理の徹底

健康診断の事前指導・事後措置を徹底し、児童生徒の健康状態を把握して、自己管理および健康の保持増進に努める。

日常の健康観察から、児童生徒の健康状態を的確に把握し、健康管理に努める。また、心身の健康問題を抱える児童生徒に対して、迅速に健康相談を実施し、問題解決にあたる。

感染症予防の観点から、基本的生活習慣の確立や予防教育を徹底指導し、蔓延防止に努める。また、定期予防接種の勧奨に努める。

イ 登下校における安全管理の徹底

伊勢崎市通学路交通安全プログラムに則り、通学路上の危険箇所を把握し、各学校・園と保護者、地域、関係各課、警察署、交通指導員、土木事務所等の連携による通学路の安全確保に努める。

交通安全については、自転車の安全利用（ヘルメット着用、一時停止励行等）の徹底を図るとともに、交通規則の厳守・励行の指導強化及び危険回避能力を育成するための安全教育の充実に努める。

ウ 自動体外式除細動器（AED）のメンテナンスと AED 普通救命講習会の受講

全学校・園へ配備された自動体外式除細動器（AED）のバッテリーやパッド交換のメンテナンスを行うとともに、各学校・園における普通救命講習会開催を促進し、万一の時に備えた万全の体制を整える。

エ 薬物乱用防止教育及び性教育（エイズを含む）の徹底

飲酒・喫煙・薬物乱用防止に関する正しい知識理解を深め、望ましい行動選択ができるよう関係機関と連携した薬物乱用防止教育の実施に努める。

発達段階に応じた性教育（エイズ含む）を実施し、自他の生命を重んじる指導の充実に努める。

オ 生活安全指導の徹底

各学校・園の部活動、クラブ活動、休憩時間等の日常生活における事故防止の徹底に努める。危機管理マニュアルの見直しを図り、避難訓練（火災・地震）、防犯訓練（不審者侵入）の充実に努める。

カ 学校安全、学校保健・学校給食の点検の徹底

学校安全、学校保健・学校給食の点検を例月実施して、その結果を点検集約票にまとめるとともに施設設備の遊器具の安全確保に努める。

（３）食育の推進

ア 望ましい食習慣育成のための食育の充実

「いせさき家族で『いただきます』の日」の推進を図り、基本的な生活習慣の確立、心身の成長や健康の保持増進、家族のコミュニケーションを通じた親子の信頼関係の構築等、豊かな人間形成の基礎づくりに努める。

イ 食に関する指導の充実

地場産農作物を活用した給食の提供や栄養教諭・学校栄養職員による食に関する指導の推進を図り、食に対する興味関心を高め、児童生徒自身の食生活の見直しに努める。

（４）学校体育・保健関係団体の充実

ア 小学校体育研究会の充実

児童の水泳・陸上記録会の開催とザスパクサツ群馬との体育実技講習会やなわとび指導者講習会等の実施及び研究会の充実を図る。

イ 中学校体育連盟の充実

春季大会、総合体育大会、新人大会の運営の充実と生徒の競技力の向上を図る。

ウ 学校保健会の充実

学校・医師会・歯科医師会・薬剤師会・保健所との連携を深め、児童生徒の健全育成の支援を図る。

エ 小・中学校体育主任会の充実

学校体育・保健体育の指導及び部活動等、児童生徒の体力向上に関して小・中学校並びに伊勢崎市教育研究所との連携を図る。



体育実技講習会

（５）臨海学校の充実

ア 集団宿泊学習の充実

海水浴の訓練、キャンプファイヤー、レクリエーション、水族博物館見学、係活動等を通して、集団行動の楽しさや秩序の大切さを指導する。

イ 臨海学校運営委員会・実施校合同会議の開催

臨海学校の充実、発展のために伊勢崎市・玉村町教育委員会と伊勢崎市・玉村町 29 校の連携と連絡を図る。

ウ 臨海学校指導者研修会の実施

臨海学校の目的を達成するために、入校学年の教諭等を対象とした事前研修の充実を図る。

エ 臨海学校金山海水浴場ボランティア清掃の実施

児童の活動場所である金山海水浴場の清掃をボランティア活動として行い、美化の一助とするとともに、臨海学校周辺地域への感謝の意を表する。

日本スポーツ振興センター

学校管理下における児童・生徒の負傷に備え、日本スポーツ振興センターに加入しております。

1. 月別災害発生件数（平成26年度）

（単位：件）

月 区別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
幼稚園	0	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	1	5
小学校	29	41	55	29	13	58	60	44	48	33	48	35	493
中学校	45	71	63	46	40	60	38	33	46	39	33	23	537
中等教育学校	6	7	7	3	5	11	3	10	4	6	1	0	63
合 計	80	119	127	79	58	130	101	87	98	78	82	59	1,098

2. 傷害発生件数（平成26年度）

（単位：件）

種別 区別	捻 挫		骨 折		打撲	挫傷・挫創	擦過傷	裂創・切傷	頭部外傷	脱臼	歯牙損傷	眼球外傷	その他	合 計
	上肢	下肢	上肢	下肢										
幼稚園	0	0	1	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	5
小学校	43	58	103	45	49	76	10	18	19	2	22	16	32	493
中学校	42	102	134	52	36	39	7	9	7	5	9	20	75	537
中等教育学校	4	5	12	5	14	4	1	0	2	2	2	2	10	63
合 計	89	165	250	103	100	119	18	29	28	9	33	38	117	1,098

3. 災害発生の場合別件数（平成26年度）

（単位：件）

場合別 区別	各教科 （保育中）	特別活動	部活動	休憩時間		始業前 授業終了 後	登下校中	その他	合 計
				業間	昼食時				
幼稚園	4	0	0	0	0	1	0	0	5
小学校	139	44	0	90	77	65	53	25	493
中学校	133	16	286	14	31	14	31	12	537
中等教育学校	19	0	27	0	0	2	9	6	63
合 計	295	60	313	104	108	82	93	43	1,098

四ツ葉学園中等教育学校

1 概要

所在地 群馬県伊勢崎市上植木本町 1702 番地 1
職員数 校長、副校長、教頭、事務長、教諭 63 人、養護教諭 2 人、事務職員 5 人 合計 74 人
生徒数 753 人（1 年 128 人、2 年 129 人、3 年 127 人、4 年 128 人、5 年 121 人、6 年 120 人）

2 教育理念

未来・世界にはばたく、高い知性と道徳性を身に付けた教養人を育成する。

3 教育目標

教育理念の実現に向け、4 つの目標（四ツ葉）を柱に、6 年間の一貫教育を推進する。

（1）自 学

高い志をもち、自ら考え、真理を追求する

（2）自 律

自由な精神のもと、自らを律し、正義を貫く

（3）共 同

共に学び合い、共に協力し合い、創造する

（4）共 生

博愛の精神のもと、個性を認め合い、共に磨き合える

4 特色ある教育

（1）中等教育学校のメリットを最大限に活用

- ① 6 年間の一貫教育で夢と希望を実現
 - ・発達段階に応じた 3 段階の学習ステージ（「**基礎期**」「**充実期**」「**発展期**」）
- ② 高校入試の影響を受けない教育活動
 - ・継続的・効率的な学習・部活動等の実施
- ③ 中等教育学校ならではの教員配置
 - ・前期課程から義務校及び高等学校にて経験豊かな教師をバランスよく配置
- ④ 上級生と下級生の交流の充実（**サポートリーダー制**）
 - ・上級生から下級生へ学習・生活・進路面等でのアドバイスを行う機会を設定
- ⑤ 教育効果を高める充実した施設
 - ・セミナーハウス（宿泊室・浴室・和室）、トレーニングルーム、進路指導室など

（2）一人ひとりの学力を徹底的に伸ばす SUP

学習習慣の定着や基礎学力の養成及び、さらなる学力向上のため、授業以外の学習時間として、スキルアッププログラム（SUP）を導入しています。毎朝の始業前に読書などを行う「**朝 SUP**」、放課後に学習内容を補充したり英検・数検・漢検などの検定試験学習をしたりする「**放課後 SUP**」、土曜日に各教科のさらなる学力向上を図る「**土曜 SUP**」、夏期休業中に基礎学力の強化や発展的学習による学力向上を図る「**夏季 SUP**」、夏期休業中に自学自習を行い、教科の先生方のサポートを受けることもできる「**合宿 SUP**」などを、年間を通して計画的に実施し一人ひとりの学力を伸ばします。

(3) 知的好奇心を高め、学ぶ意欲や喜びをつかみとるチャレンジ学習

伊勢崎市とカリキュラムパートナー関係にある企業及び大学や地域の方々と連携し、学校では学ぶことのできない専門的な知識や技能の習得にチャレンジする授業の実施など、特色ある教育活動を展開しながら生徒の知的好奇心を高め、学ぶ意欲や喜びを実感できるようにします。

1年生は、サンデン株式会社と連携し、環境についての探究学習「森に学ぶ」を行います。2年生は、早稲田大学と連携した「アカデミックキャンプ」において、「環境」「ものづくり」「伝統文化」「多文化理解」の4領域で最先端の知識・技能に触れる活動を行います。3年生は、首都圏の総合大学や一流企業を訪問する「キャリアディスカバリー」を行い、社会人としての資質の向上を図るとともに、一人ひとりの将来へのビジョンを具体化します。



(4) グローバル社会を見据え、世界で活躍のできる人材づくり

これからの世の中はグローバル化が一層進みます。子どもたちの視野を世界に広げ、国際社会で活躍できる生徒を育成します。

そこで、3年生の希望者30名は米国ミズーリ州スプリングフィールド市にあるミズーリ州立大学付属の語学学校（ELI）において、2週間の語学研修を実施します。

また、4年生は9月に2泊3日の「グローバルスタディーズキャンプ」を高山村で実施し、英語のコミュニケーション能力の向上とグローバル化する社会に対応する資質を培います。

5年生はミズーリ州立大学で11日間の海外グローバル



リーダー研修を実施します。現地ではグローバルな課題（環境、貧困など）についてフィールドワークを通して体験的に学びます。

5、6年生では、高齢化などの社会問題についてビジネスの観点から解決策を考える、ソーシャルビジネスについて学習します。これらの6年間の活動を通して、生徒の英語力の向上はもちろん、視野を世界に広げ、生徒が自分の未来に、そして世界にはばたいていける教育を推進します。

5 行事

月別	主な行事	月別	主な行事
4月	始業式、入学式、新入生歓迎会 中体連春季大会、避難訓練	10月	中間試験、学校公開 マラソン大会
5月	高校総体、中間試験、宿泊オリエンテーション(1年) 母校訪問(1年)、海外グローバルリーダー研修(5年)	11月	小学校対象入学者選抜説明会 キャリアディスカバリー(3年)
6月	学校説明会、進路セミナー 期末試験	12月	期末試験 合唱コンクール
7月	中体連総体、非行防止教室 学習合宿(後期)、夏季SUP(前期)	1月	百人一首大会 入学者選抜検査
8月	海外語学研修(3年) 合宿SUP(1年)、夏季SUP(前・後期)	2月	入学予定者オリエンテーション 社会人への取材活動(2年)、期末試験
9月	アカデミックキャンプ(2年) グローバルスタディーズキャンプ(4年)	3月	卒業式、関西伝統文化研修(3年) 終業式、春季SUP

教育研究所

1 概要

- (1) **根拠条例** 伊勢崎市教育研究所条例（平成 17 年 1 月 1 日条例第 95 号）
伊勢崎市教育研究所条例施行規則（平成 17 年 1 月 1 日教育委員会規則第 28 号）

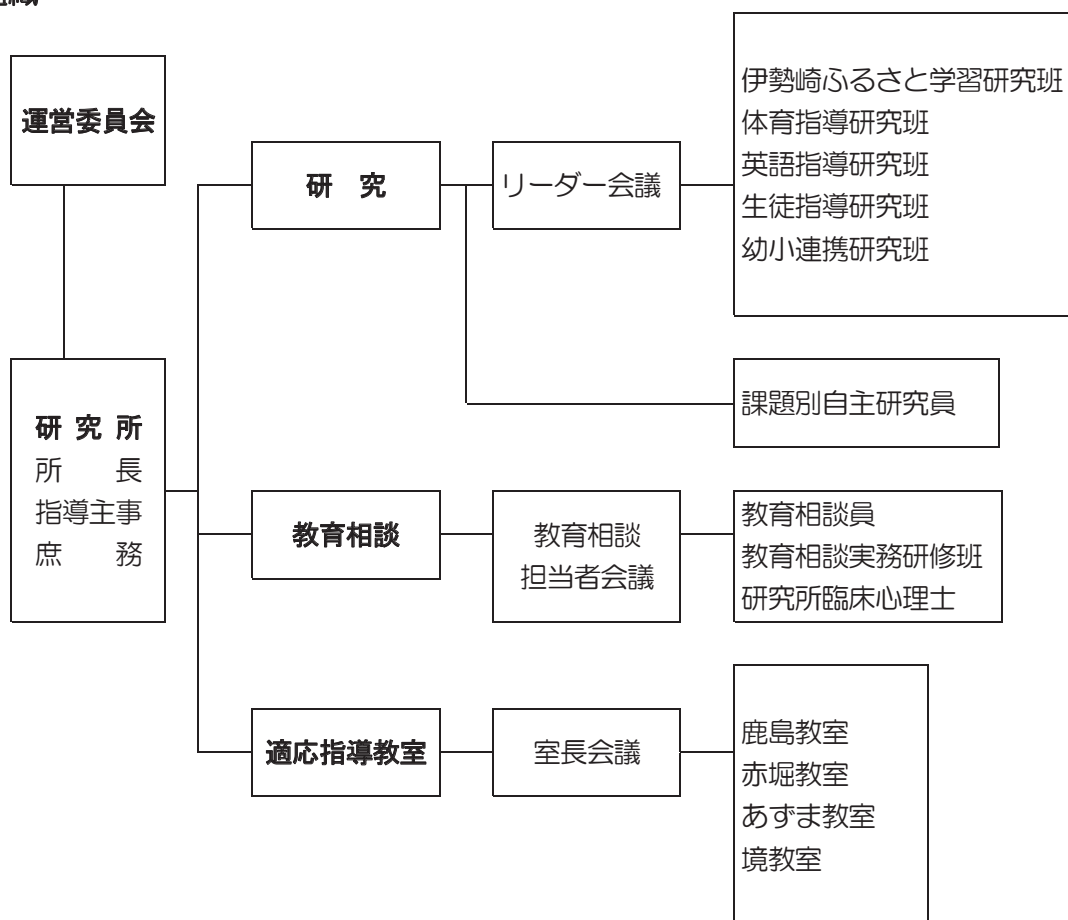
(2) **基本方針**

伊勢崎市教育行政方針を踏まえ、教職員の資質の開発、向上及び学校教育の課題解決に寄与するために、研究事業、教育相談事業、不登校対策事業、研修講座事業、教育資料提供事業を実施する。

(3) **努力点**

- ア 学校の教育課題の即時解決に向けた情報発信及び情報収集に努める。
イ 教育相談体制の改善・充実に努める。
ウ 不登校児童生徒の集団への適応力を培うために、体験活動を重視するなど子どもに寄り添った指導を行う。

(4) **組織**



〈運営委員会〉	小学校長顧問、中学校長顧問、幼稚園長顧問、 小学校教頭顧問、中学校教頭顧問 学校教育課長、教育企画係長、教職員係長、指導係長、管理主事、指導主事、 所長、研究所担当指導主事
〈リーダー会議〉	研究班リーダー、所長、研究所担当指導主事
〈教育相談担当者会議〉	教育相談員、教育相談実務研修員、教育相談担当指導主事、 研究所担当指導主事、研究所臨床心理士
〈室長会議〉	適応指導教室室長、所長、研究所担当指導主事

2 研究事業

(1) 研究班

ア 研究テーマ

(ア) 伊勢崎ふるさと学習研究班

「自分たちの生活する「ふるさと伊勢崎」に目を向け、生き生きと学ぶ子どもの育成」
～「地域人材」の活用に着目した指導計画の作成を通して～

(イ) 体育指導研究班

「運動好きな児童の育成」
～ともに体を動かす仲間づくりの実践を通して～

(ウ) 英語指導研究班

「小中一貫英語力向上カリキュラムの作成を目指した英語指導の充実」

(エ) 生徒指導研究班

「いじめ・不登校の未然防止に関する実践的研究」
～自分の居場所のある温かい学級づくりを通して～

(オ) 幼小連携研究班

「幼小の滑らかな接続を図るための実践的研究」
～学ぶ意欲を育てる活動の実践を通して～

(カ) 課題別自主研究班

日本語指導が必要な児童生徒に対する「特別の教育課程」の編成に向けた取組と、評価参照
枠を基にした個に応じた指導方法について実践を通して検証する。

・「特別の教育課程」の編成に向けた実践的研究

イ 研究日及び研究時間

水曜日 15：30～16：45

ウ 研究の報告

○随時、教育研究班だより等により発信。

○年度ごとに研究の記録としてまとめる。

3 教育相談事業

(1) 教育研究所教育相談員による教育相談

○学校及び適応指導教室との連携に努める。

○教育相談実務研修員と協力しながら教育相談に努める。

(2) 教育相談実務研修員による教育相談

○教育相談技術の向上と教育相談技術中級以上の取得を目指す。

○火～金曜日（14:30～16:45）に教育研究所教育相談員と2人体制で実施する。

4 不登校対策事業

(1) 適応指導教室の運営

○乗馬体験や自然体験活動等の体験活動を効果的に取り入れ、児童生徒相互のかかわり合いを深める
ことにより、集団に適応する力を培う。

○サポートケース会議を活用し、専門家から得た助言等を指導・支援に生かす。

○室長会議や教育相談研究協議会を定期的開催し、適応指導教室間及び適応指導教室と学校・家庭・
関係機関との連携を図ることにより、不登校の未然防止・早期解決に努める。

(2) サポートケース会議

○不登校児童生徒の自立及び学校復帰にかかわる諸問題の早期解決を目指し、心療内科医師、臨床心理士、児童相談所職員等の専門家を招聘し、今後の支援等について協議する。

(3) 教育相談研究協議会

○学校関係者との共通理解の下、以下の内容について重点的に研究協議し、不登校・いじめの未然防止、早期発見に努める。

- ・適応指導教室と学校・家庭・関係機関との具体的な連携のあり方について。
- ・不登校問題の未然防止、不登校の早期解決に向けた取り組み方について。

5 研修講座事業

(1) 教育相談研修講座

- 期 日 年間計画により実施（年9回12講座程度）
- 内 容 教育相談技術初級取得並びに教育相談技術の向上のための講座
- 対 象 各幼稚園、各学校から初級未取得者1名程度

(2) 幼稚園夏季研修講座

- 期 日 7月24日（金）の午後実施
- 内 容 幼稚園教員の資質の向上と幼稚園の教育内容及び指導方法の工夫改善・充実
幼稚園の保育と小学校の学びが滑らかに接続していける指導方法の工夫
- 対 象 各幼稚園 園長・教頭・教諭（市内私立幼稚園等への紹介）
各小学校 主に小学校1年生担任

(3) 夏季研修講座

- 期 日 8月6日（木）、7日（金）の午後実施
- 内 容 市教育課題の解決（社会で求められる能力等）
- 対 象 各小・中学校から、教職経験年数や校務分掌に応じて2人以上の参加者を募集
教育研究所研究員・研修員
各幼稚園 園長・教頭・教諭（市内私立幼稚園等への紹介）
学校経営研修講座受講者

(4) 特別研修講座

- 期 日 10月7日（水）の午後実施
- 内 容 市教育課題の解決（学力向上等）
- 対 象 教育研究所研究員等

(5) 研究所研修講座

- 期 日 5月21日（木）、6月5日（金）、9月3日（木）、10月27日（火）、11月10日（火）
1月21日（木）の午後実施
- 内 容 学校教育が抱える課題と改善策をテーマに講師を招聘し、講習会を実施する。
- 対 象 各学校（園）から、教職経験年数に応じて自主参加者を募集（臨時含む）

6 教育資料提供事業

- (1) 教育資料の整備・充実
- (2) 学校及び市民への情報提供

7 その他

- (1) 群馬県総合教育センター、群教連、関教連との連携
- (2) その他の機関との連携

Ⅳ 学校給食



Ⅳ 学校給食

給食準備の様子

学校給食の充実

1 基本方針

発育期にある児童・生徒が健全な心と身体を培い、未来や国際社会に向かって羽ばたくことができるようにするとともに、心身の健康を確保し、生涯にわたって生き生きと暮らすことができるようにすることが大切です。

2 重点施策

(1) 学校給食を活用した食育指導の充実

- ア 栄養教諭、学校栄養職員による食に関する指導の実施
- イ 地場産農作物を利用した給食の提供

(2) 平成 27 年度給食実施計画

ア 給食実施校

幼稚園	2 園
小学校	24 校
中学校	11 校
特別支援学校	1 校
計	38 校 (園)

給食予定回数 幼・小・中・特別支援学校 200 回以内



小学2年生対象にTT授業の様子
特別活動「給食ができるまで」

調 理 場	給 食 対 象 校
第一学校給食調理場 (給食能力 9,000 食)	南小学校・茂呂小学校・名和小学校・豊受小学校・広瀬小学校・ 坂東小学校・特別支援学校 (小学部)、第一中学校・ 第二中学校・第四中学校・特別支援学校 (中学部) 10 校
第二学校給食調理場 (給食能力 9,000 食)	北小学校・殖蓮小学校・三郷小学校・宮郷小学校・北第二小学校・ 殖蓮第二小学校・宮郷第二小学校、 第三中学校・殖蓮中学校・宮郷中学校 10 校
赤堀学校給食調理場 (給食能力 2,500 食)	あかぼり幼稚園、赤堀小学校・赤堀南小学校・赤堀東小学校、 赤堀中学校 5 校
あずま学校給食調理場 (給食能力 2,700 食)	あずま幼稚園、あずま小学校・あずま南小学校・あずま北小学校、 あずま中学校 5 校
境第一学校給食調理場 (給食能力 2,000 食)	境小学校・境島小学校・境東小学校、 境南中学校 4 校
境第二学校給食調理場 (給食能力 3,000 食)	境采女小学校・境剛志小学校、 境北中学校・境西中学校 4 校

イ 給食費

年間給食回数 200 回以内
 幼稚園 (旧佐波) 年間 44,400 円 小学校 年間 44,400 円
 中学校 年間 53,000 円

ウ 給食の状況（平成27年4月現在）

区 分	第一学校 給食調理場	第二学校 給食調理場	赤堀学校 給食調理場	あずま学校 給食調理場	境第一学校 給食調理場	境第二学校 給食調理場
幼稚園園児数			86	91		
幼稚園職員数			8	10		
小学校児童数	3,260	4,054	1,638	1,684	695	795
小学校教職員数	199	262	112	109	67	56
中学校生徒数	1,755	2,101	787	789	307	433
中学校教職員数	127	140	53	57	29	45
特別支援学校 児童生徒数	131					
特別支援学校 教職員数	78					
調理場職員数	37	40	22	19	15	12
合 計	5,587	6,597	2,706	2,759	1,113	1,329

エ 栄養摂取基準量

区 分	小 学 校 (中学年)	中 学 校	1日の栄養所要量に対する 学校給食の割合(%)
エネルギー(Kcal)	640	820	33
たんぱく質(g)	24	30	12~20
脂質(%)	学校給食による摂取エネルギー全体の25%~30%		
食塩相当量(g)	2.5未満	3.0未満	33%未満
カルシウム(mg)	350	450	
鉄(mg)	3	4	33
マグネシウム(mg)	80	140	50
食物繊維(g)	5.0	6.5	
亜鉛(mg)	2	3	33
ビタミンA(μgRE)	170	300	40
ビタミンB1(mg)	0.4	0.5	40
ビタミンB2(mg)	0.4	0.6	40
ビタミンc(mg)	20	35	33



「いせさき家族でいただきます」
わが家のおすすめレシピ受賞
作品の献立

【献立名】

食パン、牛乳、ココアクリーム、
野菜たっぷりチキンのトマト煮、
こふき芋、
はくさいとミートボールのスープ

オ 学校給食運営委員会 委員数 15人

事業計画に関する事項、学校給食費に関する事項、その他学校給食センターの運営に関し、必要な事項を審議する。

会議は、年2回以上開催する。

カ 学校給食年間指導計画

平成27年度の教育行政方針に基づき、学校給食の充実を図るため、学校給食年間指導計画を作成し、成長過程にある児童・生徒が、食生活の正しい理解と望ましい食習慣を身に付けられるよう、学校栄養士による食に関する指導を行う。

平成27年度 学校給食年間指導計画

月	目 標	ね ら い	学級訪問 放送資料 掲示物 等	献立作成		
				献立作成 の留意点	おもな行事	群馬県の伝統食 日本の郷土料理 世界の料理 リクエスト給食
4	給食について知ろう	給食時の身支度や配膳の方法、食事のマナーを知り、楽しい学校給食にしよう	学校給食について・入学、進級祝い・ごまようし・京都府	旬の食べ物	入学・進級	伝－ごまようし 郷－京都府
5	衛生に注意しよう	手洗いの仕方や身支度、食中毒予防について考える	衛生について・端午の節句・こんにやく・福岡県・トルコ	日本型食生活	端午の節句	伝－みそおでん 郷－福岡県 世－トルコ
6	よくかんで食べよう	歯の働きについて知り、よくかんで食べることの大切さを知る	歯と口の健康週間・混ぜごはん・宮城県・イタリア	かみごたえのある食べ物	歯と口の健康週間 食育月間	伝－混ぜごはん 郷－宮城県 世－イタリア リクエスト
7・8	夏の健康と食生活について考えよう	夏の食事と健康について考え、暑さに負けない体をつくる	夏の食事について・七夕・沖縄県・インド	食欲増進	七夕	郷－沖縄県 世－インド
9	食生活の見直しをしよう	朝食の大切さを知り、望ましい食習慣を身につける	鉄分について・十五夜・あまねじ・韓国・愛知県	鉄分強化	お月見運動会	伝－あまねじ 世－韓国 郷－愛知県
10	群馬県の食と農を知ろう	群馬県や伊勢崎の特産物について知り、食と農に興味関心を抱く	学校給食ぐんまの日・焼きまんじゅう・青森県	地場産物活用	学校給食ぐんまの日	伝－焼きまんじゅう 郷－青森県
11	感謝して食べよう	食べ物の命や給食が届くまでに関わる人へ感謝して食べ、食べ残しについて考える	食物繊維について・いせさき家族でいただきますの日・呉汁・鹿児島県	食物繊維強化	収穫祭	伝－呉汁 郷－鹿児島県 リクエスト
12	冬の健康と食生活について考えよう	冬の食事を考え、寒さに負けない体をつくる	体を温める食材について・冬至・おつきりこみ・北海道	ビタミン強化	冬至	伝－おつきりこみ 郷－北海道
1	給食の歴史を知ろう	給食の生い立ちと歩みを知り、給食に関心を抱く	学校給食週間・小正月・鏡開き・すいとん・ドイツ	旬の食べ物	小正月 鏡開き 学校給食週間	伝－すいとん 世－ドイツ
2	バランスの良い食事をしよう	バランスのよい食事の摂り方について知り、好き嫌いなく食べる	大豆・大豆製品について・節分・伊勢崎銘仙・秋田県	大豆・豆製品強化	節分	伝－伊勢崎神社コロッケ 郷－秋田県 リクエスト
3	1年間の給食の反省をしよう	自分の食生活を見直し、改善しようという意欲を持つ	食生活を振り返ろう・ひな祭り・卒業祝い・ぼたもち・新潟県	栄養バランス	ひな祭り 卒業祝い	伝－ぼたもち 郷－新潟県

月	地場産・季節の食べもの	教科・学級活動 (食生活教材)	家庭・地域との連携
4	～春～ 菜の花・みつば・春キャベツ・ たけのこ・にら・さわら・新玉ねぎ・清見オ レンジ他	学活 楽しい給食が始まるよ(小1)	給食だより
5	～春～ アスパラ・たけのこ・さやえんどう・ 夏みかん・グリーンピース・あじ・かつお・河 内晩柑・いわし他	保健 けがの防止(5年) 保健 病気の予防(6年) 家庭科 見直そう！毎日の食事(6年) 学活 望ましい食習慣を身に着けよう(中1) 学活 食の自己管理を身に着けよう(中3)	給食だより
6	～夏～ アスパラ・さやえんどう・トマト・なす・か つお・とうもろこし・河内晩柑・梅・たこ他	学活 おはようんち(小3) 学活 よくかんで食べよう(小4) 食の自己管理能力を身に着けよう(中2)	① 給食だより「食育月間」
7・8	～夏～ ピーマン・パプリカ・いんげん・ かぼちゃ・とうもろこし・枝豆・なす・ すいか・たこ他	保健 けんこうな生活(3年) 保健 育ちゆくわたし(4年) 学活 おいしいおやつどんな食べ方がいいのかな (小2)	給食だより
9	～初秋～ 秋なす・いわし・ぶどう・プルーン・おは ぎ・なし他	社会 はたらく人とわたしたちのくらし(3年) 社会 住みよいくらしをつくる(4年) 学活 やさいとなかよし(小2) 学活 一日のスタートは朝ごはんから(小5)	給食だより
10	～秋～ さつまいも・きのこ・ごぼう・ れんこん・さといも・栗・さんま さけ・さば・柿・りんご他	家庭科 まかせてね！きょうのごはん 学活 家庭や地域に伝わる料理を大切にしよう (4年) 学活 郷土料理を知ろう(中2)	②給食だより『学校給食ぐん まの日』
11	～秋～ さつまいも・さといも・ごぼう・きのこ さけ・さば・ほっけ・りんご他	国語 すがたを変える大豆(小3) 国語 アップとルーズ(小4) 学活 元気のひみつはなあに？(小1)	③給食だより『感謝して食べ よう・いせさき家族でいただ きますの日』
12	～冬～ ほうれん草・小松菜・白菜・にんじん・下 植木ねぎ 春菊・ごぼう・かぶ・みかん他	学活 健康を考えたおやつ(小6)	給食だより』
1	～冬～ ほうれん草・小松菜・白菜・ねぎ・にんじ ん・ブロッコリー・ぶり・わかさぎ・鮭	学活 日本食のよさをみつけよう(小5)	④給食だより『給食の歴史 を知ろう』
2	～冬～ 大根・小松菜・菜の花・水菜・ カリフラワー・さわら・あさり他	学活 バランスよく食べよう(小3) 学活 どんな食べ方がいいのかな(小6)	給食だより
3	～冬～ 菜の花・キャベツ・あさり・ いちご・いよかん・ぼたもち他		給食だより

3 平成 26 年度実績

(1) 学校給食を活用した指導の充実

ア 栄養士による食に関する指導の推進

(ア) 給食時の指導

	調理場名	回 数
1	第一学校給食調理場	71 回
2	第二学校給食調理場	217 回
3	赤堀学校給食調理場	264 回
4	あずま学校給食調理場	244 回
5	境第一学校給食調理場	61 回
6	境第二学校給食調理場	11 回

(イ) その他の指導

	主な指導内容	回 数
1	学校保健委員会等における講師	31 回
2	小・中学校家庭科授業等の講師	148 回
3	P T A 等給食試食会の講師	26 回
4	P T A 等給食試食会の参加者	1,071 人

イ 地場産農作物を活用した給食の提供 (伊勢崎佐波管内産)

調理場地区	平成 25 年度実績			平成 26 年度実績		
	総使用量	地場産使用量	比 率	総使用量	地場産使用量	比 率
伊勢崎地区	382,600kg	185,300kg	48.4%	389,700kg	171,200kg	43.9%
赤堀地区	79,500kg	28,700kg	36.1%	83,500kg	34,500kg	41.3%
あずま地区	81,000kg	40,400kg	49.9%	83,800kg	41,800kg	49.8%
境地区	79,000kg	29,600kg	37.5%	81,800kg	31,700kg	38.8%
全地区	622,100kg	284,000kg	45.7%	638,800kg	279,200kg	43.7%
	平成 25 年度目標		30.0%	平成 26 年度目標		30.0%

※平成 24 年度から伊勢崎市内で収穫された米を米飯給食に 100%使用しています。

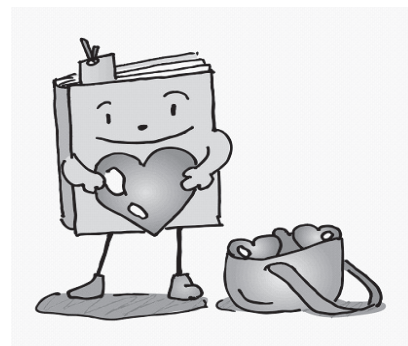


殖蓮小学校 3 年生児童と伊勢崎市農業会議所による学校給食用ジャガイモの寄贈

殖蓮小学校 3 年生のジャガイモ収穫体験



V 生涯学習



読書の街いせさきイメージ
キャラクター「ブックくん」



映画「じんじん」上映会

生涯学習の充実

1 基本方針

市民の多様な学習意欲に応え、市民が主体となった学習機会を支援することで、いつでもどこでもだれもが生きがいを持ち学べる環境づくりに努めます。

2 重点施策

(1) 市民が主役の生涯学習の充実

- ア 学習活動の支援
- イ 学習機会の拡充
- ウ 学習環境の充実

(2) 子どもの徳育の充実

- ア 家庭教育・人権教育を通じた地域の教育力の向上
- イ 地域ぐるみの子どもの健全育成

(3) 読書の街づくりの推進

- ア 本がっなぐ仲間づくりの推進

3 平成 26 年度事業実績

(1) 市民が主体となった学習機会の支援

ア 学習支援体制の整備

(ア)生涯学習支援事業

事業名	趣 旨	実施期日	対 象	参加者数
生涯学習大会	学びの楽しさを伝え、地域の学びの輪を広げることを目的に、市民グループによる学びの成果を活かしたステージ発表や、まなびい先生の作品展示、地域の生涯学習活動の取り組みの紹介や読書の街いせさきの啓発活動等を通して、生涯学習の推進、充実をめざす。(会場 境総合文化センター) ○ステージ発表 各地区から選出された団体の発表と、生涯学習支援ボランティアまなびい先生の発表 ○ロビー展示 生涯学習支援ボランティアまなびい先生の作品展示 (パソコン絵画・ポーセラーツ・押し花・フラワーアレンジメント、工芸盆栽・パステル和アート・ぐんま島村蚕種の会の写真展示等) 生涯学習の取り組み、読書啓発パネル展等 茶道サークルからの抹茶サービス	1 月 17 日	市 民	860 人

事業名	趣 旨	実施期日	対 象	参加者数
出前講座	「伊勢崎をもっと元気に、もっと豊かに、もっと安全に」のまちづくりを基調に、市民の学習活動を支援するために、市民の求めに応じて市職員を講師として派遣し、市の施策等を情報提供した。 43課、59のメニュー、申し込み件数111件	4月～3月	市 民	5,619 人
生涯学習 支援ボラン ティア まなびい 先生	地域で活動している人たちの知識や技術・技能を登録、データベース化し活用していくことで、「いつでも」「どこでも」「だれもが」「なんでも」教え合う市民版出前講座を開設し、市民の手による学びの輪を広げ学習機会の充実をめざした。 まなびい先生登録者 123 人 メニュー数 166 件 活用件数 134 件	4月～3月	市 民	6,579 人
	楽しく学びを実践していくために、生涯学習支援ボランティアまなびい先生自らが企画し、市民へ身近な学びの場を提供する「まなびい先生自主企画事業まなびい塾」を開催した。 12 講座 延べ 37 回	4月～3月	市 民	283 人
高等教育 機関との 連携事業 (公開講 座)	地域の教育的機能を持つ上武大学並びに東京福祉大学との連携を図り、市民の自己啓発を推進するための公開講座を開催した。 ・上武大学「スポーツコンディショニング講座」(全5回) ・東京福祉大学「健康等に関する6講座」	上武大学 2月9日 ～ 2月23日 東京福祉大学 9月27日 ～ 11月29日	市 民 市 民	延べ24人 延べ227人
生涯学習 だより 「まなび い」の発 行	編集ボランティアの協力を得て、生涯学習情報誌「まなびい」を年2回発行し、毎戸配布している。 編集ボランティア 6人 編集会議 8回	発行日 9月16日 3月16日	市 民	発行部数 155,750 部



まなびい塾「頭の柔軟体操」



出前講座「田島弥平旧宅について」

イ 公民館による学習機会の提供

市民にとってもっとも身近な社会教育施設（生涯学習施設）として、利用者ニーズを把握しながら各種学級・講座を企画実施し、学習機会の提供を行った。

また、生涯学習ボランティアなど地域活動サークルの育成や各種行政団体等との連携を行った。

(ア) 公民館運営審議会

社会教育法第 29 条に基づく公民館運営審議会を設置し、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議を行った。

◆構成メンバー 学校教育関係者 1 人、社会教育関係者 21 人、家庭教育の向上に資する活動を行なう者 3 人、学識経験者 5 人の計 30 人

◆開催回数 4 回

(イ) 公民館による学級・講座開設

事業名	主な内容	参加者数	実施公民館
セカンドライフセミナー	急激に変化する社会の中で、高齢者が豊かで生きがいのある生活を過ごすための学習。(料理教室・輪投げ教室等)	1,941 人	北、南、殖蓮、茂呂、三郷、宮郷、名和、豊受、赤堀、あずま、境、境剛志、境島村、境東
女性学級	女性としての視野を広め、社会における役割を考える。(ビーズアクセサリ教室・フラワーアレンジメント教室等)	2,049 人	北、南、殖蓮、茂呂、三郷、宮郷、名和、豊受、赤堀、あずま、境、境采女、境剛志、境島村、境東
家庭教育学級	幼稚園児、小中学校の児童生徒の親を対象に、心身ともに健康な子どもの育成を目指して、子どもの育て方、親のあり方を学ぶ。(親子体操教室・読み聞かせ教室等)	4,845 人	北、南、殖蓮、茂呂、三郷、宮郷、名和、豊受、赤堀、あずま、境、境采女、境剛志、境島村、境東
子どもクラブ	学校週 5 日制の実施を踏まえ、様々な活動を通して、子ども達の自主性、社会性を養う。(子ども農業体験・子ども将棋教室等)	3,897 人	北、南、殖蓮、茂呂、三郷、宮郷、名和、豊受、赤堀、あずま、境、境采女、境剛志、境島村、境東
健康促進講座	スポーツ等を通して地域住民の交流と健康増進を図る。(スポーツ吹矢教室・ウォーキング教室等)	1,926 人	北、南、殖蓮、茂呂、三郷、宮郷、名和、豊受、赤堀、あずま、境、境采女、境剛志、境島村、境東
I T 講習	急激な I T 社会に住民が十分対応できるよう基礎技能を修得する。(ワード、エクセル講座・インターネット講習等)	2,374 人	北、南、殖蓮、茂呂、三郷、宮郷、名和、豊受、赤堀、あずま、境、境采女、境島村、境東
市民講座	多角的な視点からの学習を通して、総合的な教養と学習意欲の充実を図る。(文化歴史散歩・外国語教室等)	4,949 人	北、南、殖蓮、茂呂、三郷、宮郷、名和、豊受、赤堀、あずま、境、境采女、境剛志、境島村、境東
第 13 期あかぼり大学塾	住民の多種多様なニーズに応えるために設立され、共通する課題を教授・生徒で共に学ぶことにより、住民相互の交流を図る。	14,755 人	赤堀
市民教養講座	著名人による講演会の実施により、知識・教養を高める。講師 あき竹城	600 人	

(ウ) 地域団体等との連携

各公民館が地域の各種行政団体、青少年育成関係団体、社会体育関係団体と連携を図り、納涼祭や文化祭、運動会等、地域住民の交流を支援し、地域づくり、ふるさとづくりの推進に努めた。

(エ) 公民館の利用状況

公民館名	公民館事業		サークル支援事業			各種団体事業		計	
	主催・共催事業 (学級・講座)		サークル活動			各種団体活動			
	開催 件数	参加者 数	サー クル 数	利用 件数	利用 者数	利用 件数	利用 者数	開催・ 利用 件数	参加・ 利用 者数
北	件 93	人 1,861	件 62	件 2,130	人 29,574	件 263	人 6,122	件 2,486	人 37,557
南	59	968	44	1,025	16,525	170	3,957	1,254	21,450
殖蓮	113	3,140	64	1,532	25,271	465	18,341	2,110	46,752
茂呂	88	1,769	39	923	11,683	256	12,663	1,267	26,115
三郷	74	1,149	45	1,321	18,433	313	9,536	1,708	29,118
宮郷	101	3,625	53	1,640	20,706	549	23,567	2,290	47,898
名和	66	1,391	41	1,174	11,038	304	14,209	1,544	26,638
豊受	72	1,095	45	1,483	18,796	258	16,781	1,813	36,672
赤堀	1,454	16,845	49	1,417	13,801	580	19,160	3,451	49,806
あずま	194	4,641	92	2,343	24,475	567	24,576	3,104	53,692
境	20	537	62	862	10,521	116	2,179	998	13,237
境采女	34	551	26	714	7,550	137	6,869	885	14,970
境剛志	33	579	32	1,190	13,573	162	7,303	1,385	21,455
境島村	43	852	17	346	3,113	143	4,140	532	8,105
境東	46	974	35	1,159	13,343	182	6,401	1,387	20,718
計	2,490	39,977	706	19,259	238,402	4,465	175,804	26,214	454,183



ハワイアンキルト教室



子ども農業体験教室

(2) 生涯学習推進体制の整備

事業名	趣 旨	実施期日	対 象	参加者数
生涯学習推進協議会	生涯学習の推進に関する施策について広く市民の意見を求めるとともに、生涯学習の普及を図る。	5月26日	委 員	34人
生涯学習推進協議会幹事会	推進協議会の下部組織として生涯学習に関する計画・立案及び調整を行う。	4月24日	委 員	16人
生涯学習推進員	地域住民のニーズや実態に応じた生涯学習活動の世話役として区長より推薦され、その役割は行政区にある既存の生涯学習活動への支援、学習情報の提供、地域の人材発掘と活用など、地域における生涯学習のまちづくりの中心として生涯学習推進の一翼を担う。	年 間	生涯学習推進員	170人
生涯学習推進員研修会	地域の学びのボランティアとして活躍する生涯学習推進員の資質の向上を目指し、出前講座で「田島弥平旧宅について」を学び、生涯学習支援ボランティアまなびい先生「虹の会」の活動を見学した。	10月5日	生涯学習推進員	90人
生涯学習推進事業	地域に根ざした生涯学習の確立を目指し、各行政区の生涯学習推進員さんを中心に、市民一人ひとりが生きがいをもって積極的に参加できる身近な学習づくりを推進するために具体的な活動を展開する。(各行政区と生涯学習推進事業委託を結び推進している)	年 間	市 民	170行政区
赤石楽舎活用推進事業	赤石楽舎の利用については、北小学校の児童が授業で使用したり、地域の文化・スポーツサークルの方々が、子ども達を交えた活動を実施。 また、生涯学習支援ボランティアまなびい先生による自主企画事業「まなびい塾」や、伊勢崎燈華会、伊勢崎銘仙の日等の市民団体によるイベント会場としても活用。 利用件数 1,426件	年 間	市 民 子 ども	71,272人

(3) 社会教育の充実

充実した余暇を過ごすために、今日的な課題や社会連帯の意識の高揚、積極的な社会参加、生きがいを実現するための学習をととして、社会の変化に対応し、心豊かな市民の育成をめざす。

ア 社会教育委員会の開催

社会教育委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から選出され、社会教育に関する諸計画を立案、審議した。

委員 20人 年4回 開催

イ 子どもの健全育成と家庭教育の充実および地域づくりへの支援

事業名	趣 旨	実施期日	対 象	参加者数
子どもの健全育成	少年の主張大会	市内中学生が日頃感じている事や夢、希望などの発表を通して社会の一員としての自覚を高めると共に少年に対する市民の理解を求める。併せて境南中学校吹奏楽部によるミニコンサートを実施した。	6月28日	中学生 市 民 発表者 12人 参加者 362人
	放課後子ども教室推進事業	放課後の子どもたちの安全安心な居場所を設け、地域の方々の参画を得て勉強や体験活動などを行う。 北小学校地区で31日間実施	5月～3月	対象者 児童延べ 1,162人 教育活動推進員等延べ 123人
	養護学校等青年教室	養護学校等卒業生の青年を対象に手をつなぐ育成会と連携を図り、社会人として自立していくための書道教室等を開催した。	10月～1月	対象者 148人
	定時制教育振興事業	伊勢崎佐波地区における定時制教育の振興を図る、生徒への文化、スポーツ活動を支援した。	4月～3月	対象者 96人
家庭教育振興事業	家庭教育人権教育推進委託事業	幼稚園・小中中等特別支援学校PTAに対し、家庭教育と人権教育の推進事業を委託した。	4月～3月	幼稚園・小中中中等特別支援学校PTA会員
	家庭教育講演会	教育委員会、教育振興会、市PTA連合会の共催により、ティアラ21女性クリニック理事長・院長の中山政美先生を招き、「私達が大人として若者達に伝えなければならないこと」と題した家庭教育講演会を実施した。	10月18日	市 民 188人



少年の主張大会



北小学校赤石楽舎放課後子ども教室

ウ 読書の街いせさき推進事業

地域や家庭、学校に読書活動を普及し本に親しむ活動を定着させる。

事業名	趣 旨	実施期日	対 象	参加者数
親子ふれあい読書活動の推進	一冊本を読んだら、読書マラソンカードにシールをはり、30枚はると、読書マラソン完走。それを市の図書館に提出、記念品と交換することで、親子での読書活動のきっかけづくりを行った。	年 間	親 子	7月～3月 マラソンカード 提出数 1,135枚
親子でぴよんぴよん事業	幼児期から本に親しむことを目的に、乳幼児の10ヶ月検診時に絵本を配布するブックスタート事業のフォロー事業として、地域の読み聞かせグループと連携を図り、公民館の子育て支援事業として実施した。	年 間	幼児・幼児 を持つ親	70回 延べ1,862人
家族ふれあい読書新聞の募集	各家庭で取り組んできた読書活動を振り返るきっかけ作りとして、家族ふれあい読書新聞の募集をした。また、応募作品の選考については、市PTA連合会読書推進委員会に依頼し、選考を実施した。	7月～9月	小・中学生 ・ 一般	149点の応募 20点の入賞
いせさき街角文庫の展開	「街が図書館」をスローガンに、市民がいつでも、どこでも本に親しめる場所を市内に作り、読書活動を通して、市民が交流できる場の確保と地域の活性化を図るために、駅や趣旨に賛同する事業所などに設置した。市民から提供された本を活用し、市民ボランティアの手による配本、並びに書棚の整理整頓活動を行った。	年 間	市 民	市内12ヶ所 4,104冊利用

事業名	趣 旨	実施期日	対 象	参加者数
イベントにあわせた読書の街いせさきの啓発	赤石楽舎「サマーフェスタ」 七夕まつりの開催に合わせ、読書サポーターによる絵本の読み聞かせ、まなびい先生による講座、まゆドーム職員による体験活動等を実施した。	7月19日	市 民	来場者 300 人
読み聞かせボランティア交流会	読み聞かせに関心のある方、市内で活動する読み聞かせボランティア等の交流を深めるために、読み聞かせボランティア交流会を実施した。	3月18日	市 民	32 人
読み聞かせスキルアップ講座の開講	地域や学校で読み聞かせを行っている読書ボランティアを対象にしたスキルアップ講座を実施した。	2月17日	市 民	33 人
まゆドームでの読み聞かせ	読書サポーターの協力を得ながら来園者への読み聞かせを実施した。	第二土曜日	市 民	計 21 回 370 人
幼稚園での読み聞かせ	市民読書サポーター（読み聞かせボランティア）による市立幼稚園での読み聞かせを実施した。	各園ごと	幼稚園児	計 79 回 3,282 人
いせさき読書まつり	読書の街いせさきの象徴的事業として、絵本作家による講演会、読書感想画展、読書サポーターの読み聞かせなど、子どもから大人まで楽しめる本に親しむ様々な活動を展開した。 （１）発表・展示 ○読書サポーターの読み聞かせ ○家族ふれあい読書新聞入賞作品展示と入賞者の交流会 ○講演会「絵本&おてて絵本読みまショー～お話で寄り添う心と心～」 講師 サトシン さん ○小・中学生の読書感想画の展示 ○伊勢崎市親子が推薦する図書 101 の展示 ○伊勢崎の民話に触れよう、民話の読み聞かせ ○戦後のベストセラーの展示	3月7日 市 民 800 人  家族ふれあい読書新聞入賞者の交流会  伊勢崎の民話に触れよう		

事業名	趣 旨	実施期日	対 象	参加者数
いせさき読書まつり	(2) 創作・体験 ○作って楽しもう (葉づくり) ○科学に触れよう (科学実験) ○ブックコート体験 ○リサイクル本の配布 (3) その他 ○啓発しおりの配布 ○生涯学習支援ボランティアまなび い先生のコーナー ○絵本とくつろごう ○みんなでシネマ上映会 (ビデオ上 映会) 等		 講演会	

エ 人権教育・啓発の推進

市民の人権問題に対する理解・認識をさらに深めるため、学習の場の提供を積極的に図るとともに、集会所管理運営事業のより一層の充実を図る。

(ア) 人権教育推進委員会

人権教育及び人権啓発の積極的な推進を図り、女性、子ども、高齢者、障害者、同和関係者、外国籍の人等の様々な人権問題の解決に努めるため、伊勢崎市人権教育推進委員会を設置。

委員構成は、33 人以内 内訳は、学校教育関係者 9 人以内、PTA 会長 5 人以内、その他教育委員会が適当と認める者 10 人以内、市職員 9 人以内。

(イ) 人権教育啓発事業

事業名	趣 旨	実施期日	対 象	参加者数
PTA 家庭教育 人権教育推進委 託事業	家庭教育の主役である PTA 会員を対象として、正しい人権教育の理解を図り「家庭における人権教育」を推進することを目的に実施する。	4 月～3 月	幼稚園・小 中 中 等 教 育 特 別 支 援 学 校 P T A 会 員	
集会所における 人権問題学習講 座	市内 6 集会所において、人権に関するビデオの視聴や講座を延べ 12 回開催した。	5 月～9 月	市 民	307 人
親子で学ぶ人権 問題学習講座	夏休みに親子を対象にした人権に関するビデオの視聴を 6 集会所において実施した。	8 月	市 民	107 人
人権のまちづく り講演会	市民を対象とした啓発事業。映像による啓発や講演会等を組み合わせ実施。(会場 市民プラザ)	9 月 13 日	市 民	350 人
地区別人権学習 会	地区毎に巡回した人啓発事業。人権啓発ビデオを視聴し、意見交換などを行い、市民の人権意識の高揚を図る。(6 地区で実施)	10 月～11 月	市 民	441 人

事業名	趣 旨	実施期日	対 象	参加者数
人権について考える集い（隣保館集会所事業成果発表会委託事業も同時開催）	基本的人権にかかわる人権・同和問題について、市民一人ひとりに正しい理解と認識を深めていただくために、講演会と隣保館集会所事業成果発表会を開催し、「差別のない明るい社会」を目指すものとする。 講演：「一人ひとりのいのちが大切にされる社会を～身近な人権問題を考える～」 講師：部落解放同盟東京都連合会 女性部共同代表 小野崎佳代 先生	1月25日	市 民	620人
人権啓発ポスター、人権啓発標語の募集（人権啓発カレンダー作成）	小・中学生から人権啓発ポスターと人権啓発標語を募集し、子どもたちの人権に対する興味や関心を高めるとともに、その入選作等で人権啓発カレンダーを作成し、市内全校児童生徒に配布した。併せて人権啓発イベント等での作品展示を行った。	人権ポスター 7月～9月 人権標語 12月	小中学生	人権ポスター 小学生 502点 中学生 315点 人権標語 小学生 12,316点 中学生 6,600点

（ウ） 集会所管理運営事業

運営委員会に事業運営を依頼し、人権問題ビデオ学習会や交流教室等を開き、人権問題の早期解決をめざす。

施設名	事業名					参加者数
	内 容	回数	交流教室	講座数	実施回数	
今井町集会所	人権問題学習講座	3	交流教室	8	231	3,308人
道伝集会所	人権問題学習講座	3	交流教室	3	88	496人
宮子町集会所	人権問題学習講座	3	交流教室	10	230	2,625人
柴町集会所	人権問題学習講座	3	交流教室	9	217	1,769人
連取町集会所	人権問題学習講座	3	交流教室	6	177	1,809人
三室町集会所	人権問題学習講座	3	交流教室	5	100	3,040人
総 計		18		41	1,043	13,047人

※ 人権問題学習講座のうち各1回は、夏休み親子ビデオシアターとして開催した。

4 文化の振興と発信

(1) 公民館文化事業の充実

ア 公民館合同作品展の開催

公民館利用サークルの活動の成果を一堂に集め公開することにより、広く市民に対して公民館活動の認識を深めると同時に、より一層の公民館活動の活発化を図るため、赤堀体育館を会場に公民館合同作品展を開催した。

3月7日～8日 出品作品数 446点

観覧者数 1,050人



赤堀体育館での合同作品展

関連施設

(1) 広瀬生涯学習館

利用状況：開館日数 359日

学習館主催事業		サークル支援事業			その他		合計	
開催件数	利用者数	サークル数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	開催・利用件数	利用者数
件 0	人 0	件 54	件 2,056	人 30,310	件 154	人 1,799	件 2,210	人 32,109

(2) あずまホール

利用状況：開館日数 335日

主催事業：11月23日 あずまふるさと寄席

参加者数 208人

	利用件数（件）	利用者数（人）
音楽	10	1,649
舞踏	4	690
演芸会	2	658
大会	10	3,128
講演会	2	480
研修会	6	635
練習	197	5,555
準備	10	198
その他	2	190
合計	243	13,183



あずまホール

(3) 青少年育成センター

利用状況：開館日数 335日

	日帰り	宿泊	合計
利用件数	1,210件	114件	1,324件
利用者数	21,154人	8,476人	29,630人

主催事業

実 施 日	事 業 名	参加者数
5月18日	ドッジビー大会	25人
7月27日	指導者のためのレク教室	12人
8月15日～17日	夏休みおもしろ教室	39人
9月28日	野外料理教室	33人
10月11日～12日	子ども防災体験キャンプ	54人
10月25日	子ども体験遊びリンピック	16人
11月9日	子どもそば打ち教室	30人
11月30日	オープンデー	153人
12月14日	わんぱく遊び教室	21人
1月11日	わくわく体験教室	31人
2月8日	キンボール大会	33人
2月11日	指導者のためのレク教室	22人
2月22日	オリジナルカップづくり教室	47人
3月8日	明日からボランティア	19人
合 計		535人



青少年育成センターの外観



キンボール大会

図 書 館

図書館サービスによる生涯学習の推進

伊勢崎市の図書館は、伊勢崎市図書館、赤堀図書館、あずま図書館、境図書館の4館と伊勢崎市図書館のサービスポイントである市民プラザ図書室で構成されている。

伊勢崎市図書館は、大正10年4月伊勢崎尋常高等小学校（現北小学校）の附属図書館が町立図書館として認可された。昭和11年4月に篤志寄付により校庭の一角に新築されたが、戦災により焼失した。その後再建されるが、昭和52年現在位置に新築移転した。他の3館は公民館図書室に由来する。赤堀図書館は赤堀芸術文化プラザとの複合施設として平成7年4月に開館、あずま図書館は平成11年4月に現在位置に新築開館した。境図書館は昭和38年8月旧町役場跡に開館し、敷地の寄付を受け昭和61年6月現在位置に新築移転した。平成19年4月から赤堀図書館に指定管理者が指定された。

平成23年4月機構改革により図書館課が新設され、管理係、奉仕係が設置された。

	伊勢崎市図書館	赤堀図書館	あずま図書館	境図書館
竣 工 年 月 日	昭和51年10月	平成7年4月（設置）	平成11年3月	昭和61年3月
建 物 構 造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造
敷 地 面 積	6,005.16㎡	—	4,790.21㎡	4,582.81㎡
延 床 面 積	2,657.98㎡	400.50㎡	1,837.85㎡	1,433.90㎡
学 習 室	102席	コーナー	コーナー及び24席	コーナー及び講座室
調 査 相 談 室	16席	コーナー	コーナー	コーナー
軽 読 書 コーナー	有	有	有	有
新 聞 雑 誌 室	有	無	有	有
視 聴 覚 コーナー	無	有	有	有
資 料 展 示	有	ロビー（共用）	ロビー	境絹の館
集 会 室 ・ 会 議 室	集会室約100席	会議室20席（共用）	視聴覚室約100席	講座室46席
駐 車 場	101台	75台（共用）	57台	28台

赤堀図書館は赤堀芸術文化プラザとの複合施設

1 基本方針

家庭、地域、学校との連携を深めながら、それぞれの図書館の特色を生かし、市民の芸術文化の高揚と生涯学習を支援する情報の発信基地として奉仕活動に努めた。

2 重点施策（図書館サービスの充実）

（1）ライフステージに合わせた支援サービス

課題解決支援サービスとして、ビジネス支援コーナー及び子育て支援コーナーを設置し、それぞれに役立つ情報の提供に努めた。

（2）親子読書の推奨・推進

ブックスタートを実施するとともに、親子で参加できる事業を行い、親子読書を推進した。

（3）市民協働の図書館活動

館内業務や読み聞かせなどの事業を、市民ボランティア等と協力しながら実施した。



ブックスタート

3 平成26年度事業実績

(1) 図書館協議会

図書館協議会は、館長の諮問に対して答申を行う諮問機関である。定員は10人で、構成は学校教育関係者1人、社会教育関係者1人、家庭教育の向上に資する活動を行う者4人、学識経験者4人からなる。平成26年度は3回開催

○第1回 平成26年7月24日（木）午前10時 伊勢崎市境図書館講座室 出席委員10人

平成25年度事業報告について

平成26年度教育行政方針（図書館）について

平成26年度事業計画について

○第2回 平成26年12月4日（木）午後2時 伊勢崎市あずま図書館視聴覚室 出席委員9人

平成26年度事業報告について（前期）

映画「じんじん」について

○第3回 平成27年3月19日（木）午後2時 伊勢崎市赤堀図書館会議室 出席委員7人

平成26年度事業報告について（通年）

平成27年度事業計画について

(2) 図書館資料の構成・貸出

ア 蔵書構成

購入数26,626点、寄贈1,122点、その他117点で合計27,865点になり、除籍等17,366点を差し引き、全館所蔵点数は601,219点である。

一般図書の構成は、全館通して文学の割合が高く、約42%を占めている。特に境図書館で約48%、赤堀図書館で約42%と高くなっている。文学以外では、全館で社会科学が約12%と割合が高く、次いで芸術、歴史の順となっている。

児童書では、文学と絵本に重点を置いた構成となっており、合わせて約70%を占める。特に、境図書館では文学の割合が高く約38%となっている。

視聴覚資料では、全館ともビデオテープが減少し、DVDが増加している。これは利用者の映像鑑賞機器の変化に伴うものであり、蔵書についても、これらに対応した傾向となっている。

イ 個人貸出

貸出数は946,866点で、前年度と比較して約2.7%減少した。また、貸出人数は257,911人で、前年度と比較して約2.4%減少した。

これは、10月に行われた伊勢崎市図書館の空調機入替工事による2週間の休館などが大きく影響しているものと考えられる。

全体として貸出数が減少している中で、50代以上の貸出冊数が3%増加した。中でも、ビジネス支援コーナー設置等シニア世代に向けた取り組みによる産業部門、またリクエスト等ニーズの把握による文学部門の増加が目立っており、それぞれの成果が現れたものであると考えられる。

ウ 団体等貸出

貸出数は、23,384冊で、前年度と比較して約38%の増加となった。これは、11月から市内で希望のあった幼稚園（8園）及び児童関連施設（1所）に、毎月団体貸出として50冊図書を届けるサービスを開始したことが大きな要因と考えられる。今後も、児童施設や福祉施設等を通して、より多くの市民に資料が届くようなサービスを、展開していきたい。

エ 視覚障害者サービス

視覚に障害があり活字を読むことが困難な人を対象に、希望する図書等をボランティアに依頼して朗読テープを作成し、貸し出している。平成26年度の貸出数は、朗読テープ406点、CD152点、点字本9点で、利用者は延べ41人だった。

オ 配達サービス

来館できない高齢者・障害者及び介護保険制度での「要支援」以上の市民を対象に、図書やCD等を自宅まで届けるサービスで、貸出期間は通常と同じ2週間である。平成26年度の貸出数は、図書1,036点、雑誌61点で、利用者は延べ319人だった。

カ インターネット予約

インターネット予約の件数は、伊勢崎市図書館10,789件、赤堀図書館3,247件、あずま図書館4,859件、境図書館4,216件、市民プラザ図書室7,090件、計30,201件で、全予約件数56,473件の約53%を占め、件数・割合とも増加している。

(3) 事業報告

ア ブックスタート

10か月児健康相談の会場で、読み聞かせをしながら赤ちゃんと保護者に絵本をプレゼントし、絵本を開く楽しい体験とともに心ふれあうひとときを持つきっかけをつくる活動であり、ボランティアの協力を得て毎月実施した。

平成26年度は「とってください」「かにこちゃん」の2冊と、子育てアドバイス集と一緒に配布した。

配布数は、伊勢崎市図書館1,450冊、赤堀図書館634冊、あずま図書館700冊、境図書館646冊の計3,430冊だった。

イ 読み聞かせ

子どもたちに本の楽しさを知ってもらいながら図書館に親しんでもらえるように、読み聞かせボランティアを中心とした絵本・紙芝居の読み聞かせを毎月各館で行った。季節や行事などに合わせた内容が多く、12月にはクリスマス会として開催し、多数の子どもたちが参加した。年間の参加人数は、伊勢崎市図書館219人、赤堀図書館167人、あずま図書館290人、境図書館140人であった。

また、伊勢崎市図書館では、11月から乳幼児のいる親子向けの読み聞かせとして、「赤ちゃんといっしょのおはなし会」を毎月開催した。絵本を通して親子触れ合い・交流の場となることを目指すもので、毎回多数の親子の参加が得られた。



読み聞かせ

ウ 親子で参加できる事業

本や図書館に触れるきっかけとなるような、親子で楽しく参加できる事業を多数実施した。

伊勢崎市図書館では、5月4日に「こどもの日のイベント」としてバルーンアート体験を行い、12月6日に「クリスマス小物とミニ絵本作り教室」を開催した。赤堀図書館では、5月3日と7月23日に「リサイクル工作」を行い、6月28日に「一日中紙芝居の日」を実施した。あずま図書館では、子ども向けに「アニメシアター」、こどもの日や夏休み期間中に「特別アニメシアター」を上映した。境図書館では、奇数月やこどもの日、夏休み、クリスマスに「親子映画会」を実施した。

また、子どもたちに特に人気の高い人形劇は各館で実施した。伊勢崎市図書館では5月31日に「赤ずきんちゃん」「ママはあわてんぼう」、赤堀図書館では8月31日に「あおむしくんピッピ」「3匹のこぶた」を、あずま図書館では6月15日に「ちよっと丸」「ボンたろコンコ」を、11月16日に「おこすなキケン」「雪の女王」を、境図書館では2月28日に「かさじぞう」をそれぞれ上演した。



リサイクル工作

エ 調べ学習

夏休み期間、小学生を対象とした調べ学習に各館で取り組んだ。伊勢崎市図書館では「万華鏡をつくろう!」、赤堀図書館では「手作り荷車で力のヒミツにせまろう!」、あずま図書館では「カメレオンスライムと空気砲を作る」、境図書館では「まゆクラフト」を実施した。

また、同じく調べ学習の一環として、「読書感想文の書き方講座」を赤堀図書館及びあずま図書館で開催した。

オ 一日図書館員

図書館に対する理解を深めることを目的とする事業で、夏休みを利用して伊勢崎市図書館及び赤堀図書館で、小学生を対象に実施した。子どもたちは、カウンターでの資料の貸出・返却処理、書架整頓、ブックカバーの装丁などの仕事を体験した。

カ 各種講座・教室

伊勢崎市図書館では、6月28日に曾野綾子著「老いの才覚」をテキストとした市民読書会を、9月20日に文学・歴史講座「黒田官兵衛」を開催した。また、12月7日いせさき能実行委員会による「いせさき能『小鍛冶』能楽講演会」が行われた。境図書館では毎月短歌教室及び俳句教室を開催した。また、10月31日に文学歴史散歩（上田市）、11月19日に俳句吟行会（榛名湖周辺）、11月28日に短歌吟行会（高崎市）を実施した。



文学歴史散歩

キ 企画展示

伊勢崎市図書館では展示室で、9月6日～28日「行ってみよう!群馬の山へ」、11月13日～12月7日「能面・能装束といせさき能10年のあゆみ」、2月21日～3月15日「図書館の本で作るペーパークラフト2」を開催した。赤堀図書館では館内で、7月19日～8月24日「図書館を使った“調べる”学習コンクール入賞作品展示」、11月1日～20日「赤堀図書館文化祭」を行い、境図書館では「図書館ぎやらりー」として鉛筆画、書道、油絵、押し花等の展示を年間通し、計11回開催した。

ク 朗読会・演奏会・映画会

伊勢崎市図書館では、3月1日に「大人のための朗読会」を昨年に続いて開催した。赤堀図書館では、4月5日と8月23日に大人も楽しめる読み聞かせ「ときめきブックカフェ」を、10月25日には「赤堀図書館でJAZZを聴こう!」を実施した。あずま図書館では、10月19日に「ヘルマンハーブと読み聞かせ」を開催した。



ヘルマンハーブと読み聞かせ

いずれも、参加した人が、本や音楽を通じてゆったりとした快適な時間を過ごしてもらうことが出来た。

また、赤堀・あずま・境図書館では、名作を選んでの映画会を計18回行った。

ケ 図書のリサイクル

各図書館では、除籍した資料をリサイクル図書として館内やイベント会場等で市民に無料配布し、有効活用している。また児童図書については、児童施設や小中学校へ配付し、再利用を図っている。配布冊数は、伊勢崎市図書館3,509冊、赤堀図書館3,438冊、あずま図書館1,384冊、境図書館2,310冊であった。

コ 世界遺産登録記念事業

境島村地区にある「田島弥平旧宅」を含む「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録を記念した企画展示を実施した。

伊勢崎市図書館では6月14日～8月24日「祝・世界遺産登録『富岡製糸場と絹産業遺産群』」を、境図書館では6月28日～7月24日「田島弥平と養蚕新論」を開催し、多くの来場者を得た。

サ 施設見学・体験学習及びボランティアの受入

各図書館で小学生の施設見学9校、中学生の職場体験学習（チャレンジウィーク）9校、高等学校等のインターンシップ1校を受け入れた。また、伊勢崎市図書館では、専門学校生によるボランティア研修1人、配架業務を行うボランティア1人を受け入れた。

（4）その他

ア 寄附

境図書館へ境中三三会から視聴覚資料（朗読CD）、境ロータリークラブから視聴覚資料（朗読CD）が、境ライオンズクラブから視聴覚資料（DVD）及び液晶テレビ1台の寄附があった。

イ 工事等

伊勢崎市図書館では、空調機入替工事を行った。また境図書館では、屋根改修工事及び通路改修工事を行った。いずれも長年の使用による不具合であったが、改修工事の実施により、図書館の利用環境が向上した。

（5） 境絹の館

境図書館の南にあり昭和54年に寄附を受けて管理している。境図書館に拠点を置く短歌会、俳句会の会場として定期的に利用されており、図書館の行事及び展示会場としても活用した。10月25日には「秋の夜語り」の会場として、民話・昔話の語りやオカリナ演奏が開かれた。

なお、ここでは郷土の著名な画家金井烏洲等の作品を保存・管理し、調査研究に供している。

(参考資料)

地区別利用者及び全資料貸出

館 別 区 分			伊勢崎市 図書館	市民ﾌﾟﾗｽﾞ 図書室	赤堀図書館	あずま 図書館	境図書館	合 計
奉仕 人口	25年度	133,701		22,496	25,254	29,968	211,419	
	26年度	133,154		22,683	25,394	29,685	210,916	
利用 者数	25年度	98,016	35,419	31,649	57,029	42,220	264,333	
	26年度	94,268	35,001	31,774	54,897	41,971	257,911	
26年度開館日数		277	335	316	284	284	－	
26年度新規登録		1,549	373	415	799	426	3,562	
全貸出数	26年度個人	伊勢崎地区	321,214	118,251	17,734	55,354	37,173	549,726
		赤堀地区	4,932	433	82,032	16,148	1,120	104,665
		あずま地区	5,466	782	8,048	109,280	2,187	125,763
		境地区	7,782	5,476	960	9,630	97,303	121,151
		市外	11,358	3,744	5,357	15,319	9,783	45,561
		計	350,752	128,686	114,131	205,731	147,566	946,866
	団体等	25年度	9,102	365	3,103	2,519	1,830	16,919
		26年度	11,903	499	4,076	3,334	3,572	23,384
	総計	25年度	375,676	130,816	116,900	216,747	150,372	990,511
		26年度	362,655	129,185	118,207	209,065	151,138	970,250

奉仕人口は住民基本台帳、平成25年、同26年4月1日現在による。
新規登録は市外、団体等を含む。

地区別年齢区分別利用者数・貸出数

	年齢区分	伊勢崎地区		赤堀地区		あずま地区		境地区		市外	
		利用者	貸出数	利用者	貸出数	利用者	貸出数	利用者	貸出数	利用者	貸出数
2 6 年 度	70～	14,878	48,064	1,142	3,332	2,125	6,127	3,724	10,984	765	2,499
	60～69	21,770	73,951	2,877	8,186	5,119	16,118	6,346	19,595	2,325	7,669
	50～59	17,409	59,556	1,774	5,710	3,931	12,205	4,047	13,729	1,570	5,128
	40～49	24,882	91,877	4,696	16,984	5,239	18,208	5,297	18,282	3,120	10,369
	30～39	21,996	88,726	5,415	22,420	5,907	23,863	4,824	18,714	2,188	7,994
	23～29	5,978	22,008	1,071	4,102	1,588	5,711	1,106	3,750	1,205	3,504
	19～22	2,526	9,122	479	1,334	727	2,522	548	1,665	292	913
	16～18	2,631	9,416	313	1,070	510	1,674	835	2,297	222	718
	13～15	4,080	14,744	1,063	3,308	896	3,190	747	2,337	257	936
	10～12	8,961	36,205	2,741	9,608	2,066	8,049	1,943	7,305	399	1,704
	7～9	10,414	45,182	2,992	11,254	3,160	12,738	2,666	11,216	409	1,838
	0～6	11,207	50,875	3,890	17,357	3,606	15,358	2,504	11,277	513	2,289
	計	146,732	549,726	28,453	104,665	34,874	125,763	34,587	121,151	13,265	45,561
25年度		150,251	567,158	29,206	106,516	36,020	129,192	35,070	121,805	13,786	48,921
前年度比較		-3,519人	-17,432点	-753人	-1,851点	-1,146人	-3,429点	-483人	-654点	-521人	-3,360点
		-2.3%	-3.1%	-2.6%	-1.7%	-3.2%	-2.7%	-1.4%	-0.5%	-3.8%	-6.9%

館別分類別個人貸出表

(単位：点)

			伊勢崎市図書館		市民ﾌﾟﾗｻﾞ図書館		赤堀図書館		あずま図書館		境図書館	
			25年度	26年度	25年度	26年度	25年度	26年度	25年度	26年度	25年度	26年度
図書資料	一般	総記	2,400	2,574	3,595	2,818	617	600	974	932	1,116	1,122
		哲学	5,735	5,633	1,882	1,688	1,215	1,226	3,065	2,810	2,180	2,174
		歴史	14,393	13,574	4,584	4,662	3,712	3,684	8,494	7,883	6,497	6,800
		社会	13,242	13,334	3,234	3,120	2,865	2,975	6,390	5,900	5,011	5,027
		自然	11,429	10,802	3,336	2,980	1,841	1,993	4,767	4,364	4,237	3,944
		技術	22,810	22,238	10,034	10,564	8,595	8,037	17,038	15,668	10,096	9,946
		産業	6,141	5,935	1,907	1,738	1,426	1,609	3,283	2,891	2,140	2,162
		芸術	19,109	17,834	16,540	16,318	10,629	10,523	19,766	18,151	5,738	5,151
		言語	1,675	1,787	521	454	376	344	791	818	581	645
		文学	85,128	81,688	20,536	18,990	14,069	14,466	33,232	33,971	35,476	34,743
		計	182,062	175,399	66,169	63,332	45,345	45,457	97,800	93,388	73,072	71,714
	児童	総記	1,231	992	597	632	264	265	563	620	669	679
		哲学	1,902	1,790	651	709	674	571	1,031	1,058	385	421
		歴史	3,742	3,695	1,687	1,730	1,014	1,137	1,641	1,645	1,129	1,066
		社会	1,279	1,277	520	384	378	413	502	637	510	523
		自然	6,804	6,303	2,299	2,218	2,369	2,896	3,920	3,997	2,078	1,870
		技術	2,615	2,400	879	772	1,114	1,267	1,697	1,847	875	814
		産業	974	854	381	377	371	401	472	490	171	184
		芸術	6,186	6,081	2,450	2,143	3,491	2,928	5,866	5,047	1,403	1,419
		言語	1,112	1,079	460	368	461	481	582	451	305	356
		文学	30,163	28,934	10,943	10,262	9,581	10,351	15,489	15,033	10,836	10,533
		絵本	53,041	51,826	21,030	21,987	20,642	20,496	39,048	37,653	19,970	20,710
		紙芝居	4,067	3,280	1,832	1,749	1,694	1,420	2,056	1,742	1,724	1,681
		計	113,116	108,511	43,729	43,331	42,053	42,626	72,867	70,220	40,055	40,256
	郷土	郷土	2,972	2,590	308	368	336	444	30	61	684	919
		大活字本	3,085	2,678	187	240	127	44	449	373	233	320
		点字	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		洋書	447	417	4	6	8	10	37	110	201	218
		その他	0	1	0	0	0	0	14	18	5	0
		合計	301,682	289,596	110,397	107,277	87,869	88,581	171,197	164,170	114,250	113,427
	雑誌		10,755	10,435	3,213	3,857	6,645	5,968	9,211	9,783	8,548	8,815
	視聴覚資料	C D	25,138	24,184	7,477	7,792	7,298	7,371	15,446	14,531	11,390	11,257
		カセット	57	56	2	0	10	1	4	2	0	0
		ビデオ	4,158	2,478	513	331	265	118	2,766	1,405	1,870	1,453
		D V D	21,945	21,295	8,682	9,323	11,703	12,075	15,537	15,818	12,200	12,089
		R O M	4	5	1	2	4	0	4	1	0	0
		録音朗読	2,835	2,703	166	104	3	17	63	21	284	525
		合計	54,137	50,721	16,841	17,552	19,283	19,582	33,820	31,778	25,744	25,324
総計		366,574	350,752	130,451	128,686	113,797	114,131	214,228	205,731	148,542	147,566	

蔵書構成（平成26年度末）

（単位：点）

			伊勢崎市図書館		赤堀図書館		あずま図書館		境図書館		全館	
			25年度	26年度	25年度	26年度	25年度	26年度	25年度	26年度	25年度	26年度
図書資料	一般	総記	7,327	7,077	912	956	1,673	1,692	3,120	3,131	13,032	12,856
		哲学	6,699	6,741	1,438	1,357	2,715	2,787	2,688	2,740	13,540	13,625
		歴史	16,505	16,210	3,481	3,535	6,603	6,803	8,291	8,497	34,880	35,045
		社会科学	18,209	18,853	2,558	2,698	8,298	8,522	9,948	10,283	39,013	40,356
		自然科学	8,254	8,651	1,681	1,758	4,936	5,112	4,316	4,393	19,187	19,914
		技術	10,107	10,414	3,250	3,267	9,045	9,366	4,635	4,656	27,037	27,703
		産業	4,594	4,683	1,400	1,462	2,752	2,834	1,878	1,912	10,624	10,891
		芸術	15,853	16,287	4,124	4,161	9,227	9,240	7,297	7,409	36,501	37,097
		言語	2,708	2,748	648	681	1,099	1,119	1,109	1,128	5,564	5,676
		文学	62,871	63,353	14,260	14,246	26,168	27,303	39,042	39,692	142,341	144,594
		計	153,127	155,017	33,752	34,121	72,516	74,778	82,324	83,841	341,719	347,757
	児童	総記	1,057	986	271	271	391	395	603	621	2,322	2,273
		哲学	672	706	186	194	231	251	326	331	1,415	1,482
		歴史	2,973	3,042	679	693	1,103	1,127	1,131	1,135	5,886	5,997
		社会科学	2,690	2,780	525	519	907	952	1,449	1,454	5,571	5,705
		自然科学	5,369	5,482	1,309	1,278	2,912	2,972	1,856	1,893	11,446	11,625
		技術	2,112	2,155	533	550	906	933	943	938	4,494	4,576
		産業	1,165	1,216	379	380	459	474	407	414	2,410	2,484
		芸術	3,197	3,272	909	880	1,580	1,599	1,001	1,019	6,687	6,770
		言語	920	945	310	269	335	339	408	411	1,973	1,964
		文学	24,858	25,465	5,737	5,823	11,298	11,617	10,257	10,495	52,150	53,400
		絵本	28,905	29,602	5,801	5,710	14,408	14,838	8,359	8,547	57,473	58,697
		紙芝居	1,872	1,909	620	627	1,080	1,088	700	701	4,272	4,325
		計	75,790	77,560	17,259	17,194	35,610	36,585	27,440	27,959	156,099	159,298
	郷土	郷土	27,906	28,254	1,265	1,457	2,738	2,818	6,630	6,732	38,539	39,261
		大活字	2,799	2,859	212	244	746	746	1,240	1,238	4,997	5,087
		点字	1,052	1,052	0	0	0	0	0	0	1,052	1,052
		洋書	1,636	1,638	4	4	90	111	579	582	2,309	2,335
		その他	86	86	0	0	3	4	0	0	89	90
	合計		262,396	266,466	52,492	53,020	111,703	115,042	118,213	120,352	544,804	554,880
	視聴覚資料	雑誌	5,579	5,745	920	919	3,451	3,501	3,652	3,895	13,602	14,060
		C D	7,951	7,878	2,512	2,595	4,187	4,293	2,828	2,933	17,478	17,699
		カセット	47	47	2	2	4	4	0	0	53	53
		ビデオ	2,609	2,320	408	305	2,141	1,665	1,372	1,370	6,530	5,660
		D V D	2,354	2,513	1,074	1,189	1,254	1,355	1,270	1,383	5,952	6,440
		R O M	92	92	9	10	10	10	1	3	112	115
		録音・朗読	2,115	2,144	0	0	62	62	75	106	2,252	2,312
	合計		15,168	14,994	4,005	4,101	7,658	7,389	5,546	5,795	32,377	32,279
	総計		283,143	287,205	57,417	58,040	122,812	125,932	127,411	130,042	590,783	601,219

市民プラザ図書館の蔵書は伊勢崎市図書館に含む。

一般図書構成割合（平成26年度末）

（単位：％）

			伊勢崎市図書館		赤堀図書館		あずま図書館		境図書館		全館	
			25年度	26年度	25年度	26年度	25年度	26年度	25年度	26年度	25年度	26年度
図書資料	一般	総記	4.78	4.57	2.70	2.80	2.31	2.26	3.79	3.73	3.81	3.70
		哲学	4.37	4.35	4.26	3.98	3.74	3.73	3.27	3.27	3.96	3.92
		歴史	10.78	10.46	10.31	10.36	9.11	9.10	10.07	10.13	10.21	10.08
		社会科学	11.89	12.16	7.58	7.91	11.44	11.40	12.08	12.26	11.42	11.60
		自然科学	5.39	5.58	4.98	5.15	6.81	6.84	5.24	5.24	5.61	5.73
		工学技術	6.60	6.72	9.63	9.57	12.47	12.53	5.63	5.55	7.91	7.97
		産業	3.00	3.02	4.15	4.28	3.80	3.79	2.28	2.28	3.11	3.13
		芸術	10.35	10.51	12.22	12.19	12.72	12.36	8.86	8.84	10.68	10.67
		言語	1.77	1.77	1.92	2.00	1.52	1.50	1.35	1.35	1.63	1.63
		文学	41.06	40.87	42.25	41.75	36.09	36.51	47.42	47.34	41.65	41.58
		計	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00

Ⅵ 文化振興



市民アートフェスティバル

文化振興

1 基本方針

市民の情操をかん養するため、文化芸術活動に関する機会の提供、各種文化団体への育成及び連携を深め、市民の文化活動のより一層の活性化を図る。

2 重点施策

(1) 文化活動への支援と機会の拡充

文化団体相互の連携を強化し、団体が行う活動への支援や文化芸術に対する理解と鑑賞力を高めることを目的とした作品展等の開催を通して、市民文化の形成・向上を図る。

(2) 文化の創造・育成と伝統文化の伝承

新たな文化の創造・育成と地域の伝統文化の伝承を推進するための活動への支援や人材の育成を図り、大人から子どもまでが文化に親しむ機会を拡充する。

(3) 舞台芸術鑑賞の提供

世界並びに日本の優れた舞台芸術・公演等の鑑賞機会を市民に提供する。

(4) 文化施設の機能の充実

地域が育んできた文化活動や伝統芸能の発表、展示を支援するために文化会館、赤堀芸術文化プラザ、境総合文化センター等の施設機能を充実させる。

3 平成 26 年度事業実績

(1) 文化団体等への支援事業

ア 文化協会事業

文化協会は 15 部門に分かれ、文化活動の振興を図るとともに団体間の連携・交流も深めている。

月	日	事業名	内 容	会 場
4	6	華蔵寺公園花まつり 郷土芸能発表会	郷土芸能部門会員による発表会	華蔵寺公園 野外ステージ
	25	常任理事会	定期総会に向けて	伊勢崎市役所
5	27	定期総会	平成 25 年度報告 平成 26 年度計画	プラザ・アリア
9	3	常任理事会	賛助会員加入協力について	伊勢崎市役所
	19～21	第8回総合作品展	美術部門会員による発表会	境総合文化センター
	21	第 16 回歌謡部門	歌謡部門会員による発表会	
	21	第7回茶会	茶道部門会員による茶会	
11	21～23	第6回自然部門総合展	自然部門会員による作品展	境総合文化センター
	22	第8回市民音楽祭	音楽部門会員による発表会	
	23	第8回郷土芸能大会	郷土芸能部門会員による発表会	
12	18	文化いせさき編集会議	会報編集に向けて	伊勢崎市役所
1	26	常任理事会	賛助会員加入状況報告について	プラザ・アリア

2	6～8	第8回書道展	書道部門会員による発表会	境総合文化センター
	7	諸芸部門舞台発表会	諸芸部門会員による発表会	
	8	洋舞フェスティバル 2014	洋舞部門会員による発表会	
	6～8	第8回文学祭	文学部門会員による文学祭	ふくしプラザ
	7～8	第8回いけばな展	華道部門会員による発表会	
	26～3/1	第8回写真展	写真部門会員による写真展	境総合文化センター
	28	第7回邦楽舞踊のつどい	邦楽舞踊部門会員による発表会	
3	1	第8回民謡民舞発表大会	民謡民舞部門会員による発表会	
	1	第8回吟剣詩舞の集い	吟剣詩舞部門会員による発表会	

イ 文化協会登録団体

文化協会 15 部門の内訳は以下のとおりであり、団体総数 240 団体、会員総数 7,858 人。

部 門	種 目	団 体 数	人 数	部 門	種 目	団 体 数	人 数
美 術	日 本 画	3	52	吟 剣 詩 舞	吟 詠	10	337
	洋 画	4	58		詩 舞	5	54
	工 芸	3	80		計	15	391
	そ の 他	5	128	民 謡 民 舞	民 謡	18	313
	計	15	318	郷 土 芸 能	八 木 節	18	412
書 道	か な	2	32		は や し	8	311
	漢 字	21	443		和 太 鼓	4	185
	そ の 他	3	31		獅 子 舞	2	60
	計	26	506		古 武 道	2	31
写 真	写 真	8	143		そ の 他	7	178
華 道	華 道	2	650		計	41	1,177
茶 道	茶 道	7	960	洋 舞	社 交	1	15
文 学	短 歌	3	48		フ ォ ー ク	2	34
	俳 句	1	27		フ ラ ダ ンス	18	394
	川 柳	1	19		そ の 他	3	96
	そ の 他	3	86		計	24	539
	計	8	180	自 然	植 物	8	246
音 楽	合 唱	17	527		動 物	1	50
	器 楽	5	158		そ の 他	1	20
	計	22	685	諸 芸	計	10	316
歌 謡	歌 謡	16	882		将 棋 囲 碁	3	98
邦 楽 舞 踊	邦 楽	3	275		そ の 他	3	85
	邦 舞	19	340	合 計	計	6	183
	計	22	615		計	240	7,858

(2) 育成と伝承事業

ア 「ダンピア伊勢崎」の普及

全員参加ができるまつりにしようと、市民になじみの曲をアレンジし創作したダンスを多くの市民に楽しく踊って、祭りに参加してもらうため公民館や学校体育館等にて講習会を開催した。いせさきまつりでは約 1,500 人が本町通りを埋め尽くして踊り、各地区のまつり・納涼祭及び各種イベント等においても多くの市民が参加している。

・講習会及びイベント（年間）31 回、約 2,500 人が参加。



いせさきまつり

イ 市民アートフェスティバル

市内の美術愛好家の交流を図るとともに、市民の芸術文化の振興と向上を目指す観点から、市民より応募のあった日本画・洋画・書・彫刻工芸・手芸作品を境総合文化センターにて展示公開した。

・ 10 月 24 日～10 月 27 日	彫刻工芸（23 点）・手芸（73 点）	観覧者 657 人
・ 10 月 31 日～11 月 3 日	日本画（62 点）・洋画（72 点）	観覧者 643 人
・ 11 月 14 日～11 月 17 日	書（160 点）	観覧者 760 人
出品点数合計 390 点		観覧者合計 2,060 人



市民アートフェスティバル

ウ インターネット美術館

市が所蔵している美術品等を市のホームページにおいて公開している。

- ・公開作品総数 352 点（福沢一郎絵画 30 点・リトグラフ 44 点、磯部草丘 53 点、森村西三 6 点、金井鳥洲 36 点、資料 183 点）

(3) 舞台芸術鑑賞事業

ア 伊勢崎市文化会館

実 施 日	公 演 名	入場者数
4 月 6 日	福田こうへいコンサート	1,247
5 月 16 日	バックナンバーコンサート	1,343
5 月 18 日	西本智美指揮 すぎやまこういち交響組曲 ドラゴンクエスト ～ベストセレクション～	1,028
6 月 8 日	氷川きよしコンサート	2,774
7 月 20 日	NHK おかあさんといっしょ ポコポッテイトがやってきた！	2,044
7 月 27 日	エントランスホールチャリティコンサート ティータイムに聴くヴァイオリンとフルートの調べ	190
8 月 3 日	親子で学ぶ！世界一楽しい授業 算数 - 桜井 進 音楽 - 青島 広宏	270
8 月 31 日	谷村新司コンサート	1,206
9 月 7 日	1966 カルテット～ビートルズクラシックス～	383
9 月 23 日	週末よしもと お笑いまつり	510
10 月 23 日	葉加瀬太郎コンサート	1,365
11 月 3 日	情熱のフラメンコ	318
1 月 13 日	ワンコインコンサートⅡ 江口玲トーク&コンサート スタンウェイ弾きくらべ	645

イ 伊勢崎市境総合文化センター

実 施 日	公 演 名	入場者数
7 月 13 日	音楽の絵本ジャイブ ～親子の為のコンサート～	686
7 月 26 日～ 8 月 31 日	第 17 回伊勢崎市境演劇フェスティバル アマチュア劇団公演	1,640
10 月 4・5 日	第 17 回伊勢崎市境演劇フェスティバル ケラリーノ・サンドロヴィッチワークショップ	
10 月 18 日	第 38 回県民芸術祭参加事業 県民音楽のひろば 群馬交響楽団演奏会 オータムコンサート in SAKAI	316

11月29日	DEPAPEPE LIVE 2014 IN ISESAKI	320
1月24日	第10回いせさき能「小鍛冶」	386
2月22日	第19回伊勢崎境アマチュア音楽祭 フリーライブ2015	203

ウ 伊勢崎市赤堀芸術文化プラザ

実施日	公演名	入場者数
1月26日	ケロポンズ親子コンサート	466

(4) 文化施設の利用状況

施設名	文化会館		境総合文化センター		赤堀芸術文化プラザ	
	開館日数：338日		開館日数：335日		開館日数：335日	
種別	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数
大ホール	235	134,651	259	41,533	219	21,235
小ホール	292	57,691	243	23,080		
ホール小計	527	192,342	502	64,613	219	21,235
会議室他	2,184	53,467	2,353	39,767	-	-
展示室他	541	35,663	346	57,374	43	1,583
室等の小計	2,725	89,130	2,699	97,141	43	1,583
合計	3,252	281,472	3,201	161,754	262	22,818

VII 文化財保護



史跡女堀発掘調査現地説明会

文化財の保護と活用

1 基本方針

- (1) 郷土の歴史や文化を次代に継承するために、先人が残した地域の歴史遺産や文化遺産など価値ある文化財の調査、保存に努めます。
- (2) 郷土を愛する心を育むために、地域の伝統文化や指定文化財等の公開と解説、講座の開催を通して普及啓発に努めます。
- (3) 田島弥平旧宅の世界遺産登録を見据え、地域の絹織物関係遺産の検証と周辺地域を整備するとともに活用に努めます。

2 重点施策

- (1) 史跡の保存管理の推進
 - ア 史跡上野国佐位郡正倉跡の国指定
 - イ 史跡女堀保存整備活用事業の推進
- (2) 文化財の保存と新規指定の推進
 - ア 文化財指定の推進
 - イ 指定文化財の保存管理
- (3) 文化財の普及と地域の歴史文化の継承
 - ア 文化財普及啓発事業の推進
 - イ 赤堀歴史民俗資料館の充実
- (4) 世界遺産の管理と普及
 - ア 史跡田島弥平旧宅の保存整備の推進
 - イ 世界遺産の啓発と周辺環境整備

3 平成 26 年度事業実績

(1) 文化財保護事業

ア 文化財調査委員

伊勢崎市文化財保護条例により文化財調査委員を委嘱し、文化財の保存及び活用等について調査審議を行った。

委員構成：人文地理・近代史、考古学、古代史、中世史、近世史、建築学、植物学、民俗学の有識者（計 8 人）

任期：2 年間（平成 25・26 年度）

開催回数：3 回

第 1 回 6 月 27 日（金）気楽流柔術について

第 2 回 10 月 26 日（日）気楽流柔術の現地視察調査

第 3 回 1 月 16 日（金）気楽流柔術の市指定意見具申について

(2) 保護管理事業

ア 指定文化財の保護管理

所有者又は管理団体に対して指定文化財活用管理謝礼金を交付し、見学者への説明や文化財の良

好な環境維持を図った。

イ 説明板の設置

国指定史跡「上野国佐位郡正倉跡」、市指定重要無形民俗文化財「茂呂の屋台囃子 5 団体」の説明板を設置した。

ウ 史跡上野国佐位郡正倉跡関連の調査・啓発

(ア) 確認調査

佐位郡衙関連調査として、地下レーダー探査による確認調査の成果をもとに、発掘調査を実施した。その結果、佐位郡衙に関連すると思われる溝が確認された。

(イ) 啓発活動

平成 26 年 10 月 6 日に国史跡に指定されたので、平成 27 年 1 月 31 日に上野国佐位郡正倉跡国史跡指定記念式典と講演会を開催し、198 名が参加した。

エ 史跡田島弥平旧宅の保存管理と普及

(ア) 調査整備委員会の開催

整備活用基本計画を策定するため、昨年から設置した調査整備委員 7 名による委員会 3 回と、建築学専門である委員からなる小委員会を 1 回開催した。

(イ) 史跡整備の実施

史跡の外構美化、種蔵、別荘の緊急修繕、主屋の清掃、植栽と雑草の管理を行った。また、史跡整備の基本図面を作成するため、主屋の建物調査を行った。

(ウ) 案内所の運営

県の雇用による 1 名と市臨時職員 5 名の観光サポートをシフトにより配置し、展示の解説、D・V・D 上映、田島弥平旧宅の案内を行った。

(エ) 周辺環境整備の実施

来訪者対応を図るため、仮設トイレの設置や警備員を配置して史跡周辺の環境整備を行った。

オ 指定文化財のパトロール等の実施

指定文化財の破損等の確認及び説明板の清掃を実施した。

カ 指定文化財等の補修

- ① 市指定重要文化財「島村の板倉」の説明板及び、標柱を設置した。
- ② 県指定天然記念物「連取のマツ」は、平成 21 年度から保護養生事業を実施しており、殺菌剤の散布と、樹下の土壌を膨軟にして樹勢の回復を図った。
- ③ 市指定重要文化財「旧森村家住宅」の、既存ブロック塀の基礎毀し外修繕をした。
- ④ 市指定重要文化財「旧森村家住宅」の、蔵屋根瓦の修繕及び雨樋の掃除等をした。
- ⑤ 市指定重要文化財「旧森村家住宅」の、通路碎石敷き均し修繕をした。
- ⑥ 市指定重要文化財「間野谷の石造層塔」は、劣化進行が激しいため、平成 25 年度から 2 年計画で保存修復事業を実施した。
- ⑦ 国指定史跡「田島弥平旧宅」の、種蔵壁及び別荘屋根の緊急修繕をした。
- ⑧ 国指定史跡「田島弥平旧宅」の、別荘及び東門の屋根を緊急修繕した。
- ⑨ 国指定史跡「田島弥平旧宅」の、井戸屋水道管の修繕をした。
- ⑩ 「島村養蚕農家群」の道路標識板面修繕をした。
- ⑪ 境文化財整理室の屋根瓦の補修及び、雨樋の交換修繕をした。

キ 資料の閲覧・撮影・掲載・借用

学術研究等を目的として閲覧 5 件、撮影 6 件、掲載 85 件、借用 49 件の申請があり許可した。

ク 指定文化財の現状変更等

- ① 国指定史跡女堀は、保存整備活用事業の基本構想策定のため平成 22 年度から 8 年計画で発掘調査を実施しており、26 年度の発掘調査に際し現状変更計画書を文化庁へ提出し許可された。
- ② 県指定天然記念物「連取のマツ」は、26 年度の養生事業に際し現状変更等許可申請を提出し許

可された。

ケ 出土品の保存

出土遺物保存処理は、本関町古墳群出土の短甲一式、南原遺跡出土の刀子2点、鉄鏃2点、鉄斧1点の保存処理を行った。

コ 文化財の防火活動

平成27年1月26日（月）群馬県指定天然記念物「連取のマツ」の駐車場において、松の管理団体、地元住民、消防署の協力により消防訓練を実施した。

(3) 調査事業

ア 史跡女堀発掘調査

保存整備活用事業にあたり、女堀と谷地が交差する地点の発掘調査を、10月1日（水）から12月25日（木）まで実施した。

(4) 普及事業

ア 旧森村家住宅活用事業

月に2回一般公開を行い、「十五夜のつどい」「史跡巡り（宮郷中学校1年）」など、来場者は864人であった。

イ はたおり体験学習事業

会場を緋の郷として、市内24校の小学校3年生1,976人の児童が参加し、織物ボランティア「織りの会」が指導を行った。

ウ 出前講座・講演等

出前講座は「クイズで学ぶ伊勢崎の歴史」と「楽しく学ぶ伊勢崎の古代」のメニューで実施したほか、小学生の地域学習の現地説明等を実施し、合わせて1,120人の受講があった。

【講座・講演】

期 日	対象者	テーマ・内容	人数
4月25日(金)	殖蓮小学校6年生	殖蓮地域の遺跡	114人
5月8日(木)	殖蓮小学校6年生	一ノ関古墳	114人
5月13日(火)	三郷小学校6年生	お富士山古墳	143人
5月22日(木)	あずま南小学校6年生	鶴巻古墳	108人
6月9日(月)	伊勢崎市観光ボランティアガイドの会	国指定史跡「女堀」について	25人
6月26日(木)	殖蓮小学校6年生	土器作り	114人
7月14日(月)	赤堀小学校6年生	土器作り	97人
9月16日(火)	宮子町ミニデイサービス運営委員会	クイズで学ぶ伊勢崎の歴史	65人
10月2日(木)	赤堀小学校6年生	土器野焼き	97人
10月20日(月)	伊勢崎市観光ボランティアガイドの会	「小菊の里」周辺の史跡について	20人
10月24日(金)	殖蓮小学校3年生	まが玉づくり	105人
12月3日(水)	退職県職員連盟	国指定史跡「女堀」と資料館展示解説	28人
12月18日(木)	赤堀南小学校6年生	国指定史跡「女堀」	90人

エ 報告書等の刊行

発掘調査報告書『三軒屋遺跡5・恵下西遺跡』、『史跡女堀』、『平成23・24年度市内遺跡確認調査報告書』を作成した。

オ 文伝統文化親子教室事業

文化庁補助事業の「伝統文化親子教室事業」を支援した。

(対象事業)

茂呂町一丁目屋台囃子親子教室事業、茂呂町二丁目屋台囃子親子教室事業

南北千木町屋台囃子親子教室事業、千本木龍頭神舞保存会親子教室事業

カ 伊勢崎市郷土文化研究会連絡協議会

(ア) 概要

北史談会・殖蓮史談会・茂呂歴史愛好会・三郷文化財研究会・那波郷土史研究会・境史談会の6団体で構成され、本市の文化振興と文化財愛護意識の向上を目的に、研究会や講演会等の開催、歴史民俗資料の調査保存活動を推進する。

(イ) 活動内容

期 日	会 場	内 容
6月20日(金)	北公民館	総会・記念講演「三軒屋遺跡について」 講師：文化財保護課埋蔵文化財係 出浦 崇
11月5日(水)	黒保根町	文化財見学会「黒保根町周辺(水沼製糸、医光寺、花輪)」
12月12日(金)	北公民館	会員研修会「赤城南面の遺跡と文化について」 講師：伊勢崎市北史談会副会長 谷口 進雄 さん

(5) 埋蔵文化財発掘調査の概要

平成26年度の埋蔵文化財発掘調査の件数は、発掘調査(本調査)と確認調査(試掘調査)で合計87件であった。

ア 発掘調査の種別

発掘調査(本調査) 13件 3,415 m²

確認調査(試掘調査) 74件 3,736 m²

イ 開発に伴う埋蔵文化財包蔵地確認依頼件数

区 分	件 数	区 分	件 数
個人集宅	490	不動産取引	234
集合住宅	46	店舗	13
建売住宅	65	工場	8
鑑定評価	91	その他	383
分譲住宅地造成	42	計	1,372

(ア) 埋蔵文化財展

事業名	開催期間	会場ほか
埋蔵文化財展 「なるほど・ざ・いせさき発掘 ワールド」	9月12日～15日	スマークホール ・見学者1,900人 ・特別展示解説会 講師：右島 和夫先生 (群馬県文化財保護審議会委員)

(イ) 埋蔵文化財パネル展

事業名	開催期間	会場
埋蔵文化財パネル展 「国史跡 上野国佐位郡正倉跡」	11月1日～11月13日	市民ホール
	11月14日～12月4日	市民サービスセンター宮子
	1月26日～3月6日	市民ホール

	2月 6日 ～ 2月 16日	赤堀歴史民俗資料館
--	----------------	-----------

(ウ) 上野国佐位郡正倉跡国史跡指定記念事業

事業名	開催日	参加者数
記念式典及び講演会	1月 31日	198人

(6) 赤堀歴史民俗資料館

ア 利用の概要

開館日数：298日 入館者数：6,462人

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開館日(日)	25	27	25	24	26	24	27	26	22	23	23	26
入館者(人)	255	633	257	723	721	303	940	480	351	328	682	789

なお、資料の燻蒸期間中（7月26日～29日）は臨時休館した。

イ 資料館運営協議会

運営協議会を設置し、資料館の運営及び事業計画等について調査審議を行った。

委員構成：学校教育関係者1人、社会教育関係者1人、学識経験者6人（計8人）

任 期：2年間（平成25・26年度）

開催回数：3回

ウ 展示活動

(ア) 常設展示

1階展示室 発掘調査で得られた資料を年代順に展示解説（市指定重要文化財3点を含む）。

2階展示室 復元古民家とその内部および養蚕資料を展示。

(イ) 企画展

	期 間	展 示 名	観覧者数
第1回	10月1日（土）～	市収蔵資料展「リニューアル展」	常設展へ移行
第2回	11月8日（土） ～12月7日（日）	市収蔵資料展「世界の切手展」	331人
第3回	12月13日（土） ～1月31日（土）	企画展「夢見る女性誌展」	536人
第4回	3月10日（火） ～4月29日（水）	企画展「追憶 上州の国鉄-183系の思い出」	790人

(ウ) 季節展

	期 間	展 示 名	観覧者数
第1回	4月20日（日）～5月11日（日）	端午の節供展	341人
第2回	6月28日（土）～7月15日（日）	七夕展	498人
第3回	10月1日（水）～10月13日（月）	お月見展	286人
第4回	2月6日（金）～	「上野国佐位郡正倉跡」パネル展	常設展へ移行
第5回	2月21日（土）～3月8日（日）	ひなまつり展	777人

エ 教育普及活動

(ア) 情報紙とホームページ

資料館情報紙を毎月発行（第109号～第120号）し、市ホームページにも掲載した。

(イ) 学習支援事業

保育園、幼稚園及び小学校児童や生涯学習団体等に対して、展示解説と学習支援を行った。

15 校、23 団体、1,666 人が観覧した。

(ウ) 文化財教室

- ・「まがたまづくり教室」 8 月 6 日(水)～8 日(金)
21 人が参加し、古代アクセサリーのオリジナルまがたまを作った。
- ・「はたおり体験教室」 8 月 7 日(木)～8 日(金)
40 人が参加し、はたおり機を使ってコースター織りを体験した。
- ・「しめ縄飾り作り教室」 12 月 25 日(木)
34 人が参加し、しめ縄飾り作りを体験した。

(エ) 特別観覧等

学術目的の撮影 2 件。

(オ) 文化財普及事業

【企画展特別講座】

	期 日	テーマ	講 師	受講者数
第 1 回	1 月 23 日(金)	特別講座「明治から昭和 30 年代までの女性誌の変遷、女性の生き方」	佐藤 浩美さん (前橋商業高等学校教諭)	23 人
第 2 回	3 月 14 日(土)	特別講座「追憶上州の国鉄-183 系の思い出」	加部 二生さん (桐生市文化財保護課)	42 人

【歴史文化講座】

	期 日	テーマ	講 師	受講者数
第 1 回	7 月 19 日(土)	金井 烏洲 「金井烏洲と文人画の世界」	山田 烈 (元県近代美術館学芸員)	45 人
第 2 回	8 月 24 日(日)	田島 弥平 「田島弥平と島村の風土」	宮崎 俊弥さん (元前橋国際大学顧問)	46 人
第 3 回	9 月 28 日(日)	森村 西三 「森村西三とその時代」	手島 仁さん (前橋市文化国際課)	46 人
第 4 回	10 月 25 日(土)	関 重嶺 「伊勢崎の考古学ディスクール」	加部 二生さん (桐生市文化財保護課)	39 人

伊勢崎市の指定文化財（143件）

1 国指定重要文化財（6件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
1	埴輪男子立像	1軀	三光町6-10	昭和33年2月8日
2	埴輪男子立像	1軀	三光町6-10	昭和33年2月8日
3	埴輪男子倚像	1軀	三光町6-10	昭和33年2月8日
4	埴輪武装男子立像	1軀	三光町6-10	昭和33年2月8日
5	太刀 銘 備前国長船住守家造	1口	連取町1836-1	昭和25年8月29日
6	脇差 銘 備州長船元重	1口	連取町1836-1	昭和29年3月20日

2 国指定史跡（4件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
7	女堀	1条	下舐町213外	昭和58年10月27日 平成9年9月11日追加
8	十三宝塚遺跡	1件	境伊与久	昭和63年1月11日
9	田島弥平旧宅	1件	境島村2243	平成24年9月19日
10	上野国佐位郡正倉跡	1件	上植木本町2763外	平成26年10月6日

3 国指定天然記念物（1件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
11	華蔵寺のキンモクセイ	1本	華蔵寺町6	昭和12年6月15日

4 県指定重要文化財（12件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
12	下植木赤城神社石造美術群	3基	宮前町1582	昭和35年3月23日
13	天増寺宝塔	1基	昭和町1645-1	昭和35年3月23日
14	脇差 銘 正俊	1口	今泉町二丁目938-7	昭和38年9月4日
15	金銅善光寺式三尊仏	3軀	稲荷町518-3	昭和43年5月4日
16	宮子の笠塔婆	1基	宮子町1416	昭和48年12月24日
17	絹本著色白崖宝生禅師像	1幅	柴町945(高崎市綿貫992-1)	昭和48年12月24日
18	石倉文書	1巻	三光町6-10	平成7年3月24日
19	相川家茶室「觴華庵」附造営文書2点「材木積り立控」「隠宅普請入用控」	1棟	三光町6-10	平成12年3月21日
20	お富士山古墳所在長持形石棺	1基	安堀町799	平成13年3月23日
21	太刀 銘 備州長船実光	1口	下植木町980-54	昭和38年9月4日
22	長光寺懸仏	1基	境495(高崎市綿貫町992-1)	昭和33年3月22日
23	縁切寺満徳寺文書	179点	境287(太田市徳川町385-1)	昭和36年1月6日

5 県指定重要無形民俗文化財（1件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
24	千本木龍頭神舞	1件	北千木町・南千木町	平成18年3月24日

6 県指定史跡（1件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
25	金井島洲と一族の墓	1件	境島村2344-1	昭和48年12月24日

7 県指定天然記念物（2件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
26	連取のマツ	1本	連取町591	昭和28年8月25日
27	境高校のトウカエデ	1本	境492	平成4年5月15日

8 市指定重要文化財（59件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
28	同聚院の武家門	1棟	曲輪町14-15	昭和41年4月12日
29	関重嶺著「伊勢崎風土記」ほか2点	5冊	三光町6-10	昭和41年4月12日

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
30	教民要旨の碑	1基	茂呂町二丁目2169-1	昭和41年4月12日
31	上植木の建長石仏	2体	上植木本町996-5	昭和41年4月12日
32	伊勢崎河岸の石灯籠	1基	三光町13-13	昭和42年2月15日
33	千本木龍頭神舞カシラ	3個	南千木町2292	昭和47年4月25日
34	慶長の釣灯籠	1基	曲輪町30-6	昭和48年3月5日
35	八寸権現山の宝塔	1基	豊城町1989-2	昭和48年3月5日
36	大聖寺墓地の宝篋印塔	2基	大正寺町89	昭和48年3月5日
37	富塚円福寺の宝篋印塔	2基	富塚町2337	昭和48年3月5日
38	文明の石幢	1基	曲輪町14-13	昭和48年3月5日
39	伊勢崎の太織	25点	曲輪町32-5	昭和48年3月5日
40	宮古の古文書	508通	曲輪町22-21	昭和48年3月5日
41	常清寺の変型板碑	1基	東本町354	昭和48年3月5日
42	岡屋敷の阿弥陀三尊石仏	1体	波志江町165-4	昭和48年3月5日
43	新宿の変型板碑	1基	波志江町1410	昭和48年3月5日
44	上蓮の阿弥陀・地藏石仏	1基	上蓮町20	昭和48年3月5日
45	竹芳寺の梵鐘	1口	連取元町1816	昭和48年3月5日
46	脇差 銘 直勝	1口	本町4-26	昭和48年3月5日
47	刀 銘 直道	1口	中央町23-19	昭和48年3月5日
48	森村家の文書	62冊	連取町361	昭和58年3月11日
49	波志江権現山の磨崖種子	1基	波志江町2237-6	昭和59年11月29日
50	上西根の五輪塔	1基	鹿島町155-1	昭和59年11月29日
51	藍染熨斗目	1領	北千木町2013	平成4年2月24日
52	倭文神社の朱印状	9通	東上宮町222	平成4年2月24日
53	旧時報鐘楼	1基	曲輪町28-23	平成5年3月23日
54	蛇塚古墳出土埴輪馬	2体	西久保町二丁目98	平成8年3月29日
55	高山1号古墳出土埴輪軀	1基	西久保町二丁目98	平成8年3月29日
56	絹本著色稲垣平右衛門長茂像附同重宗像	2幅	昭和町1645-1	平成8年3月29日
57	黒羽根内科医院旧館	1棟	曲輪町31-4	平成14年9月30日
58	旧森村家住宅	1棟	連取町377-1	平成15年10月31日
59	柴町八幡神社社殿	1棟	柴町693	平成16年11月30日
60	上毛伊勢崎領塾小学内篇・外篇版本 附同版藩校学習堂蔵印小学二冊	1式	曲輪町22-21	平成20年7月1日
61	今村神社旧大鏡院仁王門 附奉加帳	1棟	稲荷町乙368、稲荷町367-1	平成22年10月1日
62	天増寺橋供養地藏尊像	1軀	昭和町1649-1	平成22年10月1日
63	香林の木造如意輪観音坐像	1軀	香林町一丁目354-1	平成6年4月1日
64	香林の石造観音菩薩坐像	1軀	香林町一丁目354-1	平成6年4月1日
65	間野谷の石造層塔	1基	間野谷町839（共同墓地内）	平成6年4月1日
66	宝珠寺の五輪塔	1基	赤堀今井町二丁目1344-1	平成6年4月1日
67	石山観音の大鰐口	1口	下触町4番地	平成20年2月25日
68	東小保方村分間絵図他一括古文書	1式	東町2514	昭和48年2月21日
69	小泉稲荷神社奉納手洗盤	1点	小泉町231	昭和48年3月22日
70	文化の常夜灯	1基	小泉町259	昭和63年3月4日
71	長安寺の宝篋印塔	1基	西小保方町304	昭和63年3月4日
72	復元あずま橋と二十三夜塔	2基	国定町一丁目1243-1	昭和63年3月4日
73	頼光塚	1基	東小保方町1772-2	平成14年3月29日
74	延文二年銘鰐口	1点	境261	昭和42年2月10日
75	曼荼羅板碑	1基	境261	昭和42年2月10日
76	金井研香筆 境街糸市繁昌之図	1幅	西久保町二丁目98	昭和42年2月10日
77	東町福島家文書	1式	境東328	昭和42年2月10日
78	大国神社の石幢	1基	境下湊名2827	昭和42年2月10日

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
79	漂麦園文集 1 2 巻	1式	境保泉262	昭和42年2月10日
80	金井烏洲筆 赤壁夜遊図	1幅	境島村2215	昭和42年2月10日
81	養蚕新論版木	1式	境島村2243	昭和42年2月10日
82	島村の板倉	1棟	境島村2492	昭和42年2月10日
83	平塚赤城神社本殿	1棟	境平塚1163-1	昭和42年2月10日
84	米岡の姥石	1基	境米岡230-2	平成16年11月26日
85	平塚西光寺の馬頭観音塔	1基	境平塚1224	平成16年11月26日
86	境町五人組帳	290点	境323-1	平成16年11月26日

9 市指定重要有形民俗文化財（5件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
87	平塚の操人形及び衣装（頭等）	1式	境1228	昭和38年8月1日
88	平塚の操人形及び衣装（衣装等）	1式	境323-1	昭和38年8月1日
89	平塚の操人形及び衣装（人形・衣装・収納箱一式）	1式	境平塚1220-10	平成16年11月26日
90	波志江の屋台	10基	波志江町3348-1 外	平成16年11月30日
91	茂呂の屋台	5 基	茂呂町一丁目538-4外	平成22年10月1日

10 市指定重要無形民俗文化財（16件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
92	伊勢崎木遣り	1式	宮子町1211-1	平成13年6月29日
93	国定赤城神社奉納獅子舞	1件	国定町一丁目2057	平成18年6月15日
94	下淵名の獅子舞	1件	境下淵名	平成18年6月15日
95	剛志の民謡	1件	境剛志地区	平成18年6月15日
96	女塚祭礼囃子	1件	境女塚	平成18年6月15日
97	栄町祭礼囃子	1件	境栄	平成18年6月15日
98	三ツ木祭礼囃子	1件	境三ツ木	平成18年6月15日
99	東新井の獅子舞	1件	境東新井	平成18年6月15日
100	倭文神社の田遊び	1件	東上之宮町380	平成19年8月17日
101	茂呂町一丁目屋台囃子	1件	茂呂町一丁目	平成25年3月26日
102	茂呂町二丁目屋台囃子	1件	茂呂町二丁目	平成25年3月26日
103	南北千木町屋台囃子	1件	南千木町	平成25年3月26日
104	美茂呂町屋台囃子	1件	美茂呂町	平成25年3月26日
105	茂呂南町屋台囃子	1件	茂呂南町	平成25年3月26日
106	東町屋台囃子	1件	境東町	平成26年2月25日
107	気楽流柔術	1件	東小保方町	平成27年2月26日

11 市指定史跡（27件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
108	権現山遺跡	1件	豊城町1989-3	昭和41年4月12日
109	お富士山古墳	1基	安堀町799	昭和41年4月12日
110	今村城跡	1件	稻荷町848-1	昭和41年4月12日
111	柴宿本陣跡	1件	柴町524	昭和41年4月12日
112	栗庵似鳩の墓	1基	上蓮町134-1	昭和41年4月12日
113	稲垣平右衛門長茂の墓附累代の墓所	24基	昭和町1614	昭和42年2月15日
114	小畠武堯の墓	1基	曲輪町10-11	昭和42年2月15日
115	関当義・重巖父子の墓	2基	曲輪町14-10	昭和48年3月5日
116	丸塚山古墳	1基	三和町2448外	昭和52年9月9日
117	一ノ関古墳	1基	本関町1298-3 外	平成10年12月28日
118	下城弥一郎・森村熊蔵の碑	2基	曲輪町31-1	昭和42年2月15日
119	十二所古墳	1基	磯町405-1 外	昭和46年6月10日
120	庚塚古墳	1基	下触町119-1	平成7年4月1日
121	赤堀城跡	1件	赤堀今井町二丁目1405-1 外	平成16年8月10日
122	毒島城跡	1件	赤堀今井町二丁目815 外	平成16年8月10日

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
124	天幕城跡	1件	磯町293-1外	平成16年8月10日
125	六道の道標とあずま道	1件	上田町249	昭和44年2月21日
126	旗本久永氏陣屋跡	1件	東小保方町3297	昭和63年3月4日
127	鶴巻古墳	1基	東小保方町1859 外	昭和44年2月21日
128	郷学五惇堂の碑	2基	境伊与久676	昭和35年3月1日
129	北米岡縄文文化遺跡	1件	境米岡地内	昭和35年3月1日
130	西今井中世館跡	1件	境西今井319	昭和42年2月2日
131	旧日光例幣使道	1件	境下武土地内	昭和42年2月2日
132	村上随憲の墓	1基	境495	昭和42年2月10日
133	雷電神社古墳	1基	境伊与久3581	昭和52年3月11日
134	弥勒寺音次郎・音八父子の墓	1件	境下瀧名1349	平成元年3月15日

12 市指定天然記念物（7件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
135	同聚院の大カヤ	1本	曲輪町14-14	昭和42年2月15日
136	波志江の大シイ	1本	波志江町2160-3	昭和42年2月15日
137	上植木のサカキ	1本	本関町1093	昭和42年2月15日
138	赤堀今井の信濃柿（マメガキ）	1本	赤堀今井町一丁目205	平成6年4月1日
139	塩島稲荷の大サザンカ	1本	八寸町5156-2	昭和44年2月21日
140	湧水あまが池	1件	上田町269-2	昭和63年3月4日
141	西福寺の大カヤ	1本	田部井町二丁目1167	昭和63年3月4日

13 国登録有形文化財（2件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
1	小茂田家住宅（主屋・蚕室・蔵・井戸屋）	4棟	長沼町2631	平成16年2月17日
2	日本基督教団島村教会、めぐみ保育園舎	2棟	境島村2509-2	平成20年4月18日

Ⅷ 青少年健全育成



平成27年伊勢崎市成人式

心身ともに健全な青少年の育成の推進

1. 基本方針

将来の地域社会を担う自立した青少年を育成するため、青少年の自主的な体験活動を促進し、社会規範・モラルの向上を図るとともに、家庭・地域社会・学校が連携して有害環境の浄化や問題の早期発見に取り組むなど、地域ぐるみで青少年の健全育成に取り組めます。

2. 重点事業

(1) 地域ぐるみの健全育成と環境づくり

- ア. 市民総ぐるみの健全育成運動をより推進するための、環境浄化大会と青少年健全育成大会の充実
- イ. 健全な家庭づくり、よりよい地域づくりを推進するための、モデル地区指定による家庭健全化運動の充実
- ウ. 住みやすい、豊かな街づくりを推進するための、関係団体との連携強化などによるあいさつ運動の実践と啓発
- エ. 子どもたちの安全を確保するための、子ども安全協力の家事業の充実

(2) 次代を担う青少年の育成

- ア. 豊かな人間性を育むための、子ども会育成会やふれあい体験教室での体験活動の充実
- イ. 地域における青少年の健全育成を推進するための、リーダーの養成事業と派遣事業の充実
- ウ. 幅広い視野と柔軟性に富んだ思考能力を育むための、交流事業の充実

(3) 成人式事業「成人の日」記念行事の充実

- ア. 新成人の自覚や意識を高めるため、新成人が主体となった実行委員会を組織する
- イ. 新たに成人の日を迎える新成人を、関係団体等の協力を得て地域ぐるみで祝福する
- ウ. 最寄りの公共施設を各会場とした、中学校区単位での分散型開催

3. 平成 26 年度事業実績

(1) 青少年対策事業

- ア. 地域ぐるみの健全育成と環境づくり
- イ. 非行防止活動の推進

事業名	趣 旨	期 日・場 所	対 象 者	参加者数
青少年問題協議会	青少年の指導・育成及び矯正に関する総合的施策の樹立につき重要な事項を調査審議するとともにその適切な実施を期するため必要な関係行政機関相互の連絡調整を図る。	5/22、11/28 緋の郷 市民交流館	委 員 、 幹 事	67
青少年健全育成 三 季 運 動	青少年の非行や事故の発生が、児童生徒の休業期である季節に増加している。そのため児童生徒の休業期に、「青少年健全育成三季運動」を展開する。	春(3/15～4/30) 夏(7/15～8/31) 冬 (12/15～1/31)	青少年育成推進員	2, 194
有害図書等自販機 設置状況調査及び 白 ポ ス ト 回 収	有害図書・ビデオテープ等の自販機の状況調査を実施。白ポストを設置し、有害図書等の回収・調査にあたる。	毎月実施	青少年育成推進員、 青 少 年 指 導 員	60
深夜営業施設立入 調査及び社会環境 実 態 調 査	伊勢崎警察署と協力し、深夜営業施設への立入調査を実施。また、県青少年健全育成条例に基づき、青少年を取り巻く社会環境の調査を実施。	深夜営業 7/24 社会環境 7/15～8/31	青少年育成推進員、 青少年育成社会 環 境 モ ニ タ ー	60
家庭健全化運動 推 進 モ デ ル 地 区	家庭の健全化は、青少年の健全育成のために必要不可欠である。そのため毎年モデル地区を指定し、地区において各種事を実施、「家庭の日」「少年の日」「あいさつ運動」の普及実践活動を図る。	各モデル地区 会議所・集会所	モデル地区住民	8, 296
青少年健全育成 環 境 浄 化 大 会	青少年を健全に育成するために、地域ぐるみの育成活動、地域社会のあり方及び各地域における環境浄化の促進について関係団体が事例報告を行い、共通理解のもとに今後の実践活動に資する。	11/14 緋の郷 円形交流館	青少年育成推進員、 指導センター補導員、 関 係 団 体	221
青少年健全育成大会	講演会及び青少年善行者、非行防止絵画優秀者を表彰し、また、青少年に日頃の活動発表の場を提供することで、家庭・学校・地域が思いを一つにし、市民総ぐるみの青少年健全育成運動を推進する。	2/7 赤堀芸術文化 プラザ	教 育 機 関 、 青少年育成団体	425
子ども安全協力の家	一般家庭や商店・事業所などを、子供達の緊急避難場所として指定し、子ども安全協力の家事業の充実を図る。	各子ども安全協 力の家	市内の小中学生	14, 706



青少年健全育成環境浄化大会



深夜営業施設立入調査



青少年健全育成大会



家庭健全化運動推進モデル地区

(2) 青少年育成事業

ア. 次世代を担う青少年の育成

イ. 成人式事業「成人の日」記念行事の充実

事業名	趣 旨	期 日・場 所	対 象 者	参加者数
ジュニアリーダー 初級認定講習会	ジュニアリーダー・サブリーダーに、子ども会活動の基礎的知識・技能を習得させ、あわせて地域のリーダーの組織化をめざす。	6/7～8 伊勢崎市青少年 育成センター	ジュニアリーダー サブリーダー	59
子ども会指導者 初級認定講習会	単位子ども会の初級指導者を養成し、子ども会活動の健全な活動に資する。	5/25 境総合文化センター 6/8・22 伊勢崎市青少年 育成センター	子ども会育成会 会 員	287
子ども会役員 インリーダー研修会	子ども会会員である小学校高学年を対象に、子ども会運営に必要な基礎的知識・技能を習得させることにより、子ども会役員としての自覚を高め、単位子ども会の活性化を図る。	6/21～22 伊勢崎市青少年 育成センター	子ども会役員 インリーダー	106
子ども会育成会指導者 救急救命講習会	子ども会育成会の安全会事業としてAEDを使用した救急救命の講習を、指導者を対象に実施。	7/6 伊勢崎市役所	子ども会育成会 指 導 者	40

子ども会町内対抗少年相撲大会	国技である相撲を通して、自己の体力を養い、伝統ある武道の尊さと礼節を学び、あわせて子どもたちの闘志と友情を育てる。	9/14 華蔵寺公園 運動施設内相撲場	子ども会会員	76
子ども会駅伝競走大会	駅伝競走を通して、子どもたちの走力及び心身を鍛え、あわせて単位子ども会の交流を図る。	10/26 市陸上競技場 及びその周辺	子ども会会員	185
伊勢崎市上毛かるた競技大会	上毛かるたの競技を通して、郷土群馬の文化・歴史・伝統を理解し、郷土を愛する心情を養う。	1/25 伊勢崎市民プラザ 柔道場	子ども会会員	219
青少年団体リーダー養成事業	青少年団体の中堅リーダーを各種指導者育成研修会へ派遣し、知識や技能を習得させ、指導者の資格を取得させることにより、指導者としての資質の向上を図る。	4月～3月 県内各地	青少年団体リーダー	48
明日の郷土を築く青少年の集い(第40回クリーンフェスティバル)	青少年の体験活動を支援する団体が集い、日ごろの活動の成果を発表し合い、市民を交えて交流を図り、明日の郷土を築く決意を新たにす。また、本事業を通して、青少年団体活動に対する市民の理解を深める。	10/19 波志江沼環境ふれあい公園	青少年、市民	1,000
ふれあい体験教室	市内の子供を対象に、青少年団体が特色ある活動を活かした体験教室を実施し、豊かな人間性を育むための体験活動を推進する。	4月～3月 市内各地	青少年、市民	844
地域こども交流事業(都市地方連携推進事業)	生活環境の異なる子供達の交流を通して、幅広い視野と柔軟性に富んだ思考能力の醸成に寄与し、また、自らの地域を深く知るためのキッカケづくりとする。	10/5 赤堀せせらぎ公園 12/6～7 伊勢崎市青少年育成センター	台東区・本庄市・玉村町・伊勢崎市ボーイスカウト、ガールスカウト	85
アウトドア体験学習「親子木工教室」	自らの手で物を作る体験を提供するとともに、親子の絆を深める。	8/9 赤堀せせらぎ公園 8/24 あずま公民館	市内在住の小学生と保護者	123
地域青少年育成支援事業「ギョ・魚・ギョ」	子供達が日頃口にする食材について深く知る機会を提供し、自らの手による調理を体験することで命の大切さを学ぶとともに、参加者同士が楽しく交流する場を提供する。	3/28 境島村公民館	市内在住の親子	20
子ども体験教室	子供達に自然の材料を使った物づくりの機会を提供し、また、伝統ある七夕まつりをテーマに夢を養う機会を創出することで、豊かな人間性を育む体験の機会を創出する。	7/19～20 七夕にぎわい広場	市内在住の親子	471
子ども文化財めぐり	子供達が県内の文化財をめぐる	9/21	小中学生	109

	ことにより、郷土に対する愛情を育むとともに参加者同士の親睦を深める。	館林市周辺 3/1 富岡市周辺		
成人式 「成人の日」記念行事	青少年育成関係団体等の協力により成人の日を迎える新成人を祝福するとともに、式典の運営に新成人が携わることで、新成人の自覚や意識を高める。	1/11 緋の郷 円形交流館ほか	新成人	1, 676



子ども会町内対抗少年相撲大会



子ども会駅伝競走大会



地域こども交流事業



子ども文化財めぐり

青少年非行防止活動の推進

1 基本方針

心身ともに健全な青少年の育成を目指し、青少年の非行防止活動の推進に努めます。

近年の急速な社会変化は、青少年に大きな影響を及ぼし、そこから生じる非行、いじめ等の問題は、依然として憂慮される状態にあります。

明るい家庭、住みよいまちづくりを推進し、家庭、学校、地域、関係機関が一体となって、青少年に温かい声かけを行い非行防止活動に努めます。

2 重点施策

(1) 地域と一体となった非行防止活動の展開

ア 青少年の非行防止・健全育成を目的として 27 班編成で実施する通常補導、地元で実施する地区別補導、お祭りの際に実施する特別補導及び列車内補導などを通して、非行少年の早期発見、早期指導に努める。

イ 青少年の非行防止を目指し、違反簡易広告物の除却活動を推進する。

ウ 非行防止標語のポスターを作成配布し、地域住民の意識の高揚に努める。

(2) 青少年相談事業の充実

ア 青少年の悩みごと、子どもを持つ親の悩みごとなどを、電話又は面接を通して相談を受け、問題解決の一助とし、青少年の健やかな育成を図る。

イ 毎週月曜日から金曜日の午後 1 時から午後 5 時まで、青少年相談員による電話又は面接相談を実施する。

ウ 休日、夜間は、留守番電話で対応する。

エ 電話相談及び面接相談は、青少年指導センターで行う。

オ 青少年相談事業の啓発のため、電話相談カードを作成し市内の学校に配布する。

(3) 青少年非行防止街頭キャンペーンの実施

ア 青少推と連携し、市内 5 箇所の大型店舗で青少年健全育成・非行防止街頭キャンペーンを実施する。

(4) 青少年健全育成及び非行防止標語の募集

ア 「夏の青少年健全育成運動」の一環として、市内の小学校及び中学校の児童・生徒を対象に、青少年健全育成及び非行防止に関する標語を募集する。

イ 応募された作品の中から入賞作品を選出し、健全育成大会で表彰する。

(5) 青少年育成団体・学校・関係機関等との連携

ア 補導員会役員会を開催し、地域の団体や学校との意見交換を推進する。

イ 研修会などを通して、警察や関係機関との連携を図る。

3 平成26年度事業実績

(1) 街頭補導状況

(単位:回、人)

月	補導回数				従事した延べ人数					
	午後 2時	午後 4時	夜間	計	補導員			他団体	職員	計
					通常	特別	計			
5	4	8	11	23	80	0	80	0	0	80
6	5	10	11	26	87	0	87	0	0	87
7	5	8	11	24	79	18	97	10	3	110
8	5	8	15	28	71	30	101	0	2	103
9	5	10	12	27	89	10	99	0	1	100
10	5	10	11	26	81	0	81	0	1	82
11	5	10	10	25	80	0	80	0	0	80
12	4	10	24	38	82	50	132	0	0	132
1	4	7	13	24	74	14	88	0	1	89
2	5	8	11	24	81	18	99	8	3	110
3	6	9	11	26	81	32	113	0	0	113
計	53	98	140	291	885	172	1,057	18	11	1,086

(2) 問題別・相談者別相談状況

(単位:件)

相談内容	未就学	小学生	中学生	高校生	青 年	親	一 般	合計
非行	0	0	0	0	0	0	0	0
異性・性	0	0	0	0	0	0	0	0
交友	0	1	0	0	0	1	0	2
学業	0	0	0	0	0	2	0	2
進路	0	0	0	0	0	0	8	8
不登校	0	0	0	0	0	0	0	0
健康	0	0	0	0	0	0	5	5
家庭	0	0	0	0	0	2	1	3
性格	0	0	0	0	0	1	1	2
しつけ	0	0	0	0	0	0	0	0
いじめ	0	1	0	0	0	1	0	2
その他	0	0	1	0	0	0	81	82
合計	0	2	1	0	0	7	96	106

(3) 有害図書等自動販売機設置状況（平成27年3月31日現在）

（単位：台）

	北	南	殖蓮	茂呂	三郷	宮郷	名和	豊受	赤堀	東	境	計
ビデオ・玩具・DVD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



非行防止街頭キャンペーン



列車内補導

いつもあるぼくらを見守る地域の目
北二小 梅澤 陸玖

青少年の深夜外出を見逃さないで

深夜に徘徊し補導される青少年などの伊勢崎市の人数は、県下で二番目に多く報告されています。深夜徘徊は、犯罪に巻き込まれたり非行の元になります。

青少年を守るため、県条例で青少年（18歳未満）は深夜（午後10時から午前4時まで）の外出が制限されています。正当な理由がなければ、親が同伴していても制限されます。

**困ったら… 誰かに…
一人で悩まないで！**

青少年電話相談 (0270)27-8080

来所の相談もできます

相談時間 土・日・祝日を除く午後1時～午後5時まで
場 所 伊勢崎市昭和町1712番地2 緋の郷 市民交流館1階

伊勢崎市青少年指導センター
伊勢崎市青少年指導センター補導員会

非行防止ちらし

ひとりじゃないよ
わたしはあなたの
みかただよ

伊勢崎市
青少年指導センター
伊勢崎市昭和町1712番地2
相談日：土・日・祝日を除く
午後1:00～5:00

青少年指導センター
(緋の郷)

●相談専用
(0270) 27-8080

青少年そうだん
☎27-8080

電話相談カード（しおり）

だいじょうぶ？ 画面の向こうの 見えない相手
四ツ葉堂園 久保田ひかる

困ったら
青少年そうだん ☎27-8080
伊勢崎市青少年指導センター

健全育成啓発ティッシュ

Ⅸ スポーツ振興



伊勢崎シティマラソン（2kmコース）

スポーツ振興

1 基本方針

- (1) 一市民スポーツの推進を図る
- (2) スポーツ指導者の養成と指導体制の確立を図る
- (3) スポーツ団体の育成強化を図る
- (4) スポーツ施設・整備の充実を図る

2 重点施策

(1) 一市民スポーツの推進を図る

ア 市民が多く参加できるスポーツ教室の推進

小学生から高齢者まで、年齢・体力・技術に応じてスポーツ活動に取り組めるよう、各種スポーツ教室を開催し、競技力の向上を目的に一流選手に触れる機会のスポーツ教室の開催など、市民のすべてが生涯にわたり健康で生きがいのある生活が送れるように努めます。

イ 家族で楽しめる「市民スポーツの日」の推進

毎月第一日曜日を「市民スポーツの日」として、施設（陸上競技場・庭球場・市民体育館・第二市民体育館・赤堀体育館・あずま体育館・境体育館など）を無料開放。市民が家族でスポーツに親しみ、スポーツを通して健康な心と体を鍛え、明るく豊かなまちづくりの推進に努めます。

ウ 市民総合体育大会の充実

第11回市民総合体育大会を開催し、広く市民にスポーツの振興・普及を図り市民の体力づくり運動を推進するとともに市民総スポーツの定着に努めます。

エ 市民レクリエーションスポーツ祭の充実

第11回市民レクリエーションスポーツ祭を開催し、高齢者・親子づれ・家族等が気軽に参加できる市民スポーツの推進に努めます。

オ スポーツ推進委員等による地域スポーツ活動の推進

地域住民のニーズにあった、ニュースポーツの普及や地域スポーツ活動の支援などにより、市民総スポーツの定着に努めます。

(2) スポーツ指導者の養成と指導体制の充実

ア 実技講習会等による指導者の養成

実技講習会を実施し、指導者としての知識及び技能の向上を図るとともに、体力や年齢に応じた適切な指導の向上に努めます。

イ 指導者登録制度の充実と効果的な活用

市民のスポーツ需要に応える、適切な指導者を紹介できるような指導者制度を確立し、活用に努めます。

(3) スポーツ団体の育成強化を図る

ア 一般財団法人伊勢崎市体育協会活動への支援

一市民スポーツの推進及び競技力向上を図るため、各競技団体、スポーツ推進委員会、地区社会体育推進委員会、軽スポーツ団体等の連携と（一財）伊勢崎市体育協会の支援に努めます。

イ 競技団体の育成と選手の強化

各競技団体の自主活動を推進するとともに、関東・全国で活躍できる選手の育成に努めます。

ウ スポーツ少年団の育成

各少年団の自主活動を推進するとともに、相互間の連携の強化を図り、少年スポーツの育成に努めます。

(4) スポーツ施設・設備の充実

ア 市民体育館非常用発電機取替工事

イ 赤堀中央運動場野球場内野改修工事

ウ あずまウォーターランド温水ボイラー交換工事

エ 境いよくテニスコート人工芝張替工事

(5) スポーツ振興組織

ア スポーツ推進審議会

市民の意見の反映、専門的な人々からの総合的、長期的な伊勢崎市のスポーツに対する諮問機関。

委員 15 人

イ スポーツ推進委員

住民のスポーツの振興と住民スポーツ活動の促進を一層充実するため指導助言を行う。

委員 45 人

ウ 各地区社会体育推進委員連絡協議会

各地区のスポーツ行事の情報交換・調整・スポーツの普及啓発・指導者の養成等を行う。

委員 33 人

エ スポーツ指導者バンク

市民のスポーツ活動の促進を図るため、スポーツ指導者の登録制度。

13 団体 113 人

オ 一般財団法人伊勢崎市体育協会

スポーツ人口の増大と各競技種目の普及に伴って、(一財)伊勢崎市体育協会も年々充実発展し現在 42 団体を統括し、本市のスポーツの核として、一市民一スポーツの定着と競技力の向上・指導の育成等に努めている。

(一財)伊勢崎市体育協会加盟団体

野球協会・ソフトテニス連盟・テニス協会・バレーボール協会・バスケットボール協会・卓球協会・陸上競技クラブ・水泳協会・サイクリング協会・スキー協会・柔道協会・剣道協会・弓道協会・子育連・スケート協会・体操協会・ボクシングクラブ・バドミントン協会・アーチェリー協会・サッカー協会・ソフトボール協会・ラグビーフットボール協会・ウォーキング協会・ゲートボール協会・ボウリング協会・ゴルフ協会・太極拳協会・インディアカ協会・グラウンドゴルフ協会・綱引協会・中学校体育連盟・スポーツ少年団・スポーツ推進委員会・地区社会体育推進委員連絡協議会・市民合気会・ハイキング協会・レスリング協会・空手道連盟・トライアスロン協会・スポーツチャンバラ協会・スポーツ吹矢協会・山岳協会・西部スポーツクラブ・トランポリン協会

3 平成26年度事業実績

(1) スポーツ教室開催結果一覧表

参加者 1,001人(延べ人数 4,788人)

No.	教室名	実施月	回数	対象	参加者	会場
1	早朝ソフトテニス(境)	4月・5月	6	小学3年以上	46	上武公園テニス場
2	ソフトテニス	4月・5月	6	市民(学生除く)	15	庭球場
3	早朝テニス	4月・5月	8	小学4年以上	96	庭球場
4	ミニバスケットボール	4月・5月	3	小学4年～6年	58	あずま体育館
5	弓道(あずま)	5月・6月	8	小学5年以上	21	あずま弓道場
6	弓道(華蔵寺)	5月・6月	8	中学生以上	21	弓道場
7	弓道(境)	5月・6月	8	中学生以上	11	境弓道場
8	健康アップ	5月・6月	1	市民(学生除く)	31	市民体育館剣道場
9	バドミントン	5月～7月	8	市民(学生除く)	40	第二市民体育館
10	少年少女レスリング	5月～7月	6	幼稚園・小・中学生	9	南小学校
11	ボクシング	6月	8	小学生以上	5	市民体育館
12	体操	6月	8	小学2年～6年	30	市民体育館
13	合気道	6月	8	小学生以上	13	市民体育館・市民プラザ
14	サッカー(赤堀)	6月	2	小学1年～3年	22	赤堀コミュニティ広場
15	卓球	6月	8	小学5年以上	24	スポーツ交流館
16	なぎなた	6月・7月	3	小学生以上	7	境武道館
17	早朝ソフトテニス(華蔵寺)	6月・7月	8	小学4生以上	113	庭球場
18	陸上	6月・7月	4	小学4年～6年	23	陸上競技場
19	太極拳カンフー	7月	1	小学生以上	50	境体育館
20	ナイターテニス	8月・9月	8	市民(学生除く)	39	庭球場
21	ジュニアバドミントン	8月・9月	4	小・中学生	31	第二市民体育館
22	水泳 ①	9月	6	50歳以上の市民	21	スイングア카데미伊勢崎
23	カヌー	9月	2	中学生以上	15	広瀬川外
24	インラインスケート	9・10月	3	5歳以上の市民	12	三室西公園運動場
25	ミニバレーボール	10月・11月	8	小学3年～6年	43	茂呂小学校
26	サッカー(境) ①	10月	2	小学1年～4年	21	境ふれあいパーク
27	スケート ①	11月	8	小学生以上	63	スケートセンター
28	スケート ②	12月	8	小学生以上	45	スケートセンター
29	サッカー(境) ②	2月	2	小学1年～4年	22	境ふれあいパーク
30	スキー	3月	1	小学生以上	41	万座温泉スキー場
31	水泳 ②	3月	6	50歳以上の市民	13	スイングア카데미伊勢崎

※ あずまウォーターランド(指定管理)を除く

(2) 「市民スポーツの日」実績一覧表

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
681	895	439	842	503	568	541	735	336	505	583	515	7,143

(3) 市民総合体育大会の成績表

ア 総合成績

優 勝	第2位	第3位
宮郷地区	豊受地区	境地区

イ 種目別

種 目	第1位	第2位	第3位	種 目	第1位	第2位	第3位
陸上(男子)	三郷	境	豊受	弓道	宮郷	東	殖蓮
陸上(女子)	茂呂	三郷・豊受	—	柔道	宮郷	境	殖蓮・三郷
ソフトボール(男子)	1位：殖蓮・宮郷・豊受・境			剣道	豊受	東	赤堀
ソフトボール(女子)	1位：茂呂・名和・豊受・赤堀			テニス	雨天中止		
バレーボール(男子)	豊受	名和	茂呂・宮郷	綱引き	名和	豊受	三郷・境
バレーボール(女子)	赤堀	東	宮郷・豊受	ゲートボール(男子)	茂呂	豊受	東
ソフトテニス	宮郷	北	境	ゲートボール(女子)	赤堀	宮郷	名和
卓球	境	宮郷	三郷	グラウンドゴルフ	豊受	境	名和

(4) 市民レクリエーションスポーツ祭の実績

総参加者総人数 1,558人(役員等158人を含む)

種 目	参加者	種 目	参加者	種 目	参加者	種 目	参加者
サイクリング	44	ターゲットバードゴルフ	22	スマイルウォリング	66	ヘルスバレー	61
ウォーキング	46	オリエンテーリング	31	ジャフボード	61	ラダーゲッター	73
ゲートボール	145	インディアカ	72	スポレック	59	はつらつウォーク	158
グラウンドゴルフ	386	なわとび	58	スポーツ吹矢	118	—	—

(5) 施設の利用状況

施設利用実績 総合計 1,040,834人

華蔵寺公園運動施設		赤堀運動施設		あずま運動施設		境運動施設	
市民体育館	129,451	赤堀体育館	60,847	あずま体育館	37,175	境体育館	21,428
第二市民体育館	32,731	赤堀剣道場	2,372	テニスコート	9,163	境武道館	30,661
庭球場	84,735	中央運動場	28,603	あずまスタジアム	11,299	いよく公園運動場	29,635
野球場	35,699	あかぼり運動公園	35,620	あずまサスタジアム	7,998	境弓道場	3,580
陸上競技場	57,552	西部スポーツ公園	15,401	あずま弓道場	9,133	総合運動場	27,470
ソフトボール	15,493	香林運動公園	7,453	総合運動場	16,323	上武公園運動場	12,566
第二グラウンド	11,609	グラウンドゴルフ場	2,943	三室西公園	11,508	グラウンドゴルフ場	34,298
補助競技場	20,628	コミュニティひろば	45,318	ゲートボール場	6,121	利根川河川運動場	1,741
弓道場	9,843	—	—	グラウンドゴルフ場	2,045	矢ノ原公園運動場	1,062
相撲場外	1,916	—	—	あずまサッカースタジアム	48,360	ラグビー場	4,067
市民プール	30,810	—	—	ウォーターランド	69,725	境プール	16,452
計	430,467	計	198,557	計	228,850	計	182,960

伊勢崎市の教育

平成 2 7 年 度 版

平成 2 7 年 8 月 発行

編集 伊勢崎市教育委員会事務局

発行 伊勢崎市教育委員会

伊勢崎市今泉町二丁目 4 1 0 番地

印刷 川島美術印刷株式会社